

V-CUBE Box

ご利用マニュアル



株式会社ブイキューブ

V-CUBE Box 2.0.2

2023/07/19

更新履歴

更新日	内容
2023/07/19	・ サポート表記を変更
2022/08/25	・ Gate サービスの終了に伴い、V-CUBE Box の表示名変更はアプリの「表示名変更」機能に一本化されるため、「V-CUBE Box での拠点名称を変更するには」の章を削除
2021/06/24	・ バージョン 2.0.0 に伴う以下の内容を更新 ・ 画質・帯域設定 ・ ネットワーク詳細設定 ・ アップデート設定 ・ 会議室一覧 ・ 招待先一覧 ・ V-CUBE Box 管理機能
2021/03/11	・ ホーム画面のメニューにログアップロードボタンを追加 ・ ログ設定に接続情報、詳細ログ継続の設定について追記
2020/12/10	・ 履歴モードの説明を更新 ・ 会議室一覧画面の画面イメージを更新 ・ 新規入室拒否/許可について追加 ・ 障害発生時の通知、緊急退避環境への切り替えについて追加
2020/09/03	・ 暗証番号入室時の表示名について追加 ・ サーバ情報に緊急退避環境への設定変更方法を追加
2020/07/23	・ カメラおよびマイクのオン/オフ設定に関して会議室設定の注記を追加
2020/05/27	・ アップデート詳細について追記
2020/04/22	・ 画質・帯域設定について更新 ・ 画面共有に追加されたリセットボタンについて追記
2020/01/22	・ 会議室の表示モード「参加者」の記載内容を修正 ・ IE11 の WEB 版で開始したホワイトボード映像を受信できない仕様について追加 ・ 拠点名称変更の内容を最新の仕様に修正
2019/08/28	・ 帯域設定の設定値に 6.0Mbps を追加 ・ 会議室一覧の表示モード、一覧/履歴の切り替えについて変更、追加
2019/07/24	・ サーバ情報の内容を変更
2019/06/26	・ 画面共有の開始、停止、設定について追加
2019/05/22	・ 画質・帯域設定の内容を更新 ・ 一部サーバ異常時の挙動についてホーム画面の項に追加
2019/03/27	・ 基本ソフトウェアのアップデート設定について追加
2019/02/13	・ V-CUBE Gate の利用条件について追加
2018/09/26	・ アンチウイルス設定について追加 ・ 緊急退避環境について追加
2018/09/12	・ 帯域設定について追加 ・ アップデート設定について追加
2018/04/25	・ 参考資料、その他周辺機器マニュアルについて追加
2018/03/28	・ 表示拠点数設定による多拠点モードでの映像表示について追加
2018/01/24	・ プロキシ設定の自動検出 (WPAD)、自動構成スクリプト (PAC) 対応について追加
2018/01/10	・ キャプチャデバイス (Logicool Screen Share) による画面転送、画面共有について追加
2017/12/13	・ コンピューター名の変更について追加

2017/11/22	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアキーボードについて追加 ・PING 応答設定について追加 ・プロキシの認証方式の NTLM 認証対応について追加 ・カメラとマイクの一括オフについて追加 ・マイク音量の増減操作について追加
2017/09/27	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン画面の変更(暗証番号入室)について追加
2017/09/20	<ul style="list-style-type: none"> ・多拠点モードについて追加 ・参加者情報の参加者デバイス設定表示、遠隔ミュート、一括変更について追加 ・会議中の自拠点映像の鏡像設定について追加
2017/07/26	<ul style="list-style-type: none"> ・V-CUBE Box 管理機能について追加 ・デュアルディスプレイでホーム画面を表示している場合のセカンダリディスプレイについて追加 ・会議室内の画面共有機能について追加
2017/07/05	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者パスワードについて追加 ・設定初期化について追加 ・ネットワーク詳細設定の DNS キャッシュクリア項目を追加
2017/06/14	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi 設定を追加 ・詳細ログ設定を追加
2017/05/24	<ul style="list-style-type: none"> ・V-CUBE Box 情報画面の IP アドレスについて追記 ・デバイス/レイアウト画面の音量増減について追加
2017/04/26	<ul style="list-style-type: none"> ・追加されたリモコンについて追加 ・画質設定について変更 ・TCP/UDP モード設定について変更 ・システム既定のデバイスに関する記述を追加 ・画面転送受信機能について追加
2017/03/29	<ul style="list-style-type: none"> ・会議内詳細設定の簡易会議情報表示を追加 ・暗証番号での会議参加を追加 ・会議室一覧の表示モード変更を追加 ・表示名変更を追加
2017/03/01	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク設定の詳細設定を追加
2017/02/22	<ul style="list-style-type: none"> ・自動入室設定の記述を追加
2017/01/27	<ul style="list-style-type: none"> ・一部 UI 変更に伴う画面キャプチャの変更、画質設定に 360p を追加
2016/12/29	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネルディスプレイでの操作に対応、一部 UI 変更に伴う画面キャプチャの変更 ・会議予約画面で会議予約をする方法の説明の修正
2016/11/30	<ul style="list-style-type: none"> ・ログ出力にダンプファイル出力の有無の設定を実装、記述を追加
2016/11/03	<ul style="list-style-type: none"> ・ログを V-CUBE サーバーへ直接アップロードする機能を実装、アップデートを自動で行う機能を実装、記述を追加
2016/10/17	<ul style="list-style-type: none"> ・デュアルディスプレイのとき、メイン画面と別画面の表示を切り替える機能を実装、記述を追加
2016/09/23	<ul style="list-style-type: none"> ・表示拠点数を制限する機能を実装、記述を追加
2016/09/08	<ul style="list-style-type: none"> ・基本ソフトウェアのアップデートを無効化する機能を実装、記述を追加 ・招待先一覧の変更・追加手順の記述を追加
2016/09/01	<ul style="list-style-type: none"> ・USB 記憶デバイスへログを出力する機能を実装、記述を追加 ・オートアップデート機構を停止する機能を実装、記述を追加 ・指定拠点の全画面表示機能を実装、記述を追加

2016/08/10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話会議連携機能を実装、記述を追加 ・ 録画機能を実装、記述を追加 ・ サジェスト機能を実装、記述を追加
2016/06/22	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコンの 11 番ボタンにカメラミュート機能を実装、記述を追加 ・ 強制退出機能を実装、記述を追加
2016/05/25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所在地設定 の記述を追加 ・ Box 情報 に MAC アドレス表示の記述を追加 ・ テレビ会議端末のアドレス帳呼び出し機能追加、記述を追加
2016/03/30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認証が必要なプロキシ接続に対応、記述を追加 ・ 自拠点の映像表示オフ機能を追加、記述を追加 ・ ホーム画面左下に現在日時の表示を追加、記述を追加 ・ 会議室一覧に現在の状況表示を追加、記述を追加
2016/02/24	<ul style="list-style-type: none"> ・ レイアウトのサンプルを追加 ・ デバイス設定に ON・OFF の記述を追加 ・ 詳細設定 の記述を追加
2016/02/12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語/タイムゾーンの設定 の記述を追加 ・ 環境設定 の記述を追加 ・ レイアウトボタンの記述を追加 ・ テレビ会議を呼び出しするには の記述を追加 ・ デバイス設定 の記述を追加 ・ V-CUBE Box での拠点名称を変更するには の記述を追加
2015/10/12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規作成

1	本マニュアルについて	- 1 -
2	V-CUBE Box とは	- 1 -
2.1	概要	- 1 -
2.2	V-CUBE Box でできること	- 1 -
2.3	V-CUBE Box の参加者とは	- 1 -
2.3.1	ご契約ケース① V-CUBE Box のみのご利用	- 2 -
2.3.2	ご契約ケース② V-CUBE Box と V-CUBE One との併用	- 2 -
2.3.3	ご契約ケース③ V-CUBE One でのご利用	- 2 -
2.4	V-CUBE Box の会議形態と参加可否	- 2 -
2.4.1	ご契約ケース① V-CUBE Box のみのご利用	- 2 -
2.4.2	ご契約ケース② V-CUBE Box と V-CUBE One との併用	- 3 -
2.4.3	ご契約ケース③ V-CUBE One でのご利用	- 3 -
3	V-CUBE Box を利用する前に	- 4 -
3.1	機器の準備	- 4 -
3.1.1	V-CUBE Box の機材構成	- 4 -
3.1.2	本体とデバイスの接続	- 4 -
3.1.3	V-CUBE Box の起動	- 4 -
4	リモコンの使い方	- 5 -
4.1	各ボタンについて	- 5 -
5	V-CUBE Box で会議をするには	- 6 -
5.1	V-CUBE Box でのログイン	- 6 -
5.2	暗証番号入室	- 8 -
5.3	言語／タイムゾーンの設定	- 10 -
5.3.1	設定言語の変更	- 11 -
5.3.2	タイムゾーンの設定	- 11 -
5.4	環境設定	- 12 -
5.4.1	画質・帯域を設定する	- 13 -
5.4.2	ネットワーク設定	- 17 -
5.4.3	プロキシを設定する	- 19 -
5.4.4	アップデートを設定する	- 21 -
5.4.5	キーボードを設定する	- 23 -
5.4.6	コンピューター名を変更する	- 23 -
5.4.7	アンチウイルスを設定する	- 24 -
5.5	Wi-Fi 設定	- 26 -
5.5.1	ネットワーク設定	- 26 -
5.5.2	Wi-Fi 設定	- 26 -
5.5.3	接続設定	- 27 -
5.5.4	Wi-Fi 有効時の Box 情報	- 28 -
5.6	管理者	- 29 -
5.6.1	パスワードの設定・変更・削除	- 30 -
5.6.2	設定の初期化	- 31 -
5.7	ホーム画面	- 33 -
5.8	会議室を選んで会議を開始するには	- 35 -
5.8.1	予約なしで会議を開始するには	- 35 -

5.8.2	利用する会議室を選択する	- 35 -
5.8.3	会議室一覧の表示モードを切り替える	- 37 -
5.8.4	一覧／履歴を切り替える	- 38 -
5.9	メンバー招待をして会議を開始するには	- 39 -
5.9.1	招待するメンバーを選択する	- 39 -
5.9.2	会議室を選択する	- 40 -
5.10	招待された会議に参加するには	- 41 -
5.10.1	招待通知表示	- 41 -
5.10.2	参加する会議を選択する	- 41 -
5.11	暗証番号で会議に参加するには	- 41 -
6	会議を予約する（PCからの操作）には	- 42 -
6.1	V-CUBE ミーティングにログインする	- 42 -
6.2	会議予約画面で会議予約をする	- 43 -
6.2.1	V-CUBE Box が参加する会議の予約をする	- 43 -
6.2.2	PC・モバイル端末での参加者を招待する（V-CUBE One の契約が必要です）	- 45 -
7	会議室機能の使い方	- 47 -
7.1	会議室内でのリモコンファンクションメニュー	- 47 -
7.1.1	メニューボタン	- 47 -
7.1.2	マイクミュートボタン	- 48 -
7.1.3	カメラミュートボタン	- 48 -
7.1.4	レイアウトボタン	- 49 -
7.1.5	退室	- 52 -
7.2	会議映像表示	- 52 -
7.2.1	参加人数と映像表示（アクティブスピーカー・共有画面なしの場合）	- 53 -
7.2.2	参加人数と映像表示（アクティブスピーカー・共有画面ありの場合）	- 55 -
7.2.3	参加人数と映像表示（フラットモード・共有画面なしの場合）	- 57 -
7.2.4	参加人数と映像表示（フラットモード・共有画面ありの場合）	- 59 -
7.2.5	多拠点モード	- 61 -
7.3	参加者情報	- 63 -
7.3.1	参加者一覧の表示	- 63 -
7.3.2	招待先を選ぶ	- 64 -
7.3.3	指定した参加者を操作する	- 64 -
7.3.4	全画面表示	- 65 -
7.3.5	カメラオフ	- 65 -
7.3.6	マイクミュート	- 65 -
7.3.7	強制退出	- 66 -
7.3.8	デバイスの一括変更	- 67 -
7.3.9	新規入室拒否/許可	- 68 -
7.4	会議情報	- 69 -
7.4.1	暗証番号表示	- 70 -
7.4.2	テレビ会議端末入室用アドレス表示	- 70 -
7.4.3	電話会議	- 71 -
7.5	接続情報表示	- 72 -
7.6	テレビ会議を呼び出しするには	- 72 -
7.7	録画	- 76 -
7.7.1	録画、または録音を開始するには	- 76 -

7.7.2 録画、または録音を停止するには.....	- 77 -
7.8 画面共有	- 78 -
7.8.1 画面共有の設定	- 79 -
7.9 設定	- 80 -
7.9.1 デバイス / レイアウト	- 80 -
7.9.2 各種設定	- 81 -
7.9.3 会議情報の簡易表示	- 82 -
7.10 サジェスト機能.....	- 83 -
8 利用環境の確認、調整、その他便利な機能.....	- 84 -
8.1 メニューを表示する.....	- 84 -
8.2 暗証番号で会議参加.....	- 85 -
8.3 画面転送を受信する.....	- 85 -
8.3.1 画面転送とは	- 85 -
8.3.2 キャプチャデバイスを利用して画面を転送するための事前準備.....	- 86 -
8.3.3 Network Display を利用して画面を転送するための事前準備.....	- 86 -
8.3.4 V-CUBE Box で画面転送を受信する	- 87 -
8.4 環境設定	- 90 -
8.4.1 表示名変更.....	- 90 -
8.4.2 所在地.....	- 92 -
8.4.3 自動入室設定	- 93 -
8.5 Box 情報.....	- 94 -
8.6 電源オフ	- 95 -
8.7 ログアウト.....	- 95 -
9 V-CUBE Box 管理.....	- 96 -
9.1 V-CUBE Box 端末の一覧	- 97 -
9.2 共通設定	- 98 -
9.3 端末側での設定適用.....	- 101 -
10 PC・モバイル から参加するには	- 102 -
10.1 ログインして会議参加する	- 102 -
10.2 招待 URL から会議参加する	- 102 -
10.3 暗証番号から会議参加する	- 103 -
11 会議記録を参照するには	- 104 -
11.1 V-CUBE ミーティングの会議記録から閲覧する.....	- 104 -
12 V-CUBE Box での招待先一覧を変更するには	- 105 -
12.1 招待先一覧の変更・追加手順.....	- 105 -
13 V-CUBE Box のオートアップデートに関して.....	- 107 -
13.1 オートアップデートの手順.....	- 107 -
13.1.1 更新ソフトウェアを受信する	- 107 -
13.1.2 アップデートを行う	- 107 -
13.1.3 自動的にアップデートする場合.....	- 108 -
13.1.4 アップデートのダウンロードサーバを変更する場合	- 109 -
13.1.5 オートアップデートを停止する場合.....	- 109 -
13.1.6 今すぐアップデートする	- 109 -
13.1.7 前のバージョンに戻す	- 109 -
13.1.8 詳細設定.....	- 110 -
14 ログ出力に関して.....	- 111 -

14.1	USB 記憶デバイスへログを出力する.....	- 111 -
14.1.1	USB 記憶デバイスを V-CUBE Box 端末へ接続する.....	- 111 -
14.1.2	メニュー画面の Box 情報からログ出力を行う.....	- 111 -
14.2	サーバーへログをアップロードする.....	- 115 -
14.3	設定.....	- 117 -
15	サーバ情報.....	- 118 -
16	緊急退避環境について.....	- 120 -
16.1	緊急退避環境とは.....	- 120 -
16.2	緊急退避環境の制限事項について.....	- 120 -
16.3	障害時の通知と緊急退避環境への切り替え.....	- 121 -
16.4	障害解消通知と本環境への切り替え.....	- 123 -
16.5	緊急退避環境の設定を任意におこなう.....	- 123 -
17	制約、注意事項.....	- 124 -
17.1	V-CUBE Box に表示される各種情報の更新.....	- 124 -
18	トラブルシューティング.....	- 125 -
18.1	V-CUBE Box を起動した際に ID/PW が入力されていない.....	- 125 -
18.2	ログインができない.....	- 125 -
18.3	他拠点の V-CUBE Box 端末が招待先リストに表示されていない.....	- 125 -
18.4	映像が表示されない.....	- 125 -
18.5	音声がかえれない.....	- 125 -
18.6	自分の声が相手に聞こえない.....	- 126 -
18.7	映像、音声と共に安定しない、黒枠が出る、映像がフリーズする.....	- 126 -
18.8	Windows Update からのお願いが表示され操作できない.....	- 126 -

1 本マニュアルについて

本マニュアルは V-CUBE Box の利用方法を示したマニュアルです。

2 V-CUBE Box とは

2.1 概要

V-CUBE Box は、インターネット回線に接続された複数拠点にある専用セットトップボックスの間で、映像や音声、資料のやりとりを可能とするテレビ会議システムです。本システムを利用することにより、遠隔地をリアルタイムの映像・音声でつなぐ双方向のビジュアルコミュニケーションが可能になります。

2.2 V-CUBE Box でできること

- ・映像・音声を会議に参加している他拠点に配信
- ・他の場所にあるセットトップボックス拠点の招待
- ・PC、モバイルで会議に参加する（V-CUBE One の契約が必要となります）
- ・PC、モバイルの画面を映像として表示する（V-CUBE One の契約が必要となります）
- ・会議の映像音声を録画する（V-CUBE One の契約が必要となります）
- ・他のテレビ会議システムとの相互接続（V-CUBE One の契約が必要となります）

2.3 V-CUBE Box の参加者とは

V-CUBE Box ではご契約時に購入いただいた V-CUBE Box ごとに固有の Box ID を発行します。

※ **ご契約により Box ID 発行無しのケースもございます**

Box ID を登録された V-CUBE Box 端末はそのアカウントに所属する会議室を利用することができます。（会議室は出荷時にご希望の会議室を設定してお渡しします。また、ウェブ管理者が自由に追加削除することができます。）この会議室を利用し、V-CUBE Box 端末間で招待をして会議を開催することができます。

V-CUBE Box の会議利用形態は、ご契約ケースに応じて異なります。

（いずれの場合も 1 つの会議に参加できる総拠点数は 100 までとなります。）

※ **V-CUBE Box は V-CUBE Gate (以降 Gate と表記) の機能を利用しております。Gate を無効、停止の設定とするとログインできなくなります。V-CUBE Box アプリケーションで Gate を利用しない設定をすることもできまして、その場合は[サーバ情報](#)を参照ください。**

2.3.1 ご契約ケース① V-CUBE Box のみのご利用

V-CUBE Box 端末のみのライセンス契約をいただいている場合です。購入され、登録された V-CUBE Box 端末同士でのみ会議開催をすることができます。会議予約をするためにウェブブラウザ（PC）から V-CUBE ミーティングの予約画面を操作可能ですが、PC での会議参加をすることはできません。最大同時利用数は V-CUBE Box 端末を購入いただいた数になります。

2.3.2 ご契約ケース② V-CUBE Box と V-CUBE One との併用

Box ライセンスに加えて、V-CUBE One 契約をいただいている場合です。購入され、登録された V-CUBE Box 端末に加えて V-CUBE One で発行された V-CUBE ID を使って、PC やモバイル端末から会議参加をすることができます。最大同時利用数は V-CUBE One で契約されたポート数になります。なお、この際に V-CUBE Box 端末での利用はポート消費にカウントされません。

2.3.3 ご契約ケース③ V-CUBE One でのご利用

V-CUBE One をご契約いただいている場合、V-CUBE ミーティング 5 にログイン可能な V-CUBE ID を使って V-CUBE Box 端末にログインして、会議参加することが可能です。最大同時利用は V-CUBE One で契約されたポート数になり、V-CUBE Box 端末にログインした V-CUBE ID も会議参加した場合にはポート消費にカウントされます。

2.4 V-CUBE Box の会議形態と参加可否

V-CUBE Box を使った会議には、以下の種別があります。

2.4.1 ご契約ケース① V-CUBE Box のみのご利用

予約有無	招待可能な参加者		
	V-CUBE Box 端末	V-CUBE One メンバー	外部招待
ウェブサイトから 事前予約をする	○（会議室内からも追加招待可能）	×	×
事前予約をしない	○（会議開催時に招待可能 会議室内からも追加招待可能）	×	×

2.4.2 ご契約ケース② V-CUBE Box と V-CUBE One との併用

予約有無	招待可能な参加者		
	V-CUBE Box 端末	V-CUBE One メンバー	外部招待
ウェブサイトから 事前予約をする	○ (会議室内からも追加招待可能)	○ (暗証番号から入室)	○ (暗証番号から入室)
事前予約をしない	○ (会議開催時に招待可能 会議室内からも追加招待可能)	○ (暗証番号から入室)	○ (暗証番号から入室)

2.4.3 ご契約ケース③ V-CUBE One でのご利用

予約有無	招待可能な参加者		
	V-CUBE Box 端末	V-CUBE One メンバー	外部招待
ウェブサイトから 事前予約をする	○ (会議室内からも追加招待可能)	○ (暗証番号から入室)	○ (暗証番号から入室)
事前予約をしない	○ (会議開催時に招待可能 会議室内からも追加招待可能)	○ (暗証番号から入室)	○ (暗証番号から入室)

- ※ V-CUBE One のみで V-CUBE Box ライセンスでのご契約でない場合は Gate 管理機能で招待先の設定をする必要があります。設定方法については [V-CUBE Box での招待先一覧を変更するには](#) を参照ください
- ※ V-CUBE Box で利用する Gate では組織管理の「タグ」モードに対応しておりません。「階層」モードの設定でご利用ください

3 V-CUBE Box を利用する前に

3.1 機器の準備

3.1.1 V-CUBE Box の機材構成

V-CUBE Box は以下の機材から構成されます

※ 機材構成はセット商品によって異なることがあります

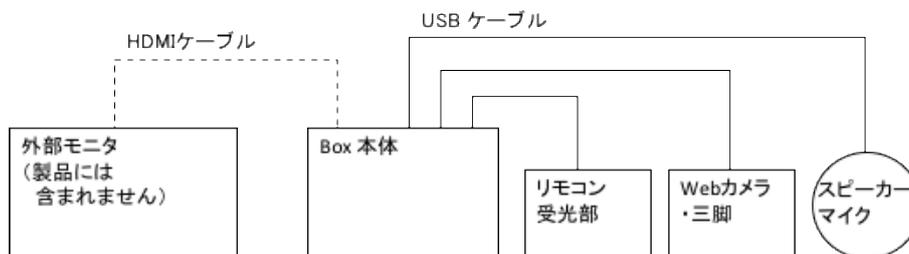
機材名称	数量	備考
本体	1	
リモコン	1	
リモコン受光部	1	本体に USB 接続
マイク・スピーカー	1	本体に USB 接続
カメラ	1	本体に USB 接続
小型三脚 (小会議室モデルのみ)	1	Web カメラを設置
電源ケーブル	1	本体用コネクタ
HDMI ケーブル	1	本体と外部モニタを接続

3.1.2 本体とデバイスの接続

下図のように本体と各種デバイスを接続します。

※ 図は一例です。最新の機材構成、接続方法については接続マニュアルを参照ください

https://mtg5l.vcube.com/lang/ja_JP/PDF/Manual_V-CUBE_Box_ConnectionSetting.pdf



3.1.3 V-CUBE Box の起動

本体の電源ボタンを押して電源を ON にすると、自動的に V-CUBE Box が起動します。

4 リモコンの使い方

リモコンには以下のようにボタンが配置されています。(リモコンの形状は出荷時期により異なります)



4.1 各ボタンについて

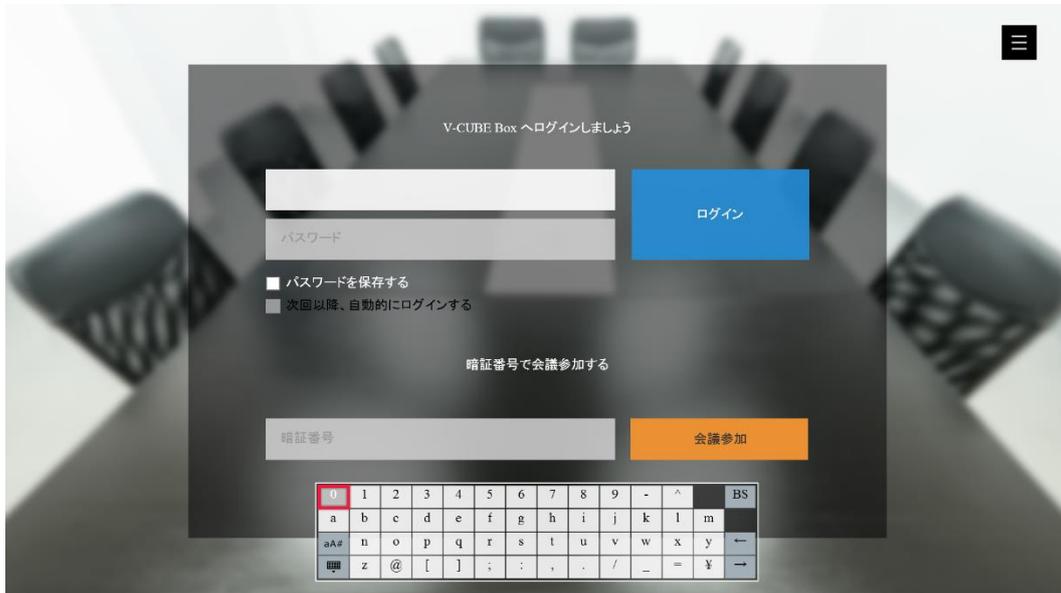
リモコン最上部に並ぶファンクションボタンには「メニュー」「マイクミュート」「レイアウト」「退室」の4種類があります。V-CUBE Box が会議室に入室している時と、そうでない時で以下のように挙動が変わります。

No.	ボタン名称	会議室外	会議室内
1	メニュー	メニューを表示する	メニューバーの表示非表示切り替え
2	マイクミュート	機能なし	マイクミュートの ON/OFF を切り替え
3	レイアウト	機能なし	3つのレイアウトを順に切り替える
4	退室(退出)	機能なし	退室確認ウィンドウを表示
5	十字操作	フォーカス位置の移動	フォーカス位置の移動
6	決定	フォーカスされたボタンの決定	フォーカスされたボタンの決定
7	取消(戻る)	選択の取消	選択の取消
8	— (+)	機能なし	音量の増加
9	— (-)	機能なし	音量の減少
10	—	機能なし	機能なし
11	カメラミュート	機能なし	カメラミュートの ON/OFF を切り替え

V-CUBE Box ごとの ID/パスワードは出荷時に登録がされており、初期出荷状態では自動ログインをするようになっておりますので手動でログイン作業をすることは基本的にはありません。(V-CUBE One 契約をしている場合、任意の V-CUBE ID にてログインをしていただくことが可能です。)

※ IDが入力された状態になっていない場合には**トラブルシューティング**をご参照ください

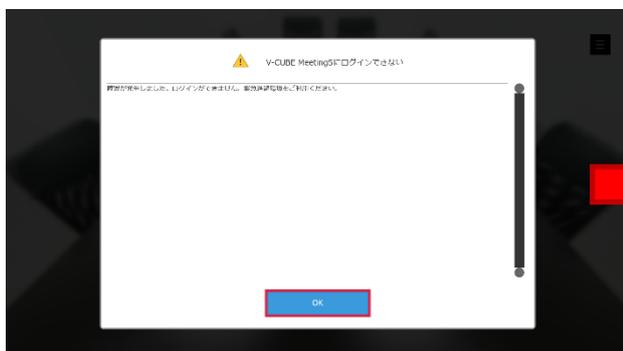
リモコンの十字ボタンを使って「ログイン」にカーソルを合わせて「決定」を押してください。



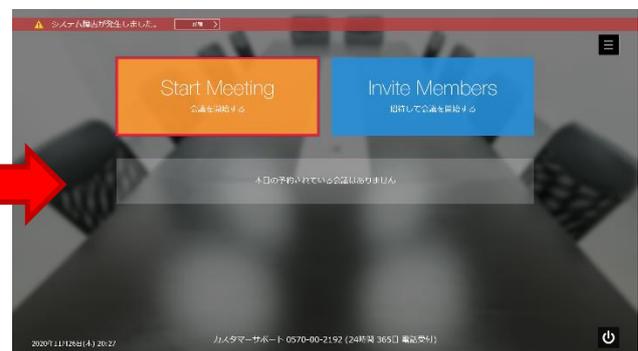
システム障害が発生して通常のサーバ環境を利用できなくなった場合に、以下の画面のように障害を通知し、バックアップ用の障害緊急退避環境にサーバ設定を切り替える場合があります。

通知内容や設定の変更については、[緊急退避環境について](#)を参照ください。

障害通知



緊急退避環境



5.2 暗証番号入室

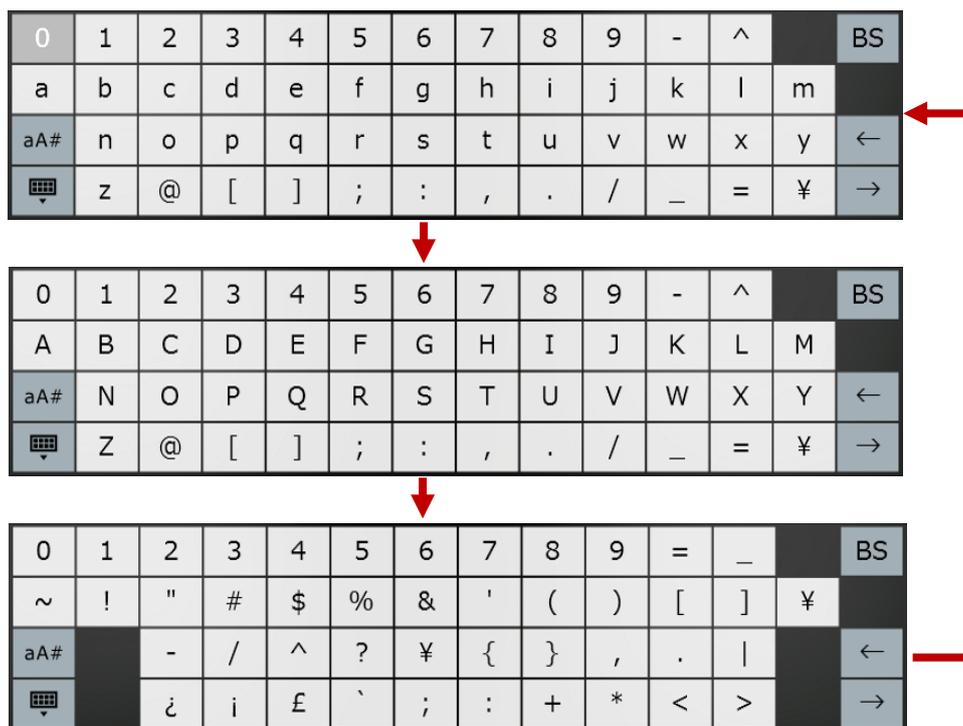
暗証番号を入力して、「会議参加」ボタンを押すことで会議に入室することができます。入室用の暗証番号は、招待メール、V-CUBE Gate での会議招待、会議中のアプリ内表示等で確認することができます。ログイン画面からの暗証番号入室の場合は、会議内の表示名は「Guest」になります。また、会議室から退出したらログイン画面に戻ります。

ログイン後の暗証番号入室は[こちら](#)を参照ください。

※ スクリーンキーボードの文字種の切り替え、非表示方法について

キー配列は ABC 順 (標準設定) と QWERTY 順に切替が可能です。切替手順については[キーボードを設定する](#)を参照ください。

- ABC 配列



● QWERTY 配列

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	^	BS
q	w	e	r	t	y	u	i	o	p	@	[¥	
aA#	a	s	d	f	g	h	j	k	l	;	:]	_
		z	x	c	v	b	n	m	,	.	/	←	→

↓

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	^	BS
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	@	[¥	
aA#	A	S	D	F	G	H	J	K	L	;	:]	_
		Z	X	C	V	B	N	M	,	.	/	←	→

↓

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	^	BS
	!	"	#	\$	%	&	'	()	=	~		
aA#	¿	i	£	@	¥	[]	+	*	'	{	}	_
		,	.	,	.	/	;	:	<	>	?	←	→

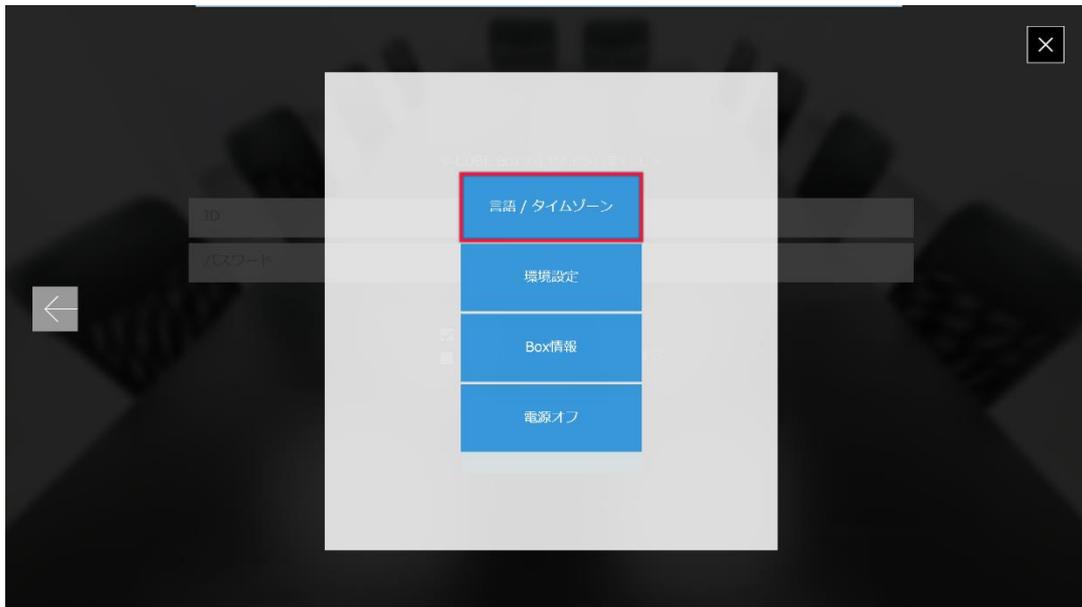
 を押すと赤矢印のように文字種の切り替えが可能です。

 を押すとスクリーンキーボードは非表示になります。



5.3 言語／タイムゾーンの設定

ログイン画面でメニューボタンを押し、「言語／タイムゾーン」ボタンを選択して押します。



No.	項目	内容
1	言語を変更する	使用する言語の変更ができます
2	タイムゾーンを変更する	適合するタイムゾーンの変更ができます

5.3.1 設定言語の変更

「言語を変更する」から使用する言語を選択できます。



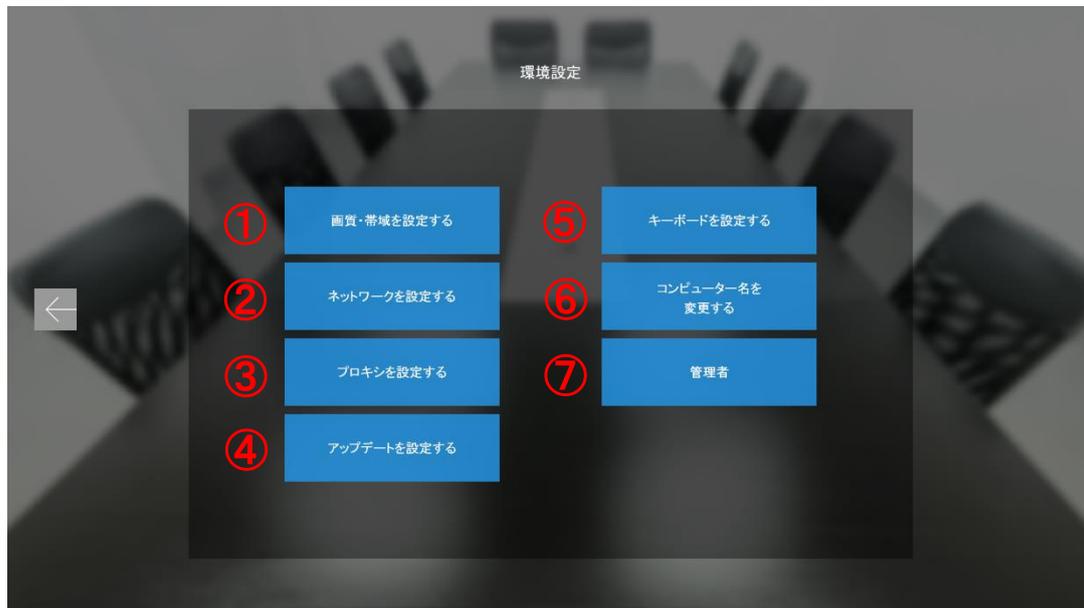
5.3.2 タイムゾーンの設定

「タイムゾーンを変更する」から、適合するタイムゾーンを選択できます。



5.4 環境設定

V-CUBE Box 利用環境の設定変更が可能です。



No.	項目	内容
1	画質・帯域を設定する	送信画質、受信映像のなめらかさ、上り速度、下り速度、表示拠点数の設定変更が可能です
2	ネットワークを設定する	V-CUBE Box のネットワーク設定ができます
3	プロキシを設定する	プロキシ環境の設定ができます
4	アップデートを設定する	オートアップデートの有効、無効を変更できます
5	キーボードを設定する	キーボードの配列を ABC 順と QWERTY 順で変更できます
6	コンピューター名を変更する	コンピューター名を変更できます ※ 出荷時は「box」に設定されています
7	管理者	管理者パスワードの設定、設定の初期化ができます

5.4.1 画質・帯域を設定する

画質、帯域に関する各種設定変更をすることができます。



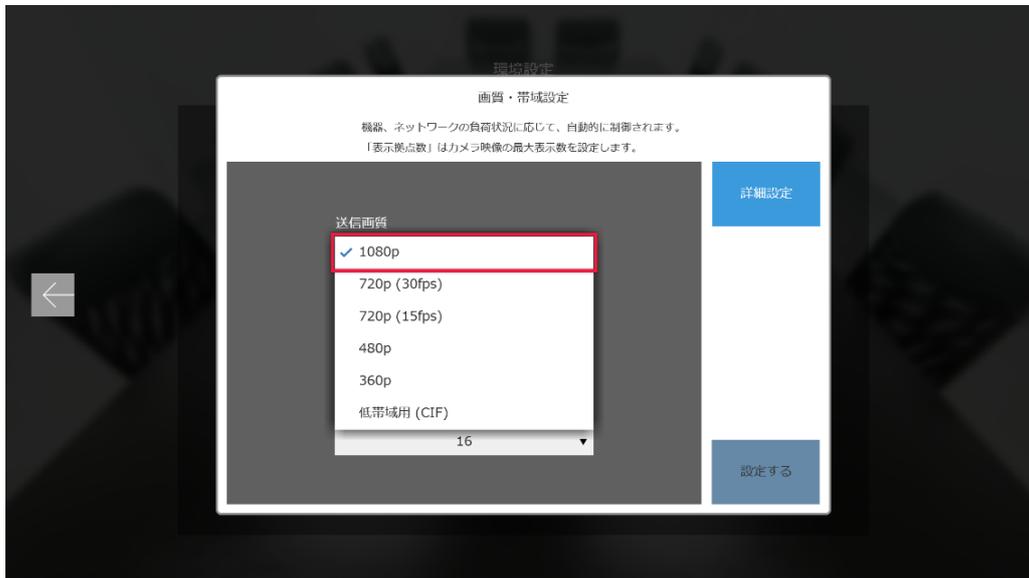
No.	項目	内容
1	送信画質	送信映像の画質を変更することが可能です
2	上り速度	上り速度の変更が可能です
3	下り速度	下り速度の変更が可能です
4	表示拠点数	表示拠点数を制限できません
5	詳細設定	画質・帯域設定の詳細設定画面を開きます
6	受信映像のなめらかさ	受信映像のなめらかさを変更することが可能です
7	映像受信の方針	映像を受信する方針について優先する項目を設定できます
8	Screen Share 画面共有の解像度	Logicool Screen Share を利用した画面共有の送信解像度を設定します

※ 画質の設定は上限値です。負荷状況に応じて設定値より低い値になることがあります

① 送信画質を変更する

1080p, 720p(30fps), 720p(15fps), 480p, 360p, 低帯域用(CIF)の選択肢から選択し、「設定する」を押してください。

※ バージョン 1.x の場合は 1080p, 720p, 480p, 360p, 低帯域用(CIF)の5つ



② 上り速度を変更する

制限しない ~ 128kbps の選択肢から選択し、「設定する」を押してください。

※ バージョン 1.x の場合は、5.0Mbps, 4.0Mbps の選択肢はありません



③ 下り速度を変更する

制限しない ~ 128kbps の選択肢から選択し、「設定する」を押してください。

※ バージョン 1.x の場合は、5.0Mbps, 4.0Mbps の選択肢はありません



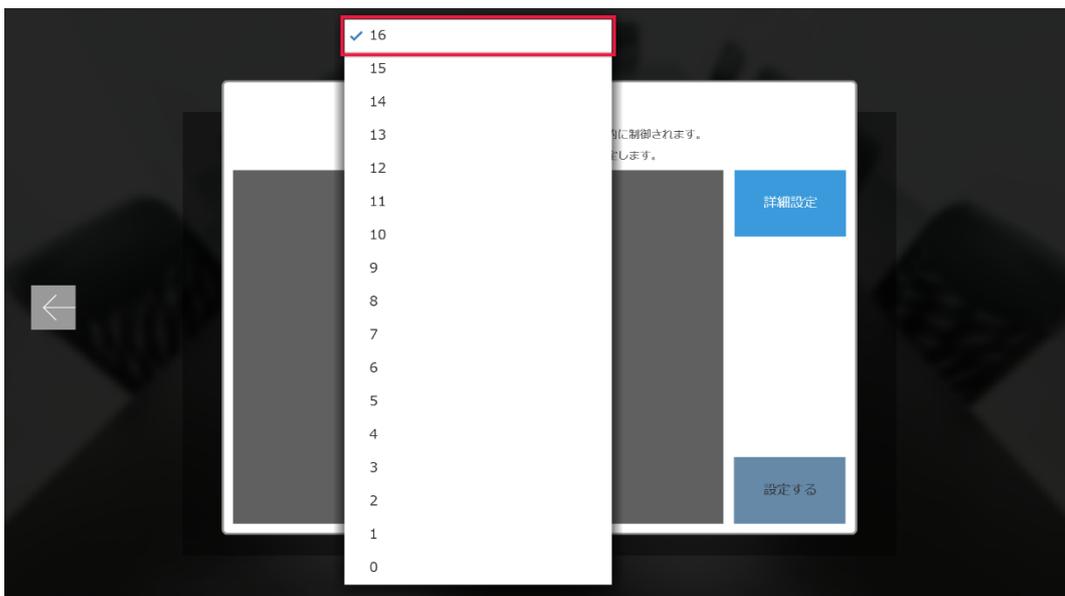
④ 表示拠点数を変更する

16 ~ 0 の選択肢から選択し、「設定する」を押してください。

※ バージョン 1.x の場合は、最大 8 までとなります

※ 0 にしても自映像は表示されます (自映像を非表示にすると何も表示されなくなります)

※ この設定はフレームレートの高い映像に対する設定になり、多拠点モードの低フレームレートの画像には適用されません (多拠点モードについては[こちら](#)を参照ください)



⑤ 詳細設定

画質・帯域設定の詳細設定画面を開きます。

⑥ 受信映像のなめらかさを変更する

高、標準、低の3つの選択肢から選択し、「設定する」を押してください。

※ 高に設定すると入室拠点数が多くなったときなどに表示拠点数が減少する場合があります

※ 標準にしても表示拠点数が減少してしまう場合は低に設定することで改善する可能性があります



⑦ 映像受信の方針を変更する

解像度優先、表示拠点数優先の2つの選択肢から選択し、「設定する」を押してください。

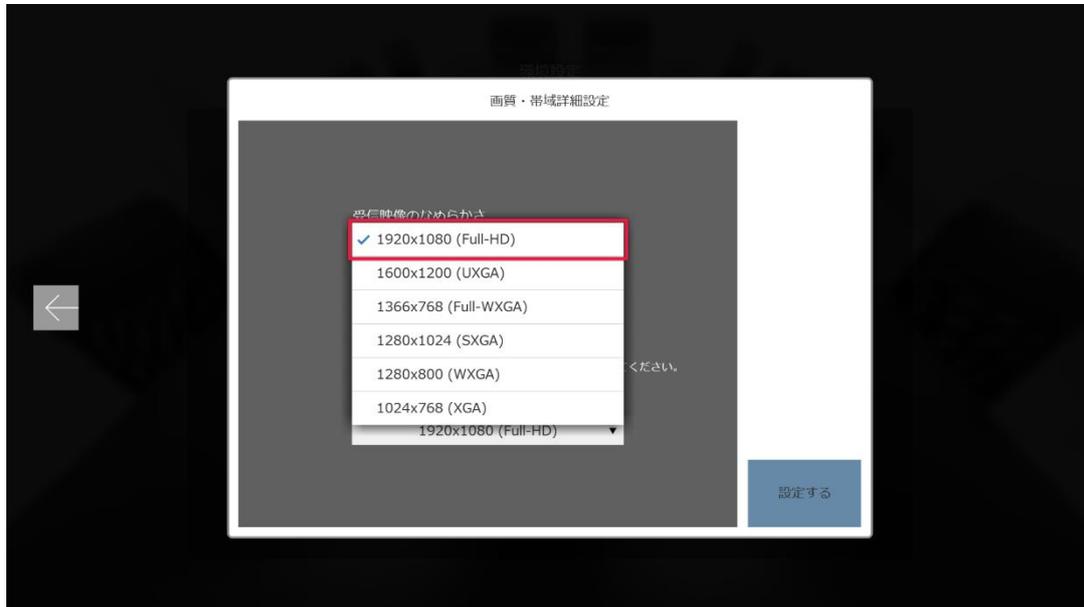
フルHDを超える高解像度のディスプレイをご利用の場合、受信映像の解像度も高くなるため、端末の負荷が高くなり表示拠点数が減少する場合があります。解像度を優先して鮮明な映像を得たい場合は「解像度優先」を、表示される拠点映像を多くしたい場合は「表示拠点数優先」を選択します。



⑧ Screen Share 画面共有の解像度

Logicool Screen Share を利用した画面共有の送信解像度を設定します。選択肢から選択して、「設定する」を押してください。共有元 PC の画面サイズと同程度の解像度を目安に選択肢から選びます。小さい値を選択することで画面共有の帯域を減らすことができます。

※ 1920x1080 (Full-HD) が初期値です



5.4.2 ネットワーク設定

ご利用のネットワーク環境に合った設定を入力後、「設定する」を押してください。



※ 誤入力防止の為、数字以外の文字は入力できない仕様になっております

「詳細設定」ボタンを押すとネットワークの詳細設定画面が開きます。



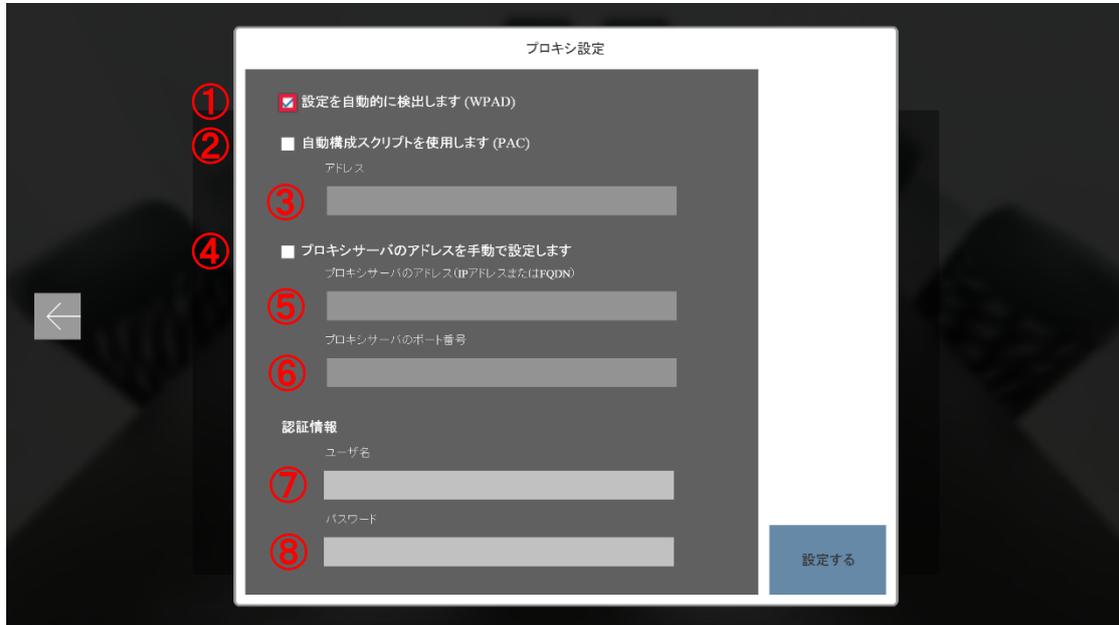
No.	項目	内容
1	TCP 接続のみを使う	チェックを外すと TCP と UDP を利用して通信します。UDP も利用可能なネットワークの場合は、UDP を利用することで通信遅延、負荷を低減できます。
2	サーバーの証明書失効を確認する (設定後、再起動します)	チェックを外すと、サーバー証明書の妥当性確認はしますが、失効確認をしなくなります。
3	起動時に DNS キャッシュをクリアする	チェックを外すと、起動時の DNS キャッシュクリアをしなくなります。
4	PING(ICMP)に応答する	PING に応答するように設定できます。
5	IPv4/IPv6 優先設定	バージョン 1.x にはこの設定はありません

「再起動する」ボタンを押して再起動した後、変更した設定が有効になります。



5.4.3 プロキシを設定する

インターネット接続にプロキシサーバを経由する場合、ここで設定をおこないます。お客様のご利用環境のプロキシサーバに関する情報を入力してください。認証が必要なプロキシサーバの場合は「ユーザ名」「パスワード」欄も合わせて入力します。設定が終わりましたら「設定する」ボタンを押してください。



No.	項目	内容
1	設定を自動的に検出します (WPAD)	チェックを入れると、プロキシ設定が自動的に検出されるように設定されたネットワーク環境下でプロキシ設定が自動的に設定されます
2	自動構成スクリプトを使用します (PAC)	チェックを入れると「アドレス」で設定される URL から自動構成スクリプトを取得し、そのスクリプトでプロキシの設定がされます
3	アドレス	自動構成スクリプトを取得する URL を指定します
4	プロキシサーバのアドレスを手動で設定します	チェックを入れるとこの項目以降のテキストボックスで設定するプロキシアドレス、ポート番号でプロキシの設定をおこないます
5	プロキシサーバのアドレス (IP アドレスまたは FQDN)	手動設定する場合のプロキシサーバのアドレス
6	プロキシサーバのポート番号	手動設定する場合のプロキシサーバのポート番号
7	ユーザ名	認証が必要なプロキシサーバのユーザ名
8	パスワード	認証が必要なプロキシサーバのパスワード

※ 自動検出および自動構成スクリプトは、接続先によって複数のプロキシを使い分けるスクリプトの場合でも V-CUBE Meeting サーバへ接続するときに得られるプロキシ設定のみを利用します

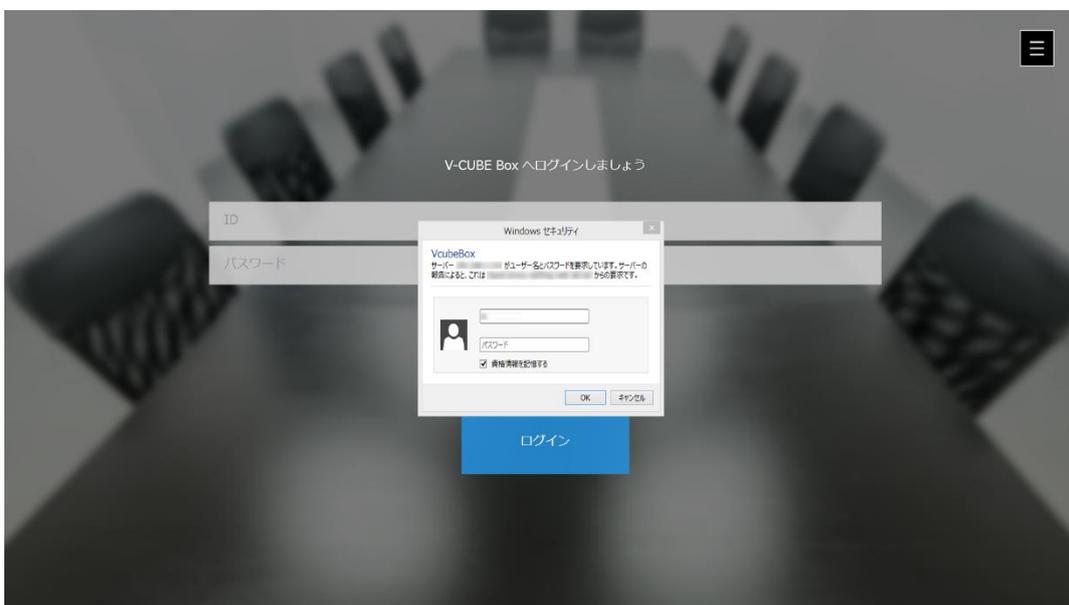
※ 自動検出および自動構成スクリプトの内容をサーバ側で変更した場合、V-CUBE Box への適用に時間がかかることがあります (V-CUBE Box 端末を再起動することで更新される可能性があります)

- ※ プロキシの設定は自動検出、自動構成スクリプト、手動設定で同時に有効にできますが、実際に設定される優先順位は、自動検出、自動構成スクリプト、手動設定の順になります
- ※ 対応している認証方式はベーシック認証と NTLM 認証になります

「再起動する」ボタンを押して再起動した後、変更した設定が有効になります。



- ※ 認証が必要なプロキシサーバのユーザ名・パスワードが誤っている場合、V-CUBE Box 再起動後のログイン画面で下記のような、認証情報を入力するように促されるダイアログが表示されることがあります
- ※ 下記のようなダイアログが表示された際は、お手数ですが一旦 USB マウス等を接続してダイアログを消した後にメニューボタンを押し、「環境設定」-「プロキシを設定する」へ進み、正しいユーザ名・パスワードを入力し直してください



5.4.4 アップデートを設定する

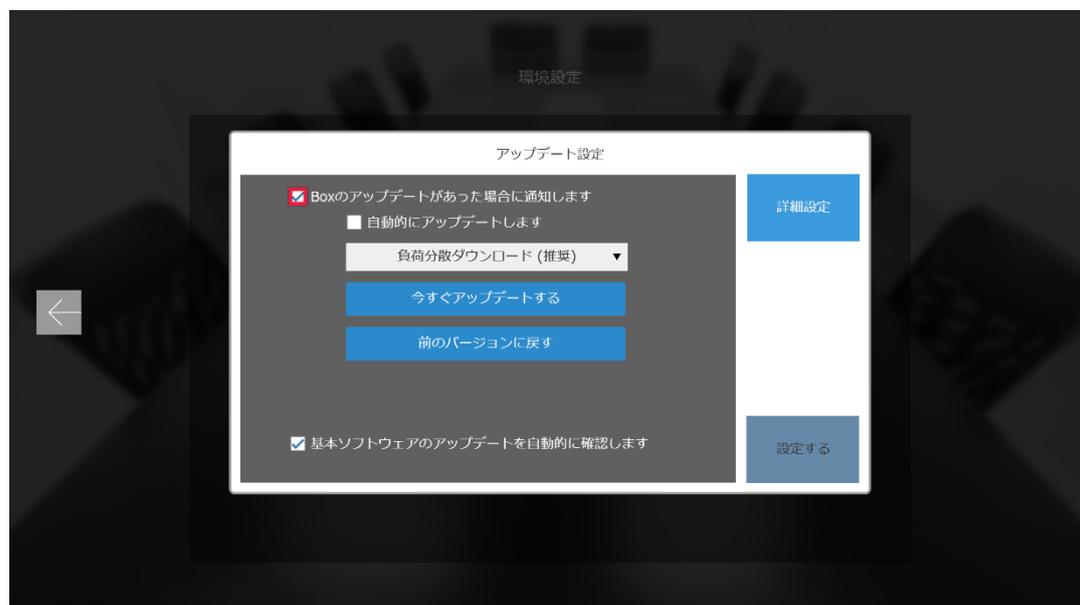
V-CUBE Box 及び基本ソフトウェアのアップデートについて有効・無効、アップデートを自動的に行うかの変更が可能です。

- ※ デフォルトは「Box のアップデートがあった場合に通知します」と「基本ソフトウェアのアップデートを自動的に確認します」が有効、「自動的にアップデートする」が無効になっております
- ※ 基本ソフトウェアのアップデート設定は基本ソフトウェアのバージョンによって異なります
- ※ 「今すぐアップデートする」機能はバージョン 1.x にはありません

初期リリースの基本ソフトウェア



次版以降の基本ソフトウェア



V-CUBE Box のアップデートについての詳細は [V-CUBE Box のオートアップデートに関して](#) を参照ください。

- 基本ソフトウェアのアップデートについて
基本ソフトウェアのアップデートはV-CUBE Box 起動中にバックグラウンドでダウンロードされます。ダウンロードが完了し、インストールが可能になった時点でV-CUBE Box の電源をオフにするメニューからシャットダウンすると、そこでインストールが開始されます。
また、タイミングによってはV-CUBE Box の動作中に再起動を伴うインストールが開始されることがあります。
- 基本ソフトウェアインストール開始スケジュールの設定について
V-CUBE Box 1.7.4 以降では、初期リリースの基本ソフトウェアのインストール開始のタイミングをスケジュールすることができます。
※ 次版以降の基本ソフトウェアでは詳細スケジュールは設定できませんが、8時～20時の間は自動的にインストールが開始されない設定になっています

曜日の設定

インストール準備ができた後に実際にインストールを開始する曜日を設定することができます。「毎日」を選択すると準備ができた当日にインストールが開始されます。



時刻の設定

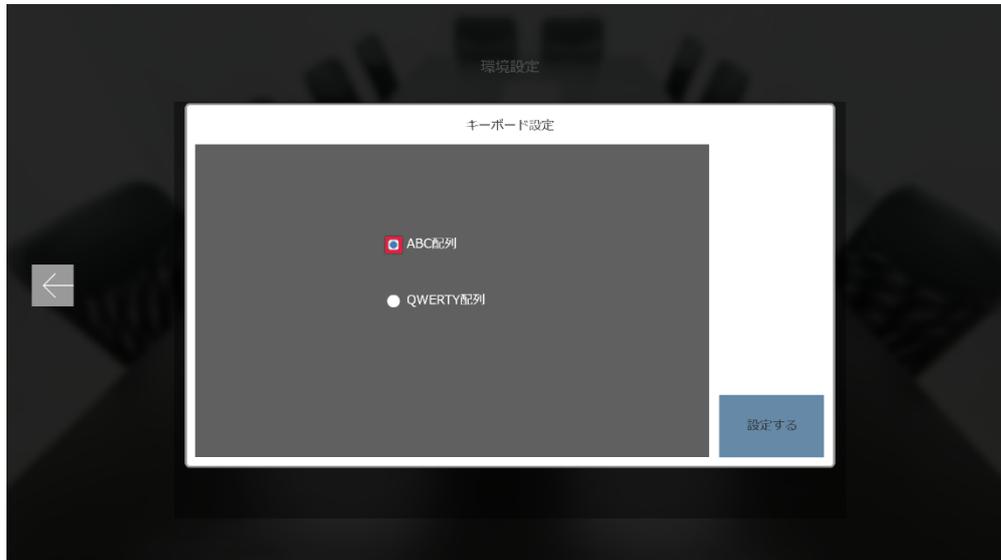
インストール準備ができた後に実際にインストールを開始する時刻を設定することができます。



※ V-CUBE Box 1.7.4 にアップデートすると、自動的に、曜日は「毎日」に、時刻は「0時」に設定されます

5.4.5 キーボードを設定する

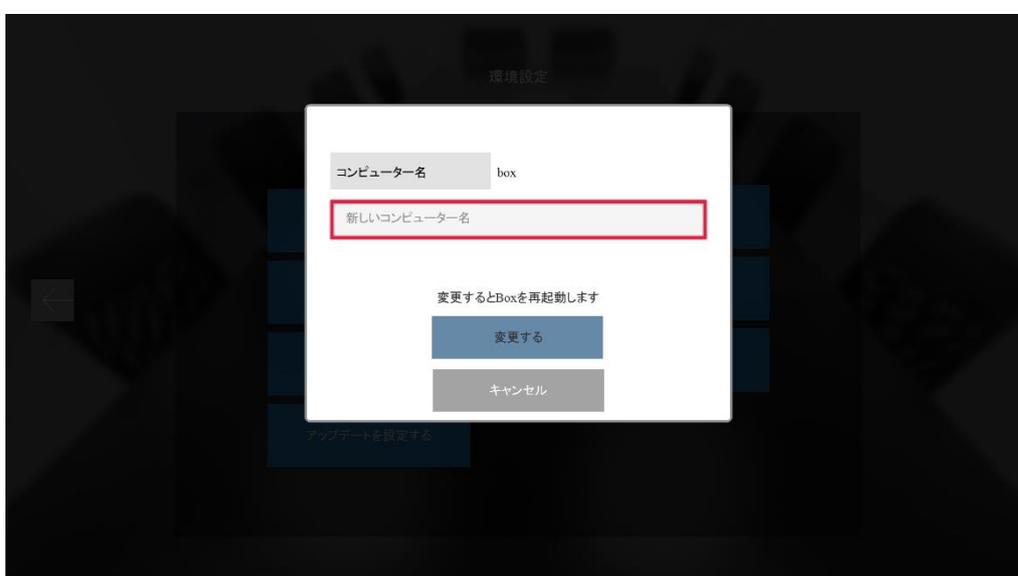
ソフトウェアキーボードの配列を切り替えることができます。標準では ABC 配列が選択されています。設定したい配列を選択して、「設定する」ボタンを押します。



5.4.6 コンピューター名を変更する

コンピューター名を変更することができます。出荷時点では「box」に設定されています。コンピューター名には英数字とハイフンの文字が利用でき、最大 15 文字までの文字列で設定できます。

画面の「コンピューター名」には現在設定されているコンピューター名が表示されます。「新しいコンピューター名」と表示されているテキストボックスに変更したいコンピューター名を入力し、「変更する」ボタンを押します。自動的に再起動され、次回起動時に新しいコンピューター名になっています。



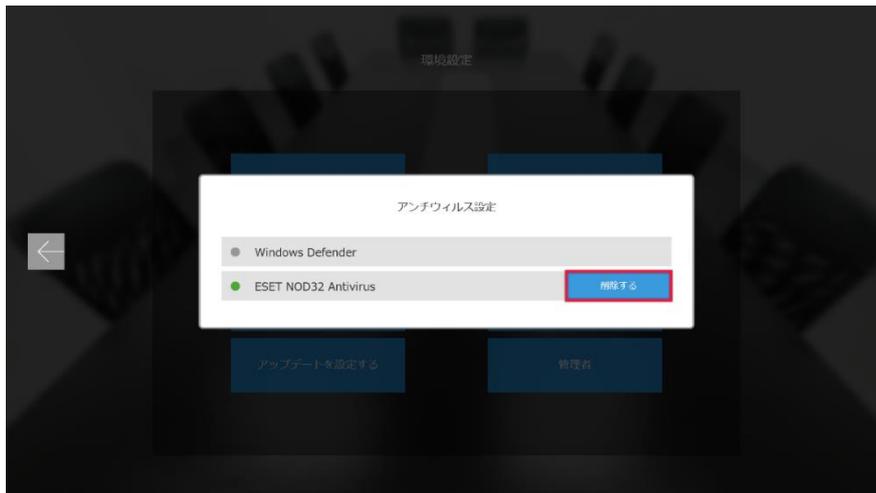
5.4.7 アンチウイルスを設定する

※この機能はサードパーティ製アンチウイルスソフトを採用しているモデルでのみ利用できます

(それ以外のモデルではメニューが表示されません)

システムのアンチウイルスソフトの状態確認とサードパーティ製アンチウイルスソフトを削除することができます。サードパーティ製のアンチウイルスソフトを削除することで、基本ソフトウェア(オペレーティングシステム)に付属するアンチウイルスソフトに切り替えることができます。

「アンチウイルスを設定する」ボタンを押すと、システムのアンチウイルスソフトの状態が表示されます。現時点で有効なアンチウイルスソフトが緑の印で示されます。サードパーティ製のアンチウイルスソフトについては削除ボタンが表示されます。



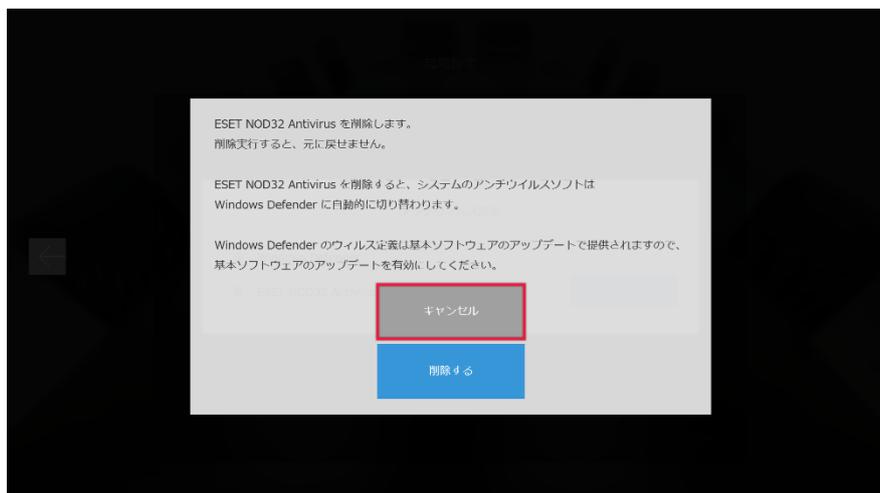
「削除する」ボタンを押すと注意事項が表示されます。

※ サードパーティ製のアンチウイルスソフトの削除後は元に戻せません

※ サードパーティ製のアンチウイルスソフトを削除すると基本ソフトウェア付属のアンチウイルスソフトに自動的に切り替わります

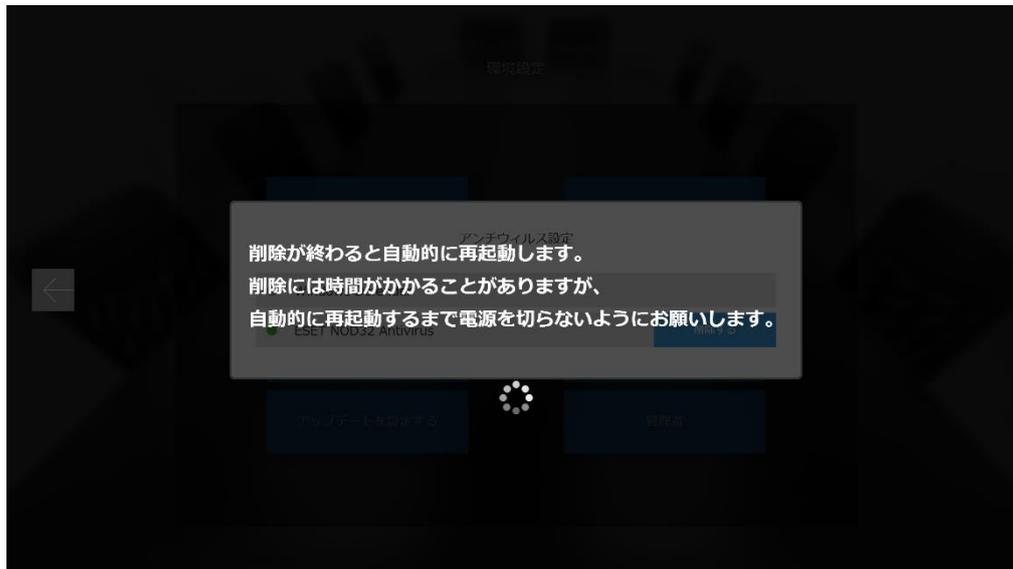
※ 基本ソフトウェア付属のアンチウイルスソフトのウイルス定義ファイルは基本ソフトウェアのアップデートで提供されますので、基本ソフトウェアのアップデートを有効にするようにしてください

設定法については[基本ソフトウェアのアップデート](#)を参照ください。



「削除する」ボタンを押すとサードパーティ製のアンチウイルスソフトの削除処理が実行されます。削除処理は数十秒ほどで終了し、自動的に再起動されます。

※ 削除処理実行中は本体の電源を切らないようにしてください



再起動後に再度「アンチウイルス設定」画面を開くと、基本ソフトウェア付属のアンチウイルスソフトに変更されていることを確認できます。



5.5 Wi-Fi 設定

Wi-Fi 搭載モデルではネットワークインターフェースとして Wi-Fi を使うことができます。

※ 有線 LAN と Wi-Fi を同時に接続した場合は、有線 LAN が優先されます

5.5.1 ネットワーク設定

Wi-Fi 搭載モデルではネットワーク設定画面に「Wi-Fi 設定」ボタンが表示されるようになります。

「Wi-Fi 設定」ボタンを押して、Wi-Fi 設定画面に入ります



5.5.2 Wi-Fi 設定

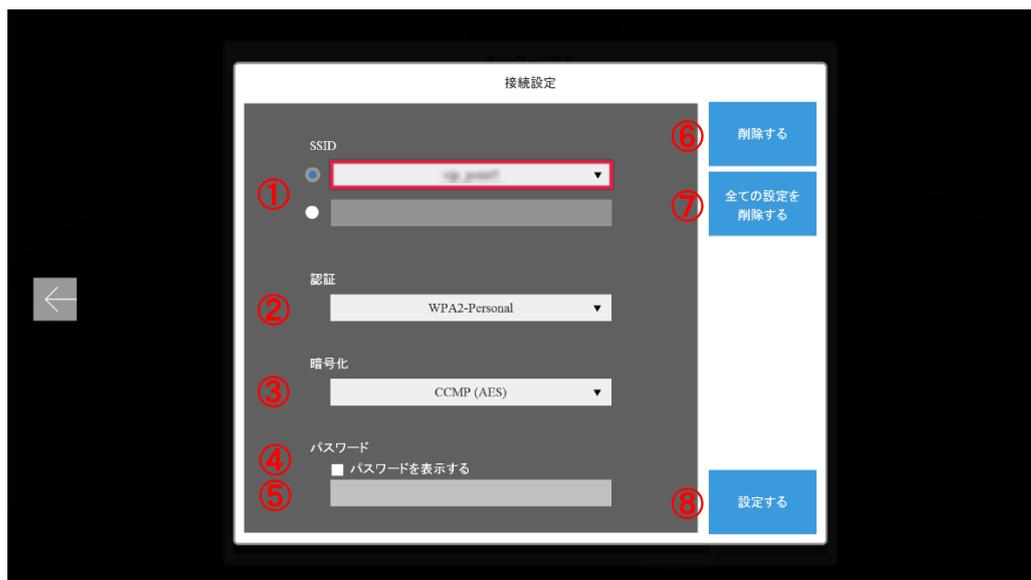
Wi-Fi デバイスの設定および現状の確認ができます。



No.	項目	内容
1	Wi-Fi を使用する	Wi-Fi デバイスを有効、または無効にできます。 出荷時は無効になっていますので、Wi-Fi を使用したい場合はチェックを入れて有効にします
2	Wi-Fi インターフェース	Wi-Fi インターフェースを選択することができます。
3	状態	以下のような Wi-Fi の状態を表示します。 ・ 接続時: connected ・ 切断時: disconnected
4	SSID	接続している Wi-Fi アクセスポイントの SSID です。
5	無線の種類	接続している無線方式です。
6	認証	認証の方式です。
7	暗号	暗号化の方式です。
8	シグナル	電波の強さです。
9	再接続する	Wi-Fi を再接続します。 ネットワークが不調の時に実行することで改善されることがあります。
10	接続設定	Wi-Fi アクセスポイントと接続するための設定画面に入ります。

5.5.3 接続設定

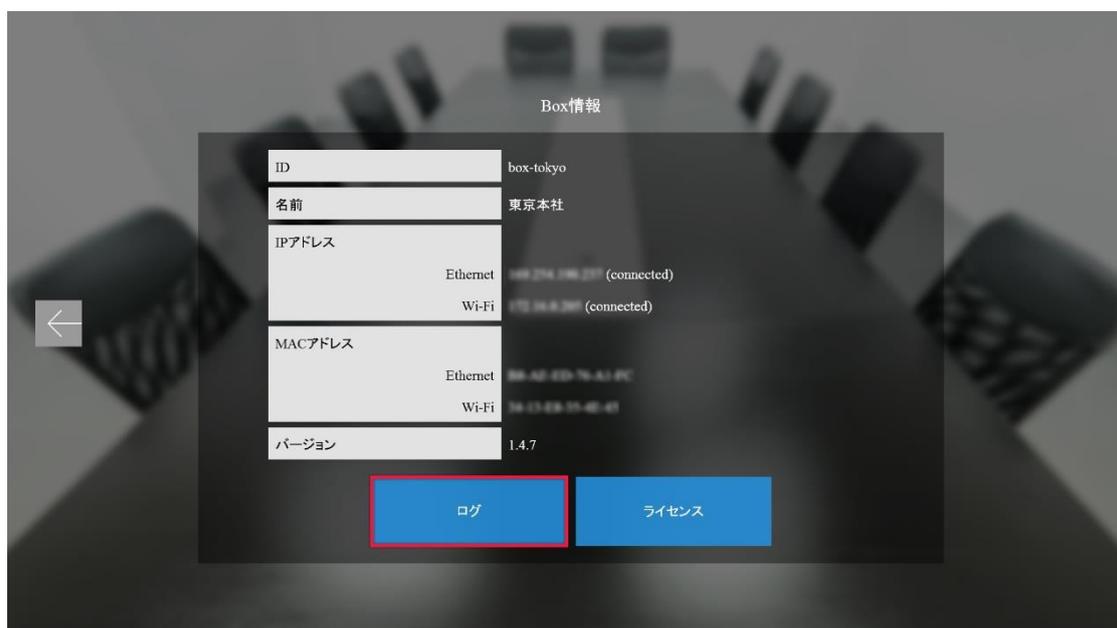
Wi-Fi アクセスポイントに対する接続設定をすることができます。Wi-Fi アクセスポイントの設定に合わせた内容を入力してください。



No.	項目	内容
1	SSID	Wi-Fi アクセスポイントの SSID が一覧表示されます。 下段のテキストボックスを選択すると任意の SSID を入力することができます。
2	認証	Wi-Fi アクセスポイントとの認証方式を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Open ・ WPA-Personal ・ WPA2-Personal ※ 選択肢にない方式はサポートされません
3	暗号化	Wi-Fi アクセスポイントとの暗号化方式を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ None ・ WEP ・ TKIP ・ CCMP (AES) ※ 選択肢にない方式はサポートされません
4	パスワードを表示する	入力したパスワードをそのまま表示します。
5	パスワード	Wi-Fi アクセスポイントとの接続に必要なパスワードを入力します。
6	削除する	選択された SSID に対する設定を削除します。
7	全ての設定を削除する	これまでに設定した全ての SSID に対する設定を削除します
8	設定する	指定の SSID に、画面上で入力した認証、暗号化、パスワードを設定し、Wi-Fi に接続します。

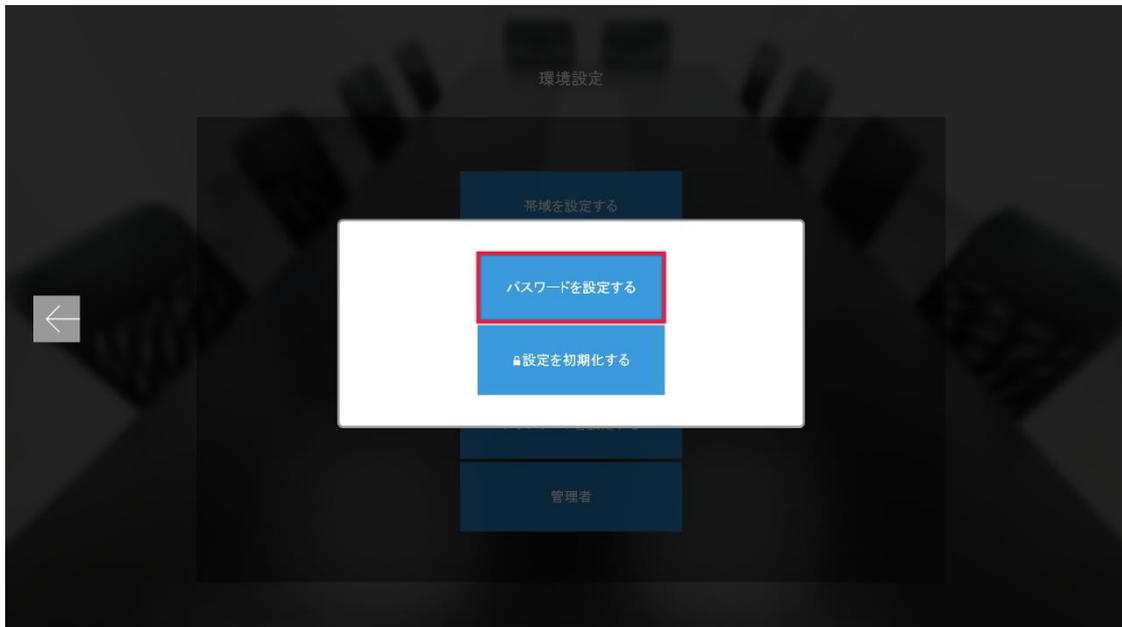
5.5.4 Wi-Fi 有効時の Box 情報

Wi-Fi デバイスが有効の時は Box 情報画面上でも内容を確認できます。



5.6 管理者

管理者パスワードの設定、端末設定の初期化をすることができます。



鍵マークの付いたボタンは管理者しか実行できない機能です。ボタンを押した時に管理者パスワード入力欄が表示され、あらかじめ設定したパスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードが設定されていない場合は、実行することが可能です。初期状態は管理者パスワードは設定されていません。

※ V-CUBE Box 1.4.8 時点での管理者権限の必要な機能は「設定初期化」のみです



管理者パスワードが設定されていない場合（開いた鍵マーク）



管理者パスワードが設定されている場合（閉じた鍵マーク）

5.6.1 パスワードの設定・変更・削除

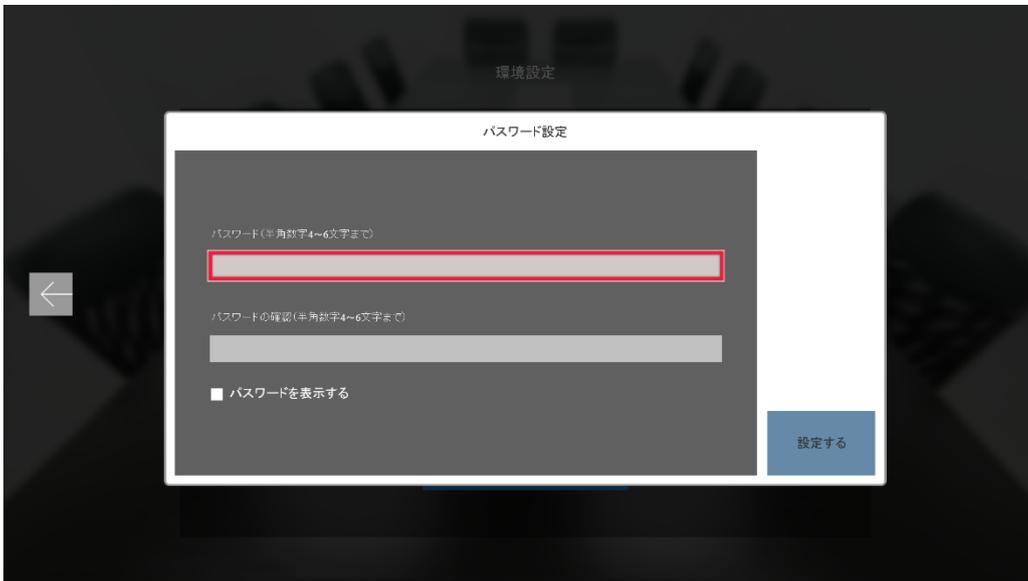
手順1. 初めて管理者パスワードを設定する(管理者パスワードが設定されてない)場合

「パスワードを設定する」ボタンを押します。

設定したいパスワードを入力して、「設定」ボタンを押します。

※ パスワードは半角数字で4~6文字で設定します

※ パスワードを表示するのチェックボックスをチェックするとパスワードが伏字になりません



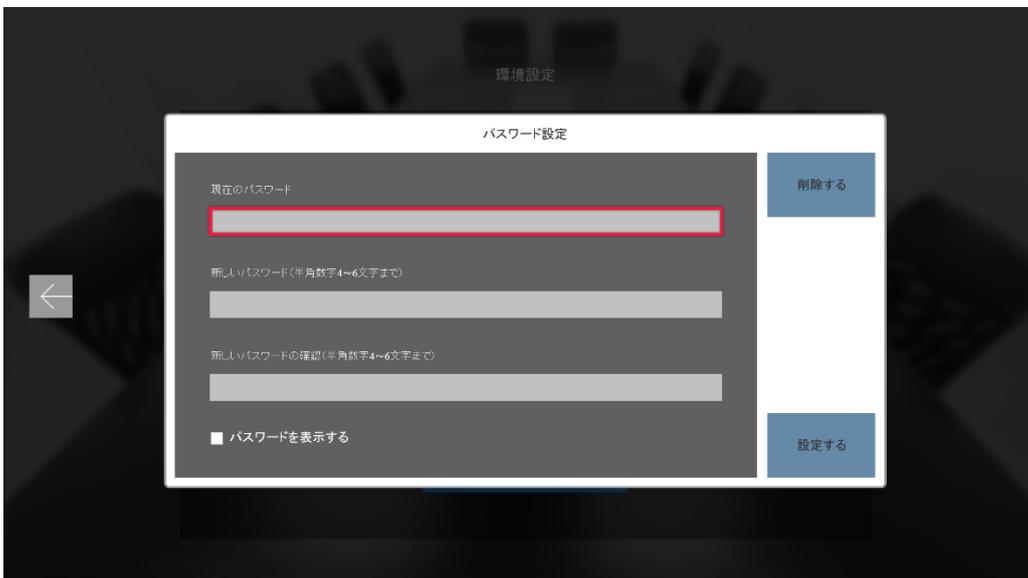
The screenshot shows a web interface for password setting. At the top, it says '環境設定' (Environment Settings) and 'パスワード設定' (Password Setting). There are two input fields: 'パスワード(半角数字4~6文字まで)' (Password, up to 6 alphanumeric characters) and 'パスワードの確認(半角数字4~6文字まで)' (Confirm password, up to 6 alphanumeric characters). Below the fields is a checkbox labeled 'パスワードを表示する' (Show password). A blue button labeled '設定する' (Set) is at the bottom right. A back arrow is on the left.

手順2. 管理者パスワードを変更する(管理者パスワードが設定されている)場合

「パスワードを設定する」ボタンを押します。

変更する：設定済の管理者パスワードと変更したいパスワードの値を入力して、「設定」ボタンを押します。

削除する：設定済の管理者パスワードを入力して、「削除」ボタンを押します。



The screenshot shows a web interface for password setting. At the top, it says '環境設定' (Environment Settings) and 'パスワード設定' (Password Setting). There are three input fields: '現在のパスワード' (Current password), '新しいパスワード(半角数字4~6文字まで)' (New password, up to 6 alphanumeric characters), and '新しいパスワードの確認(半角数字4~6文字まで)' (Confirm new password, up to 6 alphanumeric characters). Below the fields is a checkbox labeled 'パスワードを表示する' (Show password). There are two buttons: '削除する' (Delete) at the top right and '設定する' (Set) at the bottom right. A back arrow is on the left.

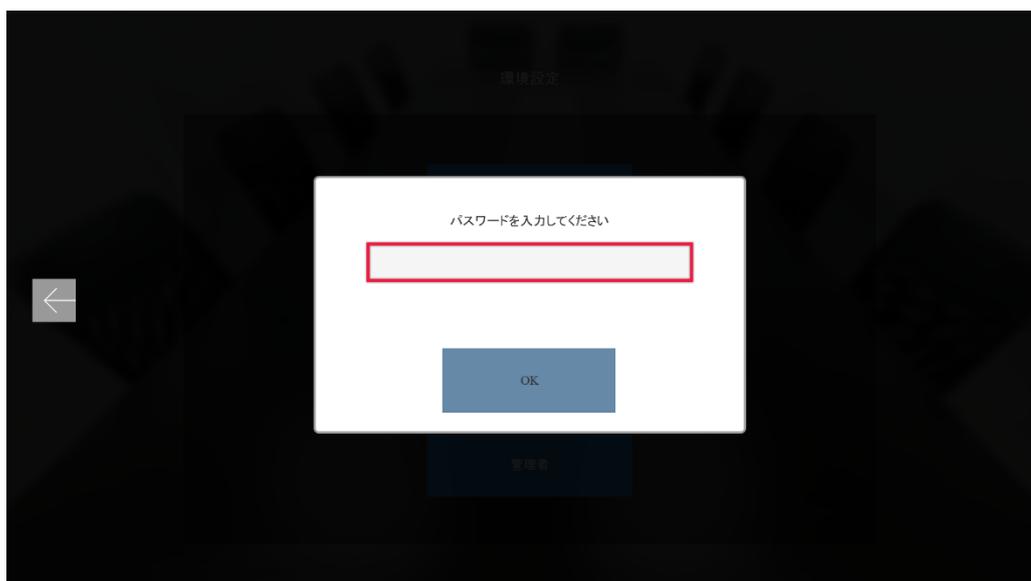
「削除する」ボタンを押すと管理者パスワードが削除されます。



5.6.2 設定の初期化

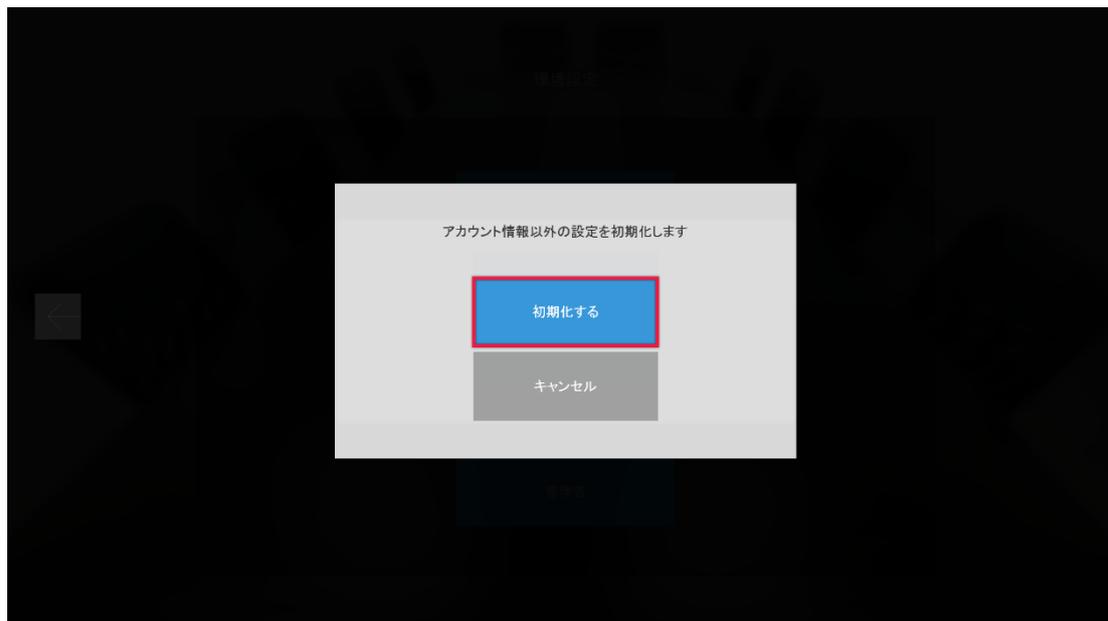
V-CUBE Box で設定した各種設定内容を初期設定にしたい場合、「設定を初期化する」ボタンを押します。

※ 管理者パスワードが設定されている場合は、管理者パスワードを入力する必要があります



「初期化する」ボタンを押します。

※ アカウント以外の設定が初期状態になります



5.7 ホーム画面

V-CUBE Box 起動後、自動ログインするとホーム画面が起動します。



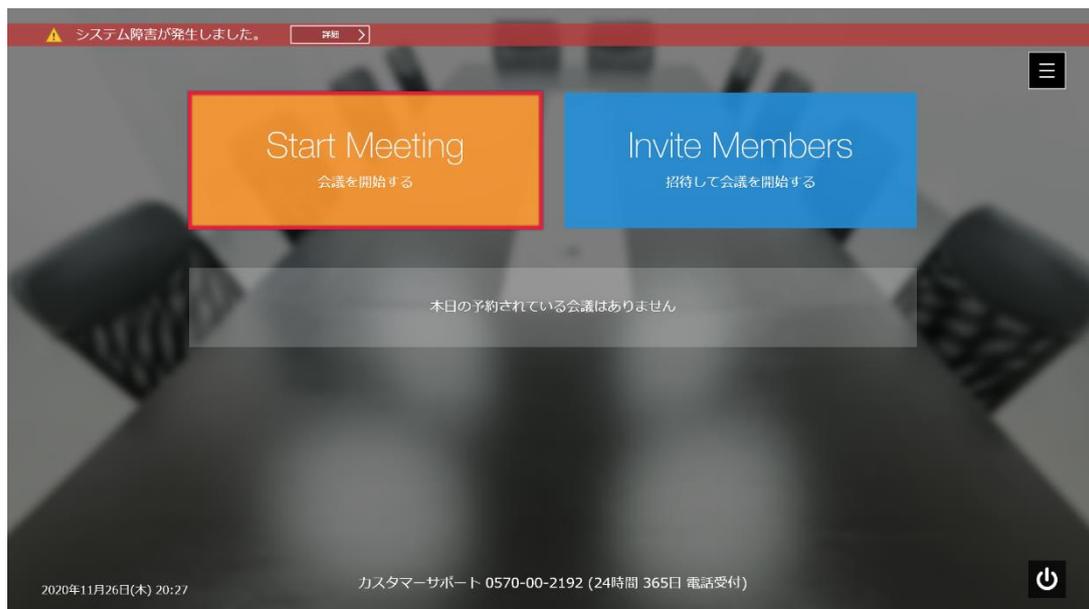
リモコンの十字キー、決定ボタンを使って操作をしてください。

No.	項目	内容
1	お知らせ	サーバーメンテナンス等のお知らせがある場合に文章が表示されます
2	Start Meeting 会議を開始する	すぐに会議室に入室して会議を開始することができます 会議室選択画面に遷移します
3	Invite Members 招待して会議を開始する	メンバーを招待して会議を開始することができます 招待先メンバー一覧画面に遷移します
4	会議予定	この拠点が招待されている会議予定の一覧(当日分)が表示されます 複数ページに渡る場合、ページ切り替えをします
5	現在日時	現在の日時が表示されております
6	メニューボタン	リモコンのメニューボタンと同じ機能です (タッチパネルディスプレイでの操作時に使用します)
7	電源	V-CUBE Box を終了して本体電源を切ります

一部サーバに障害がある場合にホーム画面が以下の画像の状態になることがあります。このとき V-CUBE Box 同士の招待機能をご利用いただけなくなります (招待ボタンが無効になります)。その他の機能、WEB ページの予約からの招待、部屋選択での会議開始等をご利用いただけます。サーバ障害が解消した後に V-CUBE Box の再起動もしくはログインをすることで通常の状態に復帰できます。



システム障害が発生して通常のサーバ環境を利用できなくなった場合に、以下の画面のように障害を通知し、バックアップ用の障害緊急退避環境にサーバ設定を切り替える場合があります。通知内容や設定の変更については、[緊急退避環境について](#)を参照ください。



5.8 会議室を選んで会議を開始するには

5.8.1 予約なしで会議を開始するには

ホーム画面でリモコンを操作して「Start Meeting 会議を開始する」で「決定」を押します。

Start Meeting
会議を開始する

5.8.2 利用する会議室を選択する



No.	項目	内容
1	ページ変更	会議室が4つ以上ある場合、次の会議室一覧ページを表示することができます
2	戻る	ホーム画面へ戻ります
3	会議室	入室したい会議室に選択を合わせて「決定」ボタンを押下することで会議を開始することができます またその会議室に会議予約がされている場合には予約内容が表示されます
4	会議室の状況	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="background-color: red; color: white; padding: 2px;">会議中</p> <p style="font-size: 1.2em;">大阪支社</p> </div> <div> <p>会議中です 会議に参加している拠点名が表示されます (この例では大阪支社が参加しています)</p> </div> </div>
5	入室人数	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="font-size: 1.2em;">1 / 10人</p> </div> <div> <p>[入室人数] / [最大入室人数] の形式で表示されます ※ V-CUBE Box ライセンス契約の場合は最大入室人数は表示されません</p> </div> </div>

6	表示モード切替	<p>会議に関する情報についての表示を3パターンで切り替えます。会議情報を多く表示する場合は1ページに表示できる会議室数が少なくなり、会議情報が少ない場合は多くの会議室を表示することができます。</p> <p>「予約・参加者 ▼」： 1ページに3会議室分表示され、当日の予約情報、現時点の会議開催状態と参加者名が表示されます</p> <p>「参加者 ▼」： 1ページに6会議室分表示され、現時点の会議開催状態と参加者名が表示されます</p> <p>「開催情報 ▼」 1ページに2段組で16会議室分表示されますが、現時点の会議開催状態のみが表示されます</p>
7	一覧/履歴切替	<p>「一覧 ▼」： 会議室全体を管理者ページの会議室設定の順で表示します</p> <p>「🕒 履歴 ▼」： 最近入室した方から最大16会議室を先頭に表示し、続けて残りを表示します。履歴として並び順が変わった会議室には会議室名の先頭に🕒が表示されます。</p>

※ 表示モードと一覧/履歴の切り替えはそれぞれ独立に設定できるので、表示モード3パターン、一覧/履歴2パターンの組み合わせで、合計6パターンの表示のさせ方ができます

※ 会議室の状況は一定時間で最新情報に書き変わりますので、現実の内容から遅れる場合があります

※ バージョン 1.x では入室人数は表示されません

5.8.3 会議室一覧の表示モードを切り替える

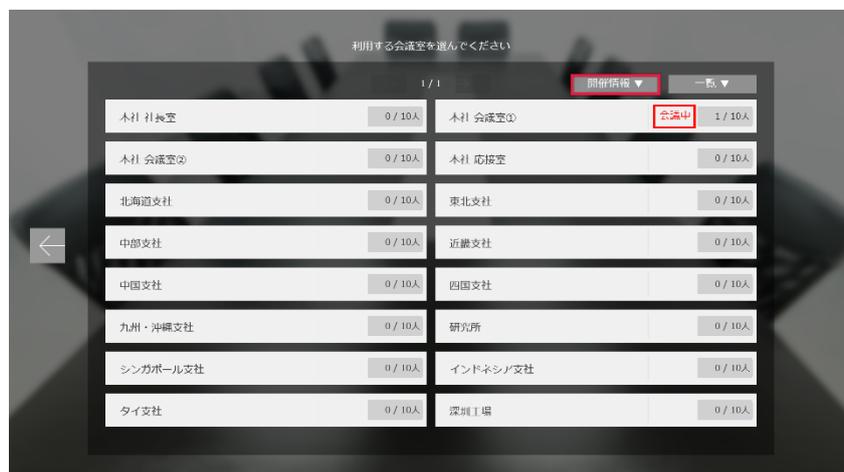
「予約・参加者」



「参加者」



「開催情報」



5.8.4 一覧／履歴を切り替える

「一覧」⇔「履歴」

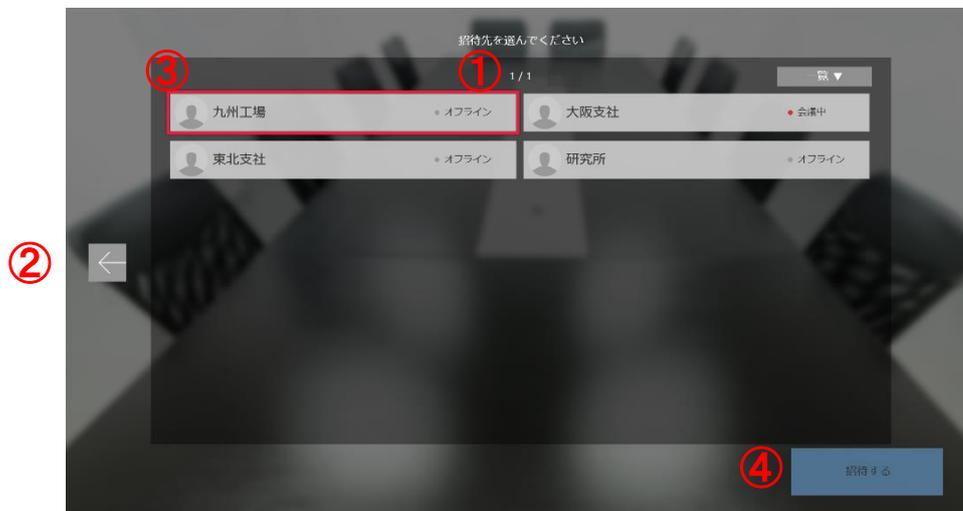


※ 会議室名の先頭に◎が付いているのが履歴モードで優先表示されている会議室です

5.9 メンバー招待をして会議を開始するには

5.9.1 招待するメンバーを選択する

ホーム画面でリモコンを操作して、「Invite Members 招待して会議を開始する」を選択し「決定」を押すと、招待先メンバーの一覧画面が表示されます。



No.	項目	内容
1	ページ変更	招待先が一画面内に表示できない場合、ページの切り替えをすることができます
2	戻る	ホーム画面へ戻ります
3	招待先名称	招待先の名称とステータスが表示されます ステータスは以下の3種類です オンライン：V-CUBE Box が利用可能であり、 会議をしていない状態です オフライン：V-CUBE Box が利用できない状態です。 会議中：会議に参加している状態です 招待先を選択した状態で「決定」ボタンを押すと、その招待先にチェック「✓」が入ります（複数選択が可能です）
4	招待する	招待先の選択が終わった後でこのボタンを押すと、会議を開催するための会議室選択画面へ遷移します（この時点では招待通知は送信されません）

※ バージョン 1.x では2段組み表示ではなく、1行あたり1招待先の表示になります

5.9.2 会議室を選択する

会議室一覧画面が表示されるので、会議を開催したい会議室を選択して「決定」を押します。



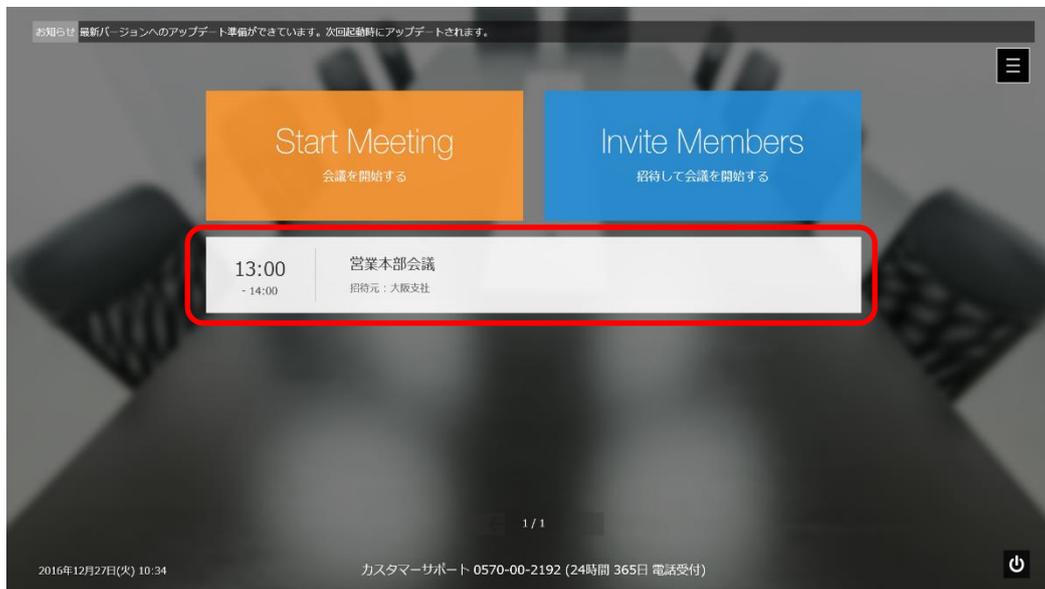
自拠点の V-CUBE Box は、選択した会議室に入室します。また他の選択したメンバーへ招待通知が送られます。

5.10 招待された会議に参加するには

5.10.1 招待通知表示

自拠点に対して招待通知が来ている場合、ホーム画面に通知が一覧表示されます。

※ **通知は当日分のみ表示されます**



5.10.2 参加する会議を選択する

リモコンを使ってカーソルを移動し、招待されている会議を選択して「決定」を押すことで、その会議に参加することができます。（予約されている会議の場合、予約時間の範囲内であれば入室することができます。）

5.11 暗証番号で会議に参加するには

暗証番号を入力して会議に参加することができます。

操作手順については、[メニューを表示する](#) を参照ください。

ログイン後の暗証番号入室時の会議内の表示名は、暗証番号で招待された会議室が自分と同じ契約内の会議室の場合は登録済みの表示名となり、他契約の会議室の場合は「Guest」となります。

※ **暗証番号で入室する場合は、以下のような会議にも参加することができます**

- Gate でのワンタイム会議
- 他契約で開催されている V-CUBE Box, V-CUBE Meeting5 会議

※ **自ら開催した会議の暗証番号で他者を映像・音声を使える状態で参加させたい場合は、V-CUBE One の契約が必要になります**

6 会議を予約する（PCからの操作）には

6.1 V-CUBE ミーティングにログインする

V-CUBE ミーティングのウェブサイトにてPCのブラウザでアクセスします。

<https://mtg5l.vcube.com/>



V-CUBE Box のV-CUBE IDとパスワードでログインすることができます。

(Box ライセンスプランの場合、ウェブ管理者用 V-CUBE ID はご契約ごとに1つ発行されます。)

ウェブ画面からPCで直接会議室に入室することはできません。

「会議予約」メニューから会議の予約をすることができます。



6.2 会議予約画面で会議予約をする

6.2.1 V-CUBE Box が参加する会議の予約をする

※ V-CUBE Box は V-CUBE ID で招待しないと V-CUBE Box の通知に表示されません

手順3. 会議を予約する会議室を選択します

※ 会議室が複数ある場合に行う設定です。会議室 1 室のみのご契約の場合、設定は不要です

会議室	ROOM1 ▼
-----	---------

手順4. 会議の予約日時を選択します

予約日時	日時	2016/09/23	17 ▼ 時	45 ▼ 分 ~
		2016/09/23	18 ▼ 時	45 ▼ 分まで予約
	タイムゾーン	GMT + 09:00, 東京、韓国 標準時間、西オーストラリア夏時間 ▼		
		地域など	地域名で絞り込む	クリア

① 会議の日時、開始時刻と終了時刻を設定します。

開催日は、カレンダーのマークをクリックし、表示されたカレンダーから会議の開催日を設定します。
注意. このカレンダーは、お使いの PC に設定されている日付と連動しています。

② 標準時からの時差を設定します。

プルダウン▼から選択するか、地域名を入力し、「地域名で絞り込む」ボタンをクリックし絞り込みを行ってから選択します。

手順5. 会議名を入力します

会議名	<input type="text"/>
-----	----------------------

手順6. 招待メール設定を行います

参加者	<input checked="" type="checkbox"/> V-CUBE IDから招待
-----	---

Box ライセンスプランの場合、他 V-CUBE Box 端末の招待のみが可能です。

「V-CUBE ID から招待」をクリックすると、登録されている他 V-CUBE Box 端末が一覧表示されるので、招待したい V-CUBE Box 端末を選択してください。



V-CUBE ONE

V-CUBE ID、または名前で検索 1 - 6 / 全6件

<input type="checkbox"/>	V-CUBE ID	名前
<input type="checkbox"/>	box-kyushu	九州工場
<input type="checkbox"/>	box-osaka	大阪支社
<input type="checkbox"/>	box-tokyo	東京本社
<input type="checkbox"/>	box-tohoku	東北支社
<input type="checkbox"/>	box-laboratory	研究所
<input type="checkbox"/>	box-admin	管理者

V-CUBE IDにメールアドレスが登録されていない場合、招待メールは送信されませんのでご注意ください。

V-CUBE Box を招待する場合、V-CUBE Box 拠点には招待メールは送信されません。その場合においても、「差出人」の欄には任意のお名前、メールアドレスをご入力ください。

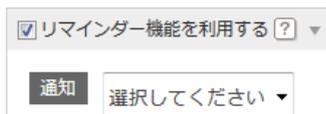
またウェブ管理者を招待しても会議に参加することはできません。

「主催者」欄は「設定しない」にチェックをしてください。

手順7. リマインダーの設定を行います

チェックを入れると、予約時に送られる招待メールとは別に、会議開始前の任意の時間に招待メールを再送信します。

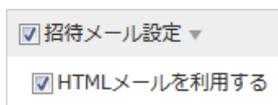
※ Box ライセンスプランの場合、メールは送信されないでリマインダーは行われません。V-CUBE One 契約のある場合に有効です



リマインダー機能を利用する

手順8. 招待メールのHTML化設定を行います

チェックを入れると、招待メールをHTML形式で送ります。

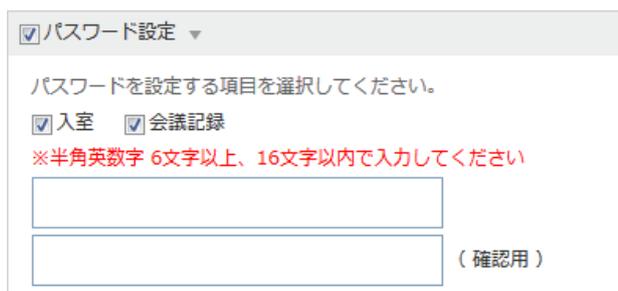


招待メール設定

HTMLメールを利用する

手順9. パスワード設定

チェックを入れると入室前にパスワードの入力を必要とする会議を設定する事ができます。



パスワード設定

パスワードを設定する項目を選択してください。

入室 会議記録

※半角英数字 6文字以上、16文字以内で入力してください

(確認用)

※ V-CUBE Box の場合、ソフトウェアキーボードを使ってパスワード入力をするようになります

6.2.2 PC・モバイル端末での参加者を招待する（V-CUBE One の契約が必要です）

会議予約画面で参加者を招待することができます。

招待する相手の情報を入力するには、アドレス帳からの選択、V-CUBE ID からの選択、直接入力の方法があります。

・アドレス帳を利用して入力する場合

- ① 「アドレス帳を開く」ボタンをクリックします



- ② アドレス帳に登録されている招待したい相手を選択できます。
招待したい相手の名前の左にある選択欄にチェックを入れます。



招待したい相手を選び「選択欄」にチェックをいれてください。
よく招待する相手は「新規登録」ボタンから登録してください。次回から入力を省略することができます。

→ 新規登録

検索 名前、ふりがな、グループ、メールアドレス入力で検索できます

全2件中 1 ~ 2 件表示

選択	名前	ふりがな	グループ	アドレス	言語	タイムゾーン	編集	削除
<input type="checkbox"/>	山田太郎	やまだたろう	営業部	yamadatarou@vcube.co.jp	日本語 (Japanese)	指定しない	編集	削除
<input type="checkbox"/>	鈴木花子	すずきはなこ	経理部	suzukihanako@vcube.co.jp	日本語 (Japanese)	指定しない	編集	削除

追加する

- ③ 「追加する」ボタンをクリックすると、招待者欄に自動で入力されます。

・V-CUBE ID から招待する場合

- ① 「V-CUBE ID から招待」 ボタンをクリックします
- ② 登録されている V-CUBE ID が一覧表示されるので、招待したい V-CUBE ID を選択してください



・直接入力して招待する場合

招待したい方の情報を入力してください。招待可能な人数は契約内容をご確認ください。

名前	メールアドレス	言語	タイムゾーン	削除
<input type="text"/>	<input type="text"/>	日本語 (Japai)	予約者と同じ	<input type="button" value="✕"/>
①	②	③	④	⑤
<input type="button" value="+ 参加者追加"/>				
	⑥			

No.	項目	操作内容
1	名前	名前を入力します
2	メールアドレス	メールアドレスを入力します
3	言語	招待する相手が利用する言語を選択します
4	タイムゾーン	招待する相手のタイムゾーンを選択します
5	削除	一度入力した招待者の情報を行ごと削除します
6	参加者追加	2人以上招待する場合に使用します。クリックすると新しい行が追加されます

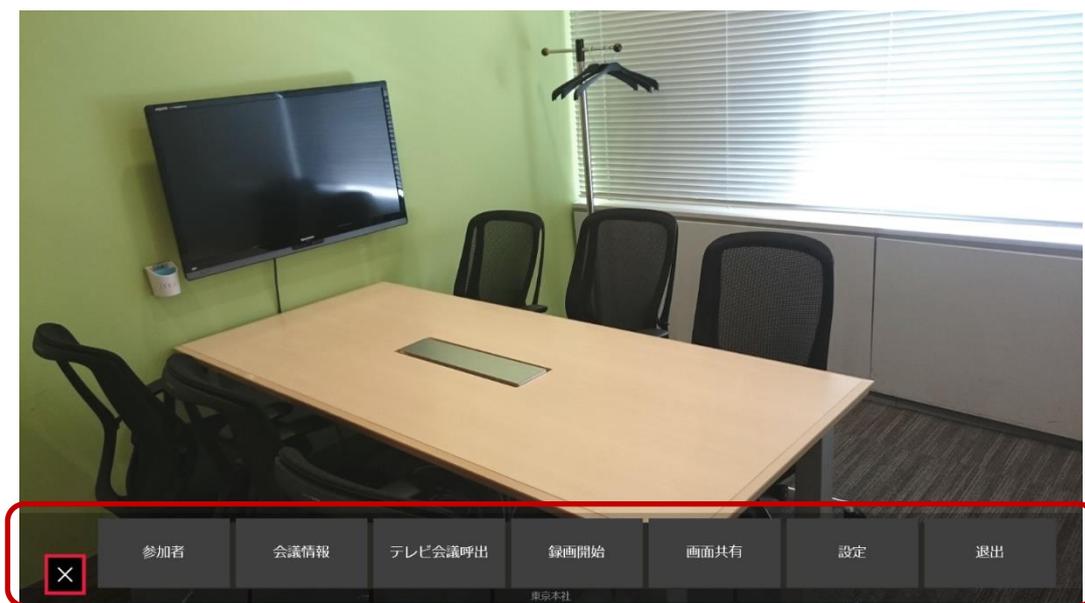
7 会議室機能の使い方

7.1 会議室内でのリモコンファンクションメニュー

7.1.1 メニューボタン

メニューバーの表示・非表示を切り替えます。

※ 画面下部にメニューボタンが表示されます



7.1.2 マイクミュートボタン

マイクミュートの ON・OFF を切り替えます。

※ 会議室設定で入室直後のマイクのオン/オフ設定をおこなうことができます

(詳細は「[V-CUBE ミーティング 5 管理者マニュアル](#)」の会議室設定 > デバイス設定を参照ください)



7.1.3 カメラミュートボタン

カメラのミュートの ON・OFF を切り替えます。

※ 会議室設定で入室直後のカメラのオン/オフ設定をおこなうことができます

(詳細は「[V-CUBE ミーティング 5 管理者マニュアル](#)」の会議室設定 > デバイス設定を参照ください)

7.1.4 レイアウトボタン

画面共有時に画面のレイアウトを切替える事ができます。

※ ご利用にはV-CUBE Oneのご契約が必須となります

① シングルディスプレイ時のレイアウト

画面共有がない場合は映像のみが表示されます。

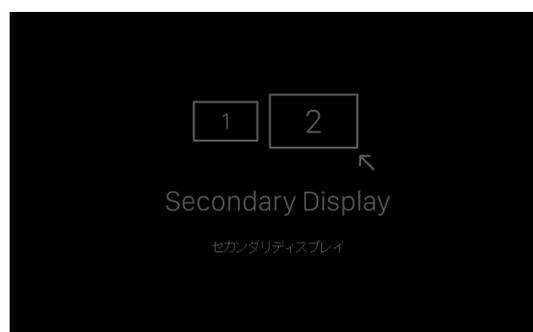
画面共有がある場合は、レイアウトボタンの押下により、下図のように「映像+共有画面」、「共有画面のみ」、「映像のみ」の間で遷移します。



② デュアルディスプレイ時のレイアウト
共有画面がない場合



共有画面がない場合のセカンダリディスプレイには中央に以下のイメージが表示されます。



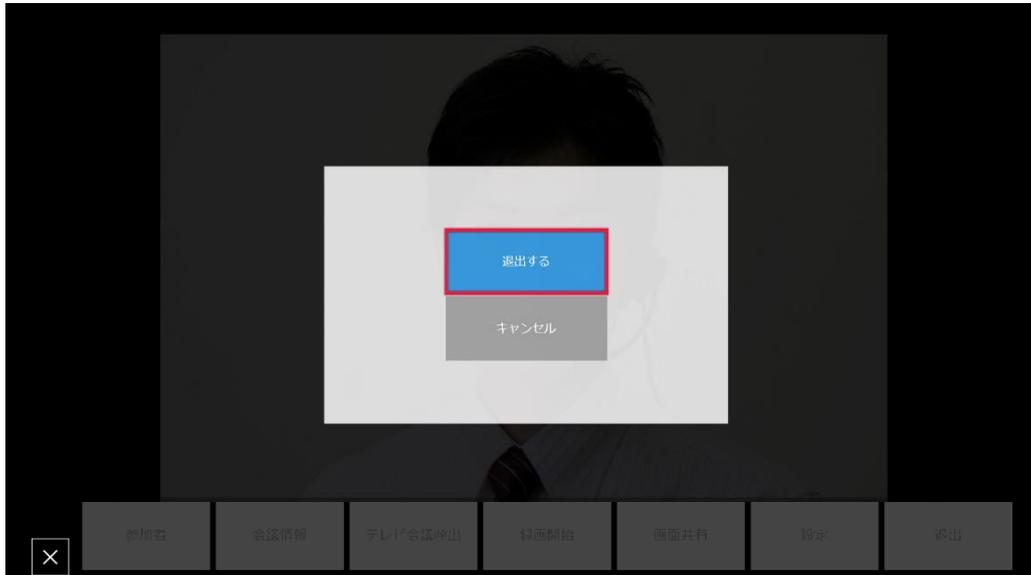
共有画面がある場合



- ※ リモコンのレイアウトボタンによるレイアウト変更は、その会議中のみ有効で、次回起動時は初期のレイアウトに戻ります
 初期レイアウトを変更したい場合は [詳細設定](#) を参照ください。

7.1.5 退室

会議室から退室するかどうかの確認ウィンドウが起動します。
リモコンを操作して「退出する」を選択すると会議から退室します。



7.2 会議映像表示

V-CUBE Box で会議室に入室すると映像が表示されます。映像は入室する拠点数が増えるに従って自動的に分割して表示されます。(自拠点しか会議室内に居ない場合には、自映像が全画面表示されます。)
PC・モバイル側で画面共有を行った場合には自動的に画面部が分割され、共有されている PC 画面が表示されます。(PC・モバイルの会議参加は V-CUBE One 契約が必要です。)

会議映像表示には下記の 2 つのモードがあります。

アクティブスピーカーモード(デフォルト)

発言者の映像を優先して表示する機能です。映像枠の上限数は、最大 16 拠点までです(バージョン 1.x では最大 8)。

入室した拠点数に応じて自動的にレイアウトが切り替わり、左(左上)の映像枠が大きく表示されるレイアウトとなります。

17 拠点以上の参加者がいる場合は、発言した参加者の映像を優先して表示し、発言のない参加者の映像は映像枠から外れて非表示になります。

映像が表示される参加者は、システムが数秒おきに検知する原則発言時の音量が大きな参加者となり、音量の大きな順に表示が切り替わります。なお、自映像は常に映像枠の右下に固定表示されます。

フラットモード

映像枠の上限数は、最大 16 拠点までです。入室した拠点数に応じて自動的にレイアウトが切り替わり、各拠点が同じ大きさで表示されるレイアウトとなります。

17 拠点以上の参加者がいる場合は、発言した参加者の映像を優先して表示し、発言の無い参加者の映像は映像枠から外れて非表示になります。なお、自映像は常に映像枠の右下に固定表示されます。

7.2.1 参加人数と映像表示（アクティブスピーカー・共有画面なしの場合）



9 拠点



10 拠点



11 拠点



12 拠点



13 拠点



14 拠点



15 拠点

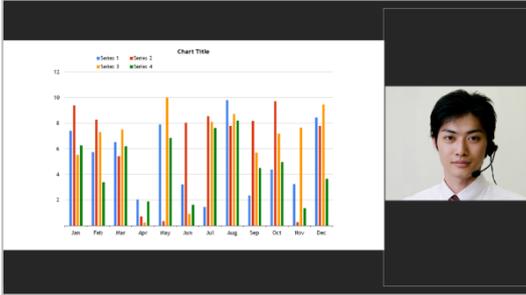
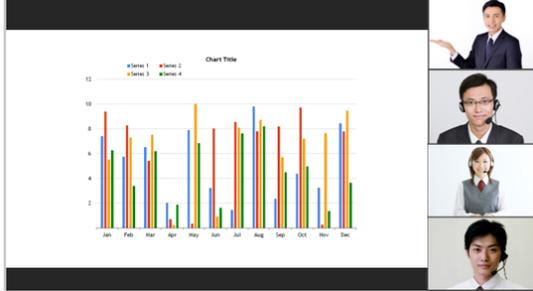


16 拠点以上

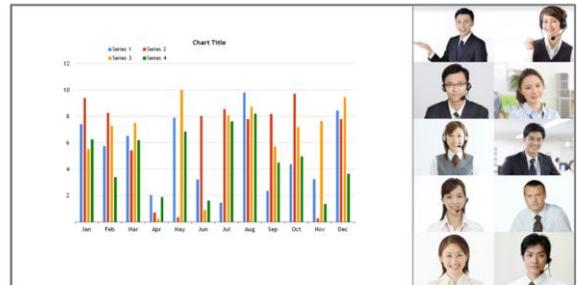


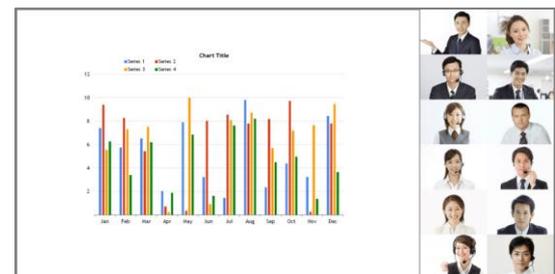
- ※ 上記は 16:9、FullHD 解像度モニタの例です
解像度、アスペクト比等モニタの条件が異なるとレイアウトが変わる場合があります
- ※ バージョン 1.x では最大 8 拠点表示となります

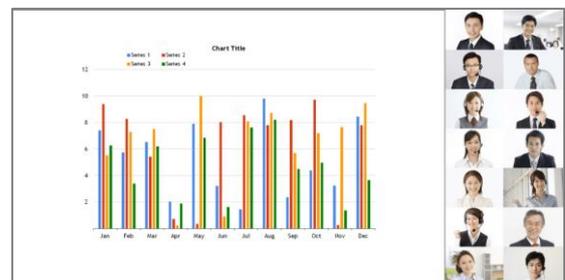
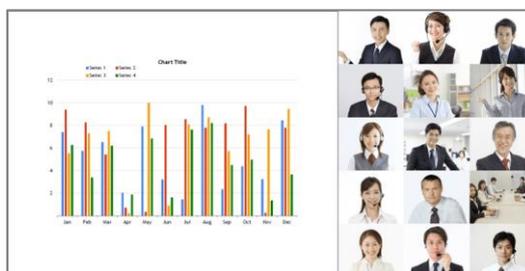
7.2.2 参加人数と映像表示（アクティブスピーカー・共有画面ありの場合）

<p>1 拠点</p> 	<p>2 拠点</p> 
<p>3 拠点</p> 	<p>4 拠点</p> 
<p>5 拠点</p> 	<p>6 拠点</p> 
<p>7 拠点</p> 	<p>8 拠点</p> 

9 拠点

10 拠点

11 拠点

12 拠点

13 拠点

14 拠点

15 拠点以上


※ 上記は 16:9、FullHD 解像度モニタの例です

解像度、アスペクト比等モニタの条件が異なるとレイアウトが変わる場合があります

※ IE11 から WEB 版で会議開始してホワイトボードを利用した場合、V-CUBE Box ではそのホワイトボードの映像を受信できません

※ バージョン 1.x では共有映像含めて最大 7 拠点表示 (共有映像+7 拠点の 8 枠表示) となります

7.2.3 参加人数と映像表示（フラットモード・共有画面なしの場合）



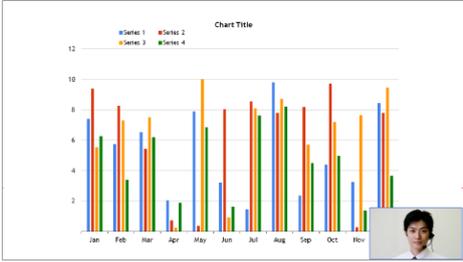
<p>9 拠点</p> 	<p>10 拠点</p> 
<p>11 拠点</p> 	<p>12 拠点</p> 
<p>13 拠点</p> 	<p>14 拠点</p> 
<p>15 拠点</p> 	<p>16 拠点以上</p> 

※ 上記は 16:9、FullHD 解像度モニタの例です

解像度、アスペクト比等モニタの条件が異なるとレイアウトが変わる場合があります

※ バージョン 1.x では最大 8 拠点表示となります

7.2.4 参加人数と映像表示（フラットモード・共有画面ありの場合）

<p>1 拠点</p> 	<p>2 拠点</p> 
<p>3 拠点</p> 	<p>4 拠点</p> 
<p>5 拠点</p> 	<p>6 拠点</p> 
<p>7 拠点</p> 	<p>8 拠点</p> 

<p>9 拠点</p> 	<p>10 拠点</p> 
<p>11 拠点</p> 	<p>12 拠点</p> 
<p>13 拠点</p> 	<p>14 拠点</p> 
<p>15 拠点以上</p> 	<p></p>

※ 上記は 16:9、FullHD 解像度モニタの例です

解像度、アスペクト比等モニタの条件が異なるとレイアウトが変わる場合があります

※ IE11 から WEB 版で会議開始してホワイトボードを利用した場合、V-CUBE Box ではそのホワイトボードの映像を受信できません

※ バージョン 1.x では共有映像含めて最大 7 拠点表示 (共有映像+7 拠点の 8 枠表示) となります

7.2.5 多拠点モード

標準モードの最大 16 映像 (バージョン 1.x では 8) に対して、最大 50 拠点まで表示することができます。

※ 多拠点モードはオプション機能になります。多拠点モードをご希望の場合は、お問い合わせください

※ 多拠点モード対応の V-CUBE Box は Ver. 1.5.3 以降になります

● 会議室設定

多拠点モードを利用するには会議室設定で多拠点モードを有効にする必要があります。
管理者でログインし、管理者ページの会議室設定を開きます。



「使用する」を選択するとさらにメニューが展開されます。



「表示する映像枠」を選択した場合は、映像を送信している拠点だけ映像が表示されます。カメラをオフにしている拠点や、カメラを接続していない拠点は表示されません。特定の拠点だけを表示したい場合は、この設定にして、会議中に表示したい拠点以外のカメラをオフにします。

「全拠点」を選択した場合は、各拠点の映像送信状態に関わらず全拠点分の映像枠が表示されます。映像を送信していない拠点はカメラオフ状態の画像が表示されます。



入室している拠点を一覧したい場合は、この設定にします。

多拠点モードを「使用する」に設定し、表示方法を選択後、「変更する」ボタンを押します。設定した会議室に多拠点モード対応のクライアントアプリで入室すると多拠点モードで動作するようになります。また、多拠点モードの会議室は以下のアイコンで表示されます。



多拠点モードの会議室

- **会議中の多拠点モードの振る舞い**

多拠点モードの会議室への入室でも 16 拠点 (バージョン 1.x では 8) の入室までは標準モードになります。16 拠点より多くの入室があった場合に多拠点モードへ移行します。多拠点モードでは、通常モードのようなフレームレートの高い映像は最大 16 拠点で、残りの拠点は数秒ごとに静止画像が切り替わるように表示されます。

※ フレームレートの高い映像は最大 16 拠点ですが、CPU 負荷やネットワーク帯域によって映像で表示される拠点数を最適化するため、16 拠点より少なくなることがあります

多拠点モードから標準モードへ移行する条件は会議室の設定によって異なります。

- ◇ 「全拠点」設定の場合

入室拠点数が 16 拠点以下になったとき

(カメラをオフにしても入室拠点の枠は表示され、多拠点モードが継続されます)

- ◇ 「表示する映像枠」設定の場合

入室拠点数が 16 拠点以下になったとき

映像を送信している拠点数 8 拠点以下になったとき(カメラオフで標準モードにすることができます)

- 多拠点モード時に画面共有、ホワイトボード表示があった場合

- ◇ バージョン 2.x 以降

画面共有、ホワイトボードがある場合も多拠点モードが継続されます。共有映像を大きく表示したい場合は、レイアウトを変更します。

レイアウト変更については[こちら](#)を参照してください。

- ◇ バージョン 1.x

多拠点モードで表示されている場合に画面共有やホワイトボードを表示すると、その間は標準モードで表示されます。画面共有を終了すると多拠点モード表示に戻ります。

- 多拠点モード時の表示拠点数設定

表示拠点数設定はフレームレートの高い映像に対する設定になり、多拠点モードの低フレームレートの画像には適用されません。多拠点モードで、高フレームレート映像表示数を減少させた場合、その減少した分、低フレームレート画像の表示枠が増えることとなります。

7.3 参加者情報

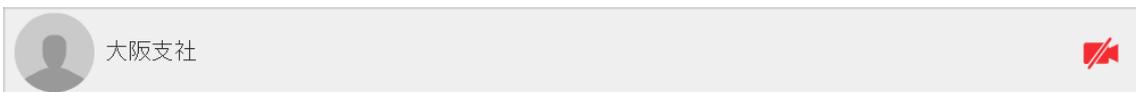
7.3.1 参加者一覧の表示

「参加者情報」を押すと、この会議に招待している参加者を一覧表示します。

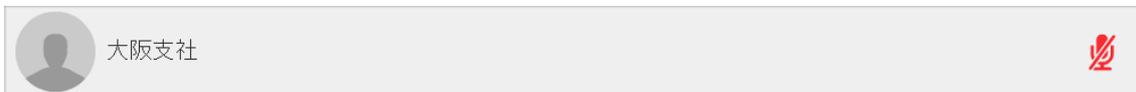


参加者のカメラ、マイクの状態が一覧表示中にアイコンで示されます。

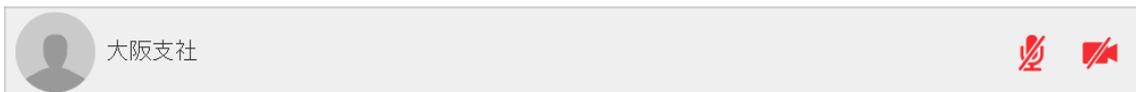
- カメラをオフにしている場合



- マイクをミュートにしている場合



- カメラをオフ、マイクをミュートにしている場合



7.3.2 招待先を選ぶ

「招待先を表示する」を押すと、全ての招待先が一覧表示されます。この画面から現在開催中の会議へ招待をすることができます。

※ 招待先に表示される一覧はGateのユーザーグループ V-CUBE Box のリストです
[招待先一覧の変更・追加手順参照](#) を参照ください。



招待通知が招待ユーザーへ送られます。

7.3.3 指定した参加者を操作する

参加者一覧から参加者を選択すると、その参加者に対して各種操作(全画面表示、カメラオフ、マイクミュート、強制退出)をすることができます。

参加者一覧の表示より、操作したい参加者を選択すると、操作内容が表示されます。



7.3.4 全画面表示

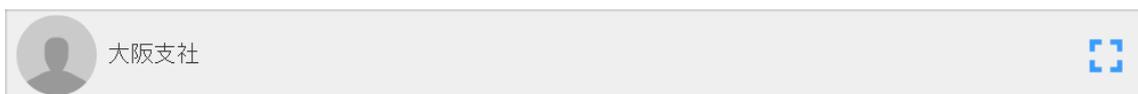
指定した参加者の映像のみを画面いっぱいに拡大表示することができます。

全画面表示したい参加者を選択した後、「全画面表示にする」を押すと、全画面表示切り替わります。

※ この操作は自拠点で表示している映像を変えるだけで、会議の他の参加者の映像には影響ありません



全画面表示している参加者は、参加者一覧で以下のように表示されます。



7.3.5 カメラオフ

指定した参加者のカメラをオフにすることができます。カメラオフの操作を遠隔からおこなうことができます。カメラをオフにしたい参加者を選択した後、「カメラをオフにする」を押すと、その参加者のカメラがオフになり、映像を送信しなくなります。

7.3.6 マイクミュート

指定した参加者のマイクをミュートにすることができます。マイクミュートの操作を遠隔からおこなうことができます。

マイクをミュートにしたい参加者を選択した後、「マイクをミュートにする」を押すと、その参加者のマイクがオフになり、音声を送信しなくなります。

あらかじめカメラオフ、またはマイクミュートをしている参加者ではボタンが無効化され、操作ができません。

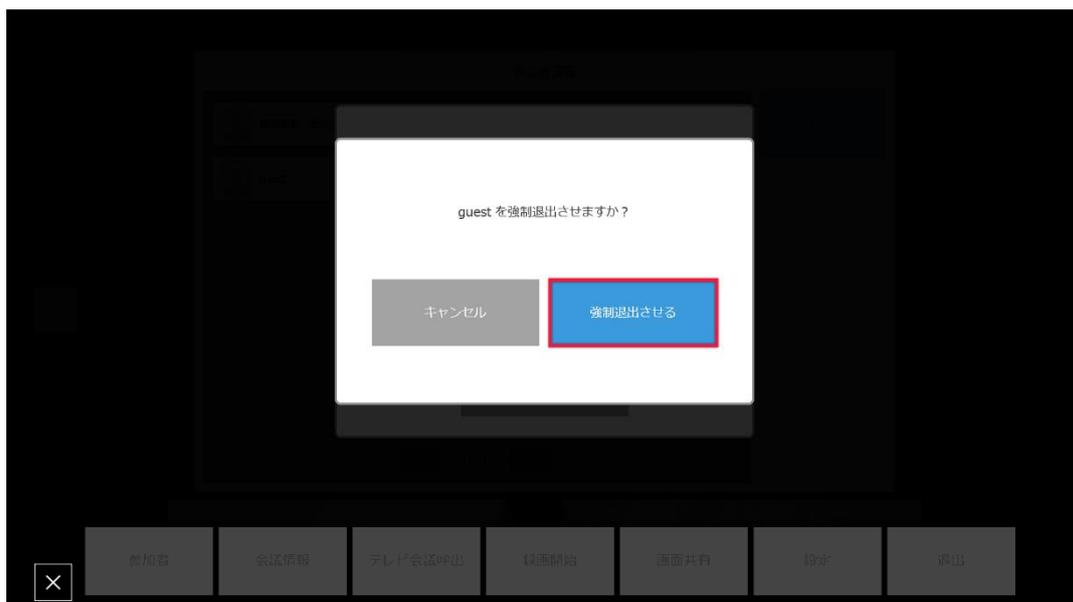


7.3.7 強制退出

指定した拠点を会議から強制的に退出させることができます。

退出させたい拠点を選択した後、「強制退出させる」ボタンを押します。

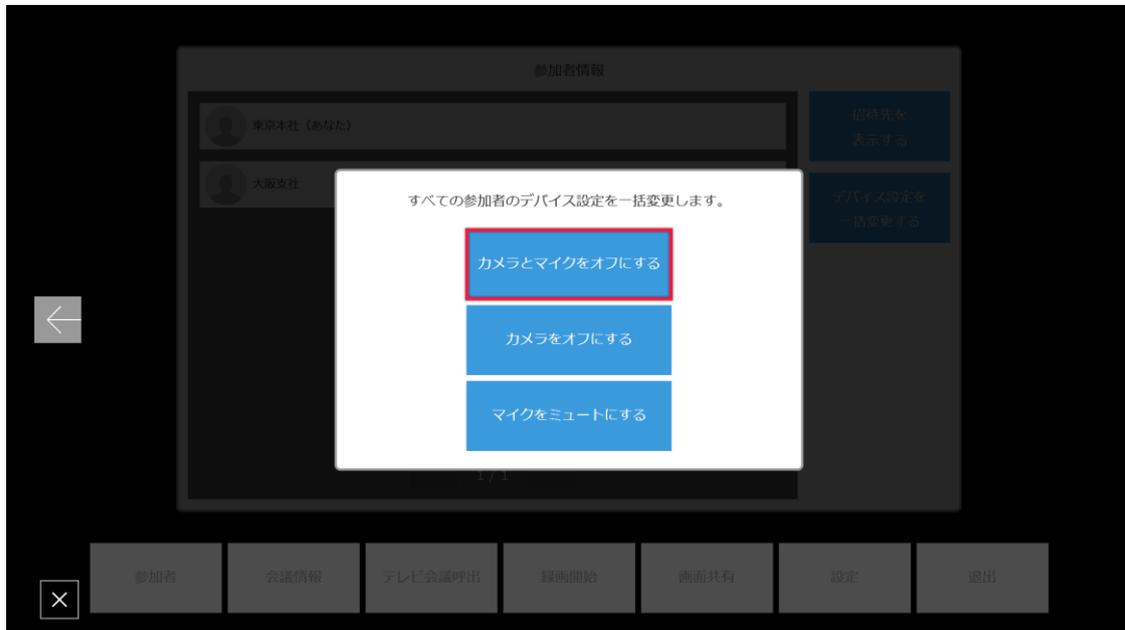
強制退出の確認が表示されますので、さらに「強制退出させる」ボタンを選択すると退出されます。



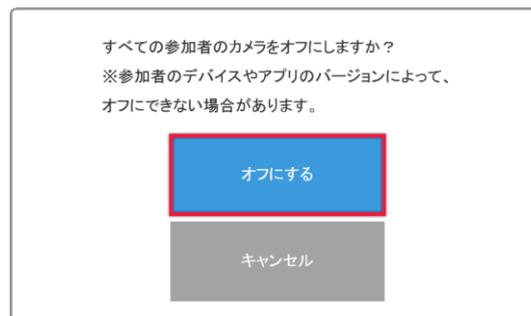
7.3.8 デバイスの一括変更

自拠点を除く全ての参加者のカメラオフ、マイクミュートをすることができます。セミナーのような講演形式の会議で特定の拠点のみを表示させたい場合に、この機能を利用することで素早く実現することができます。

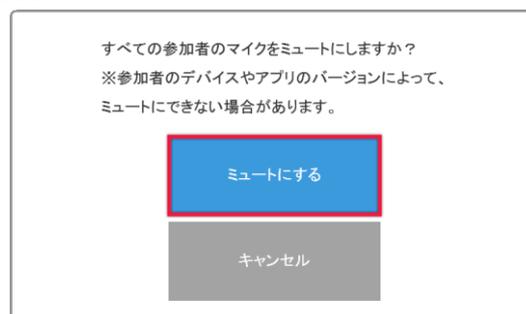
参加者一覧表示画面の「デバイス設定を一括変更する」を押します。



- カメラをオフにする場合



- マイクをミュートする場合



※ オフ/ミュートされる相手側のクライアントソフトウェアも、この機能に対応するバージョンになっていることが必要です (V-CUBE Box 1.5.3 以降)

7.3.9 新規入室拒否/許可

設定以降、新たに入室できないようにすることができます。

- 新規入室を拒否する場合
参加者一覧表示画面の「新規入室拒否する」を押します。
(新規入室拒否設定をしていない場合、ボタンに「新規入室拒否する」と表示されます)



- 新規入室を許可する場合
参加者一覧表示画面の「新規入室許可する」を押します。
(新規入室拒否設定をしている場合、ボタンに「新規入室許可する」と表示されます)



7.4 会議情報



No.	項目	操作内容
1	会議開始時間 会議終了時間	予約会議の場合に会議開始時間と終了時間が表示されます
2	ルーム名	会議室のルーム名が表示されます
3	会議名	会議の名称が表示されます
4	暗証番号 ※1	PC・モバイルユーザーが会議に参加する為の暗証番号が表示されます
5	テレビ会議端末	テレビ会議端末から会議に入室する為のアドレス名を表示します
6	電話 ※2	電話端末から会議に入室する電話番号を表示します
7	接続情報	各端末の接続情報を閲覧することができます

※1 暗証番号での入室にはV-CUBE One の契約が必要です

Box ライセンスのみのご契約でも暗証番号を使って画面共有専用モードから画面共有をすることができます

※2 本機能は電話会議連携のご契約が無い場合は表示されません。また、ご契約がある場合でも会議室の設定で電話での参加を「使用する」に設定されていない場合は、グレーアウト表示になり使用できません

7.4.1 暗証番号表示

※ 本機能での入室には V-CUBE One の契約が必要です

※ Box ライセンスのみのご契約の場合は、画面共有専用モードで暗証番号を使用することができます



会議室内でメニューの「会議情報」から表示することができます。

表示されている暗証番号を入力することで、PC・モバイルユーザーが会議に参加することができます。

7.4.2 テレビ会議端末入室用アドレス表示

テレビ会議端末から V-CUBE Box の会議に入室する為のアドレス名を表示します。



7.4.3 電話会議

電話端末から音声のみで V-CUBE Box 会議に入室する為の電話番号を表示します。

※ 電話会議連携のご契約及び会議室の設定で、電話での参加を「使用する」に設定されていない場合は表示されません

下記の電話番号リストの中から所在地に適した番号へ電話をかけてください。
入室するにはパスコードの入力が必要になります。
パスコード：3650911379

アジア		
カンボジア		
回線	電話番号	場所
ローカル	+855 23 962 594	カンボジア(プノンペン)
中国		
回線	電話番号	場所
ローコール	+4006 183 109	中国(400)
フリーダイヤル	+800 820 8013	中国 (フリーダイヤル)
ローカル	+86 (0) 10 5667 0043	中国(北京)
ローカル	+86 (0) 21 2039 7150	中国(上海)
香港		
回線	電話番号	場所
ローカル	+852 3018 9007	香港
フリーダイヤル	800 963 167	香港
インド		
回線	電話番号	場所
ローカル	+91 (0) 11 6641 1377	インド(デリー)
ローカル	+91 (0) 80 6127 5117	インド(バンガロール)

地域を変更する

参加者 会議情報 テレシメーション 録画開始 画面共有 設定 退出

※ 会議室の設定

使用する 使用しない

※ 「使用する」に設定すると電話会議が有効になり、通話時間に応じた電話会議ご利用料金が別途かかります。 [? 参加方法を詳しく見る](#)

相手の番号に発信する(ダイヤルアウト)		使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/>
参加者が電話をかけて入室する(ダイヤルイン)	ローカル	使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/>
	ローコール	使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/>
	フリーダイヤル	使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/>

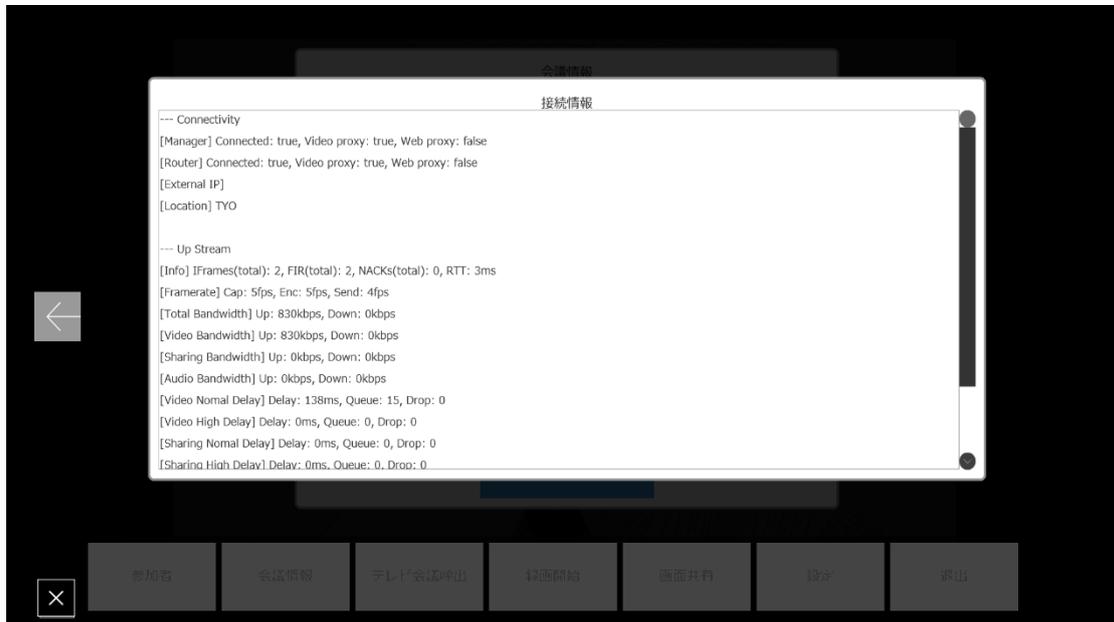
電話での参加

7.5 接続情報表示

各端末の接続情報を閲覧することができます。

メニューの「会議情報」を表示後、「接続情報」を選択して「決定」ボタンを押します。

※ この内容は、トラブル発生時などに弊社サポートがお客様にヒアリングして参考にさせていただくことができます



7.6 テレビ会議を呼び出しするには

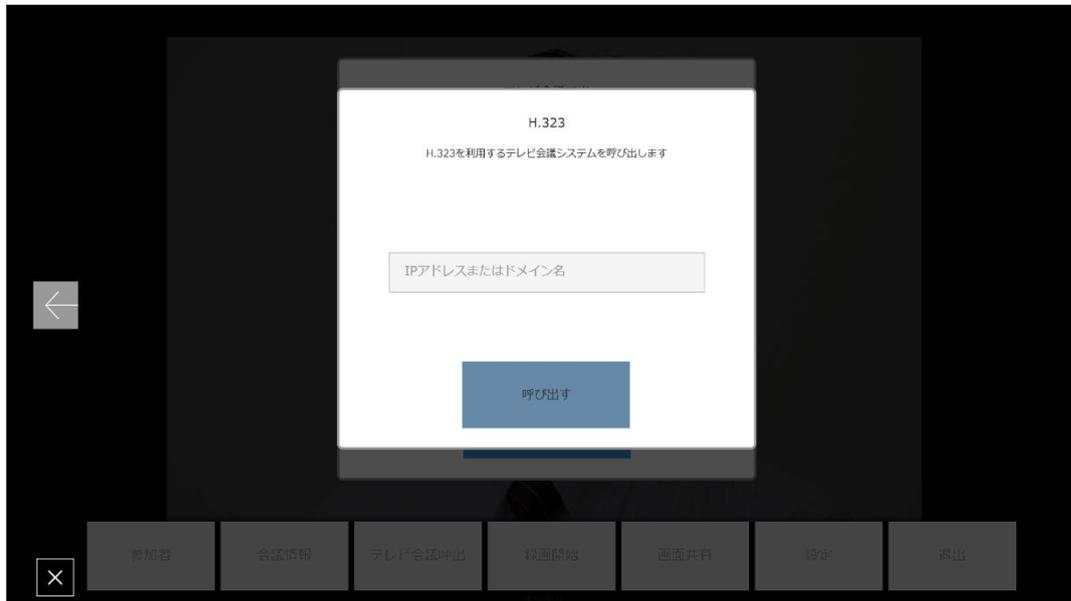
メニューバーから「テレビ会議呼出」ボタンを選択し、「決定」ボタンを押してください。



No.	項目	操作内容
1	H. 323	H. 323 方式のテレビ会議システムを呼び出します
2	SIP	SIP 方式のテレビ会議システムを呼び出します
3	アドレス帳	アドレス帳に登録したテレビ会議システムを呼び出します
4	履歴	過去に接続したテレビ会議システムを呼び出します

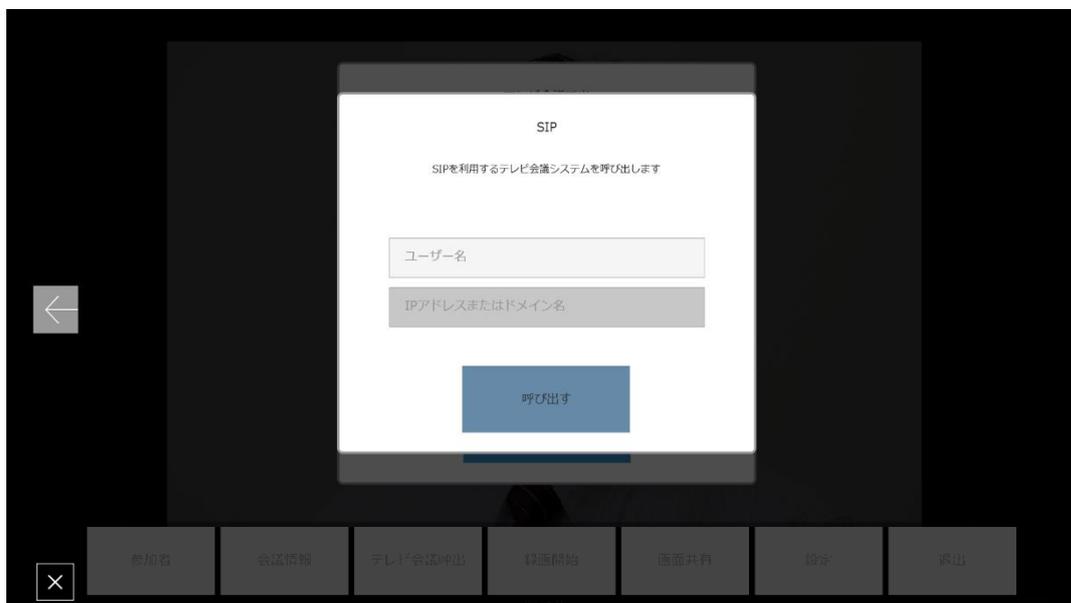
① H. 323 方式

IP アドレス (グローバル IP) またはドメイン名を入力して「呼び出す」ボタンを押してください。



② SIP 方式

ユーザー名と IP アドレス (グローバル IP) またはドメイン名を入力し、「呼び出す」ボタンを押してください。



③ アドレス帳

テレビ会議端末アドレス帳より選択可能です。

呼び出すテレビ会議システムを選択し、「呼び出す」ボタンを押してください。

※ ミーティング5のウェブサイトで、管理者がテレビ会議端末アドレス帳に登録しておく必要があります



④ 履歴

過去に接続した履歴より選択可能です。

呼び出すテレビ会議システムを選択し、「呼び出す」ボタンを押してください。



※ テレビ会議端末アドレス帳の登録方法について

V-CUBE ミーティング 5 のウェブサイトにて PC のブラウザでアクセスします。

<https://mtg5l.vcube.com/>

ウェブ管理者用 V-CUBE ID でログインし、[その他]－[管理者ページ]－[テレビ会議アドレス帳管理]から、アドレス帳の追加を開きます。



V-CUBE ミーティング 5 管理者ページ

カスタマーサポート (24時間365日 電話受付) 0570-00-2192

ホーム 記録 設定 管理 その他 ユーザーページへ

テレビ会議端末アドレス帳管理

テレビ会議アドレス帳の追加

新規にテレビ会議端末の情報を追加することができます。

+ アドレス帳の追加

テレビ会議アドレス帳の追加

H. 323/SIP のいずれかを選択し、必要な情報を入力して登録してください。

※ IP アドレスはグローバル IP のみ対応

【H. 323】 名前と IP アドレスまたはドメイン名を入力してください。

H.323/SIP※	H.323 ▼
名前	<input type="text"/>
IPアドレスまたはドメイン名※	<input type="text"/>

【SIP】 名前とユーザー名、IP アドレスまたはドメイン名を入力してください。

H.323/SIP※	SIP ▼
名前	<input type="text"/>
ユーザー名※	<input type="text"/>
IPアドレスまたはドメイン名※	<input type="text"/>

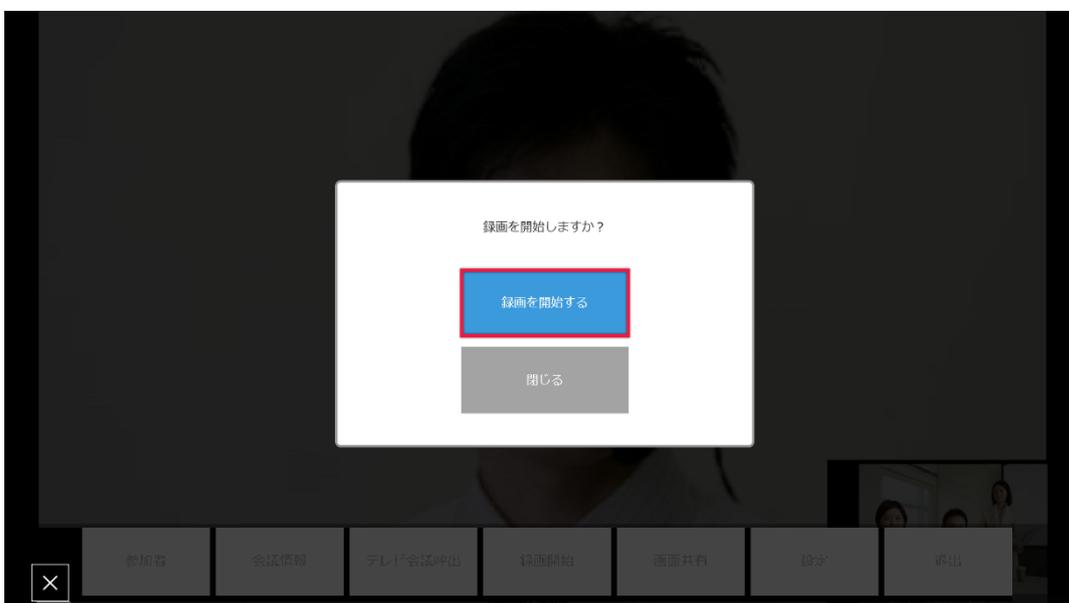
7.7 録画

- ※ 録画機能は、2 拠点以上が入室している場合にご利用いただけます
- ※ 管理者ページの会議室設定にて「自動で録画を開始する」に設定した場合は、2 拠点以上入室すると自動で録画が開始されます。「録画を禁止する」に設定した場合は、録画機能はご利用いただけません
- ※ 管理者ページの会議室設定にて「音声のみを保存する」に設定した場合は、音声のみが録音されます
- ※ 録画する場合の映像画面レイアウトは、アクティブスピーカーモードで最大 4 拠点表示となります

7.7.1 録画、または録音を開始するには

メニューから「録画開始」ボタンを選択し「決定」ボタンを押すと、録画を開始するかの確認の画面が表示されます。

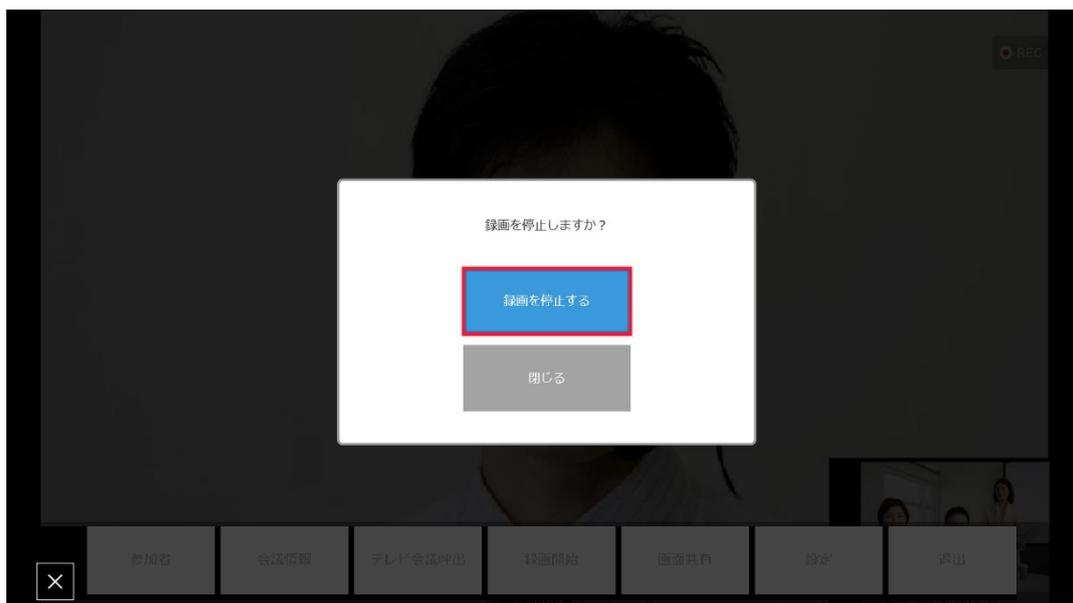
「録画を開始する」ボタンを選択し「決定」ボタンを押すと録画が開始されます。



7.7.2 録画、または録音を停止するには

メニューから「録画停止」ボタンを選択し「決定」ボタンを押すと、録画を停止するかの確認の画面が表示されます。

「録画を停止する」ボタンを選択し「決定」ボタンを押すと、録画が停止されます。

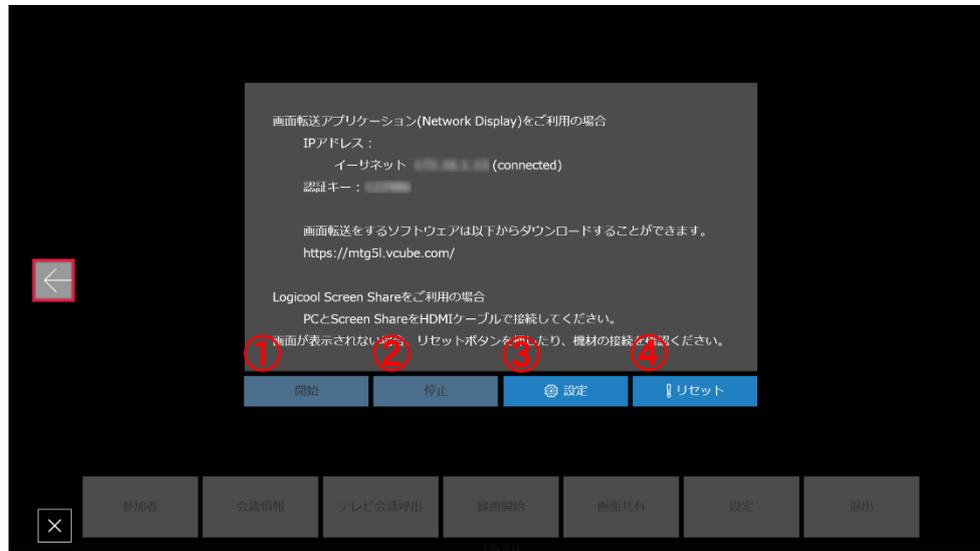


7.8 画面共有

他 PC から画面転送し、V-CUBE Box で受信した映像を会議の参加者に画面共有することができます。

(画面転送機能の詳細は [画面転送とは](#) を参照ください)

メニューバーから「画面共有」ボタンを選択し、リモコンの「決定」ボタンを押してください。



- キャプチャデバイスを利用する場合

画面を表示したい PC の映像出力と V-CUBE Box に USB で接続した Logicool Screen Share の HDMI 端子を映像ケーブルで接続します。

※ 720p モデルで画面共有をする場合は CPU 負荷が高まり、最大表示拠点数が低下することがあります

※ Logicool Screen Share の接続や注意点については「[その他周辺機器マニュアル](#)」を参照ください

- Network Display を利用する場合

画面上に表示される IP アドレス、認証キーを PC 側の Network Display の接続先、認証キーに入力し、画面転送します。V-CUBE Box が画面転送を受信すると、自動的に会議参加者に画面共有します。

画面上の IP アドレス、認証キーはリモコンの戻る(取消)ボタン、または画面の左矢印ボタンで表示/非表示を切り替えることができます。

No.	項目	操作内容
1	開始	画面共有を開始します。 (画面共有ができる状態で、まだ画面共有をしていない場合にボタンを押せるようになります)
2	停止	画面共有を停止します。 (画面共有をしている場合にボタンを押せるようになります)
3	⊙設定	画面共有の設定画面を開きます
4	! リセット	Logicool Screen Share の画面共有が開始されない場合にリセットボタンを押すことで改善することがあります

7.8.1 画面共有の設定

画面共有を開始するタイミングを設定することができます。



No.	項目	設定内容
1	自動的に開始する (初期値)	共有する画面の準備※ができ次第、自動的に画面共有を開始します。
2	手動で開始する	共有する画面の準備※ができていても、「開始する」ボタンを押すまで共有を開始しません。

※ 共有する画面の準備とは V-CUBE Box が共有元の PC から転送画面を受信している状態のことです

※ 「自動的に開始する」設定で画面共有を停止した場合、転送をやり直したとき
(Logicool Screen Share の HDMI ケーブルの挿抜、Network Display の転送停止/開始)
は自動で共有を再開しますが、それまでは画面共有は停止したままになります

7.9 設定

デバイスや各種会議内の設定をおこなうことができます。

メニューバーから「設定」ボタンを選択し、「決定」ボタンを押してください。

7.9.1 デバイス / レイアウト

使用するカメラ・マイク・スピーカーの ON/OFF 設定と使用デバイスの変更ができます。



No.	操作内容
1	映像送信をオフにします (相手拠点に自拠点の映像が映りません)
2	音声送信をオフにします (相手拠点に自拠点の音声が聞こえなくなります)
3	スピーカーをオフにします (自拠点のスピーカーから音が出なくなります)
4	使用するカメラを変更します ※1
5	使用するマイクを変更します
6	使用するスピーカーを変更します
7	マイクの音量を増減します ※2
8	スピーカーの音量を増減します ※2
9	レイアウトを変更します (リモコンのレイアウトボタンと同じ機能です) (詳細は レイアウトボタン を参照ください)
10	各種設定を変更します (詳細は 各種設定 を参照ください)
11	送信画質、受信映像のなめらかさ、上り速度、下り速度、表示拠点数の設定変更が可能です 会議内の表示拠点数の設定で変更した内容は現在の会議のみに適用されます (設定内容の詳細は 画質・帯域を設定する を参照ください)

※1 同一機種のカメラを複数接続した場合は同一機種間で切り替えはできません

※2 音量が変更されない場合は、再度デバイスを選択し直してください

7.9.2 各種設定

アクティブスピーカーモードとフラットモードの切り替え、マイクの機能調整、自拠点の映像を非表示、帯域設定を変更することが可能です。



No.	項目	内容
1	話者の映像を大きく表示する ※1	アクティブスピーカーモードとフラットモードの切り替え
2	マイク音量を自動調整する ※1	マイク音量の大小のばらつきを一定になるよう自動調整
3	エコーキャンセル機能を使う	エコーやハウリングの抑制
4	自拠点の映像を左右反転し、鏡で見たように表示します	自拠点に表示する自拠点のカメラ映像を左右反転した状態で表示します。他の拠点へは反転しない、見たままの映像を送信します
5	自拠点の映像を表示しないようにします	自拠点の映像を非表示にします。他拠点へは映像を送信しています
6	デュアルディスプレイのとき、メイン画面にカメラ映像、別画面に共有画面を表示します	チェックをはずすとメイン画面に共有映像が表示されるように入れ替わります
7	メニューボタンを押した時、画面上に会議情報を表示します	メニューバーが表示されているときに、画面左上に会議情報を簡易表示します。暗証番号などを少ない手順で参照することができます
8	設定する	設定した内容を確定し、アプリケーションに適用します

※1 「話者の映像を大きく表示する」、「マイク音量を自動調整する」は、デフォルトはONになっております

7.9.3 会議情報の簡易表示

詳細設定の「メニューボタンを押した時、画面上に会議情報を表示します」を設定した場合は会議画面で以下のように表示されます。



※ テレビ会議端末、電話の情報は契約、会議室設定等により表示が変わります

7.10 サジェスト機能

表示可能映像枠数の減少を検知して原因と影響を通知する機能です。
画面右上に表示されます。



ご利用端末のCPU負荷が高いため、映像表示のパフォーマンスが低下しています。
画質、帯域の設定を低い値にすることで安定する可能性があります

通信帯域が狭く不安定であるため、映像表示のパフォーマンスが低下しています。
画質、帯域の設定を低い値にすることで安定する可能性があります

8 利用環境の確認、調整、その他便利な機能

8.1 メニューを表示する

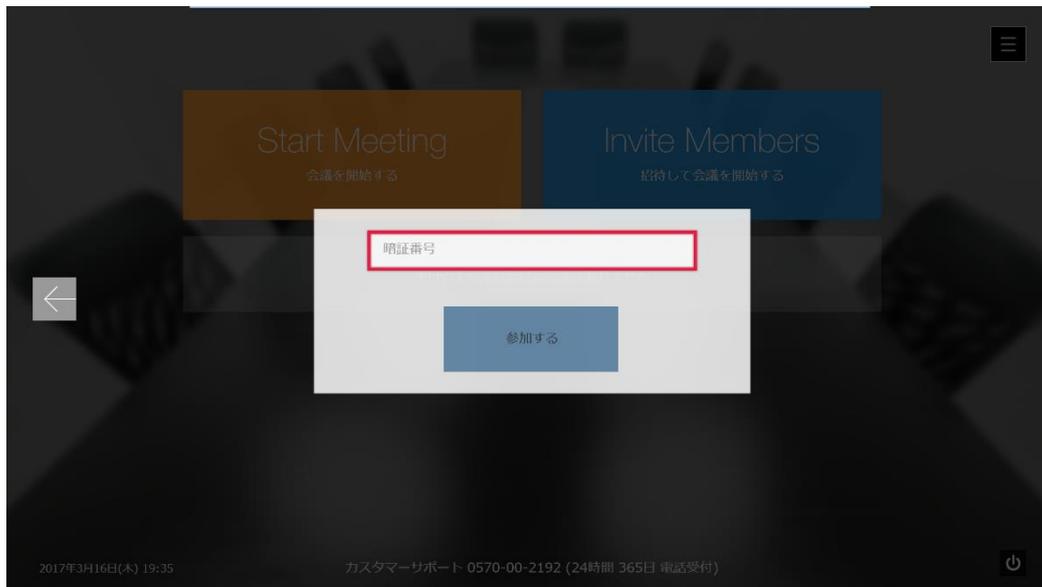
ホーム画面でリモコン(または画面右上)のメニューボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。



No.	項目	操作内容
1	暗証番号で会議参加	暗証番号を入力して会議に参加します
2	画面転送を受信する	お手持ちの PC から Network Display (画面転送アプリケーション) を実行することで、デスクトップ画面を V-CUBE Box に転送して表示することができます
3	環境設定	下部メニューに 所在地設定、自動入室設定 があります
4	Box 情報	システム情報の表示、およびネットワーク環境チェック機能に入ります
5	ログをアップロードする	サーバーへ V-CUBE Box のログを送信します → ログ出力について
6	電源オフ	電源をオフにします
7	ログアウト	ログアウトし、ログイン画面に戻ります

8.2 暗証番号で会議参加

暗証番号を入力して会議に参加します。



8.3 画面転送を受信する

8.3.1 画面転送とは

お手持ちの PC 画面をキャプチャデバイスやネットワークを通じて V-CUBE Box に表示させることができます。会議室に対面で集まったメンバーの PC 画面をモニターに表示することができ、遠隔会議だけでなく実際に人の集まる会議でも V-CUBE Box を活用することができます。

- ※ **キャプチャデバイスは Logicool Screen Share のみに対応しています (2018 年 1 月現在)**
Logicool Screen Share は別途お買い求めいただく必要があります。弊社担当までお問い合わせください
- ※ Logocool Screen Share の接続や注意点については「[その他周辺機器マニュアル](#)」を参照ください
- ※ **ソフトウェアを利用した画面転送にはミーティング 5 のログインページからダウンロードできる Network Display というアプリケーションを使用します**
- ※ **Network Display による画面転送は PC と V-CUBE Box が同一 LAN セグメントにある場合に可能です**
- ※ **画面転送は PC 画面を表示するのみで、遠隔会議とは異なるものです**

キャプチャデバイスとアプリケーションによる 2 つの選択肢がありますので、お客様のご利用シーンに合わせて選択することができます。

キャプチャデバイスを利用した画面転送について

- ソフトウェアのインストールは不要です
PC の映像出力端子とキャプチャデバイスの HDMI 入力端子を映像ケーブルで接続するだけで利用可能です
- PC 画面を表示するために特別な操作は不要です
PC で専用のソフトウェアを起動することも、接続のための設定値を入力することもありません

Network Display を利用した画面転送について

- 専用の機材は不要です
V-CUBE のサイトにある専用のソフトウェアを利用するため、追加の費用はかかりません
- ソフトウェアのインストールは不要です
Network Display はダウンロードした実行ファイルをダブルクリックするだけで利用可能です
- 画面切替もボタン一つで簡単におこなえます
複数のメンバーが、各自の PC の Network Display からボタン一つで表示する画面を切り替えることができ、映像ケーブルの繋ぎ変えをする必要がありません
- 発表資料を事前に一つにまとめる必要はありません
各自の PC からそれぞれの資料をボタン一つで表示できるため、事前に会議資料をまとめておく必要はありません

8.3.2 キャプチャデバイスを利用して画面を転送するための事前準備

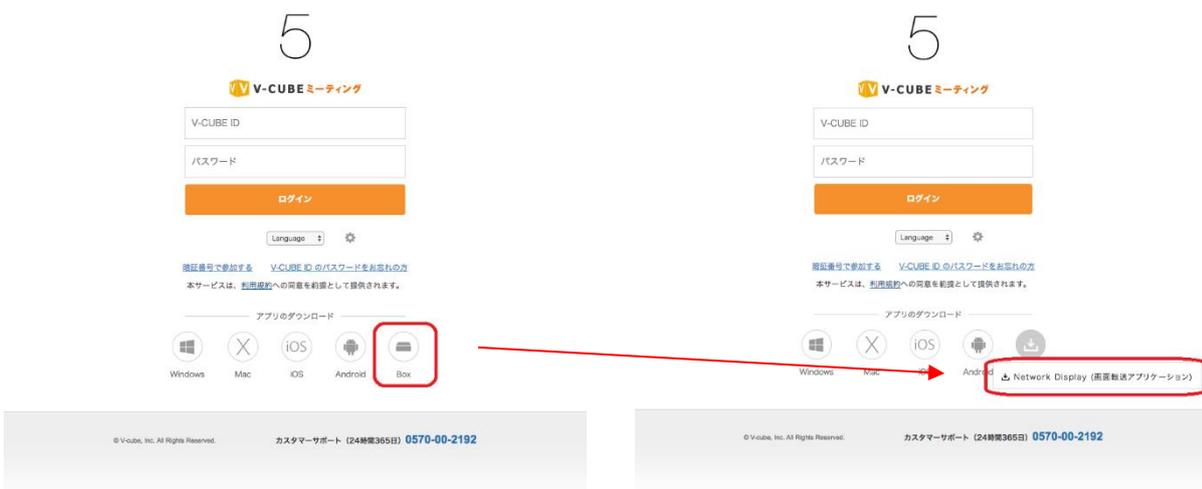
Logicool Screen Share の USB 出力端子を V-CUBE Box の USB 入力端子に接続します。

※ Logicool Screen Share は別途お買い求めいただく必要があります。弊社担当までお問い合わせください

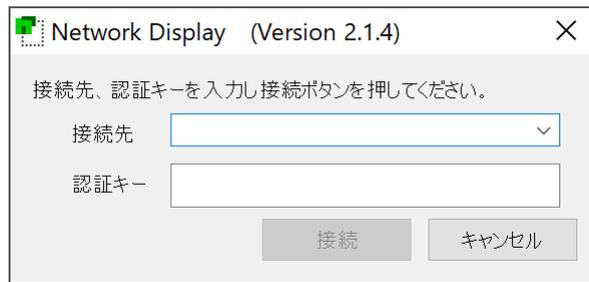
8.3.3 Network Display を利用して画面を転送するための事前準備

画面を転送しようとする PC のブラウザに <https://mtg51.vcube.com> と入力します。

アプリのダウンロードの Box アイコンから、「Network Display (画面転送アプリケーション)」をクリックして、ダウンロードします。



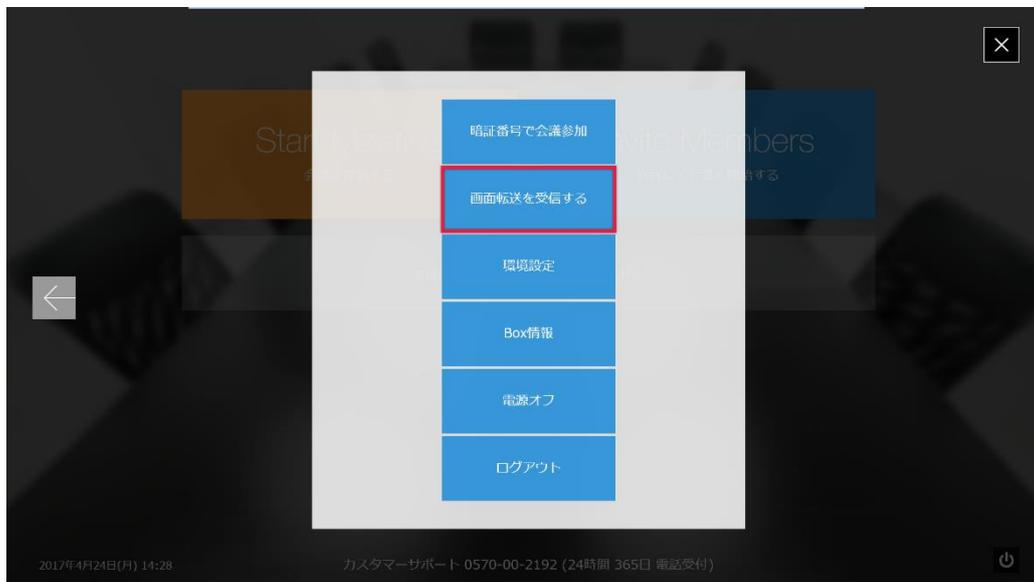
ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、Network Display を起動します。



これで、画面を転送する準備ができました。次に V-CUBE Box の操作を説明します。

8.3.4 V-CUBE Box で画面転送を受信する

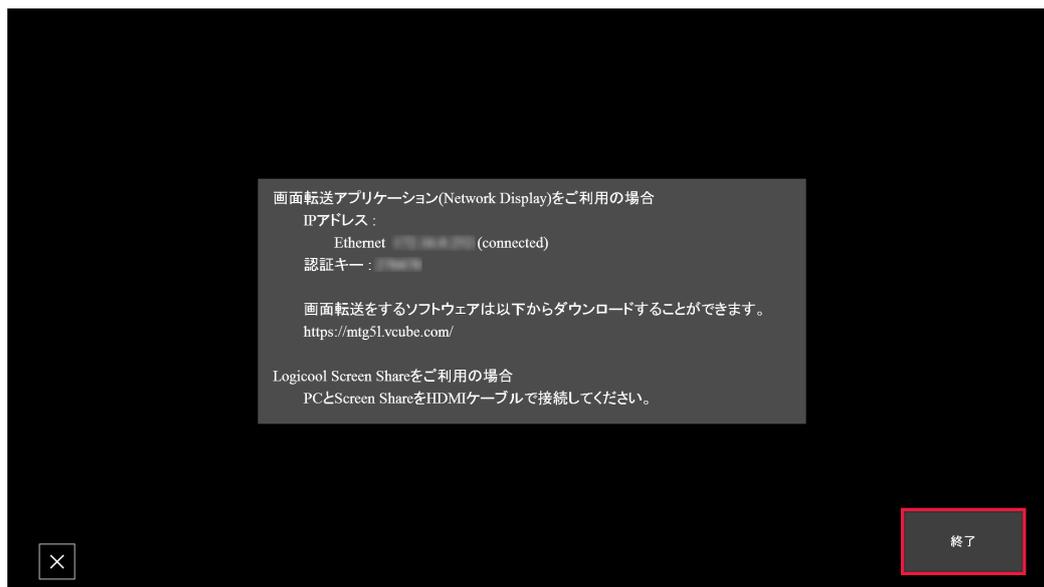
ログイン後、メニューの「画面転送を受信する」を選択します。



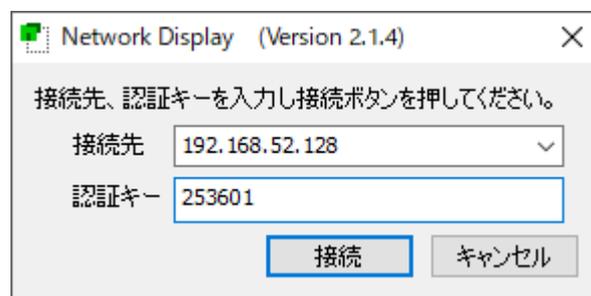
画面転送されるのを待つ状態になります。

次に画面を表示したい PC 側の操作をします。

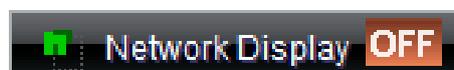
- Logicool Screen Share を利用する場合
画面を表示したい PC の映像出力と V-CUBE Box に USB で接続した Logicool Screen Share の HDMI 端子を映像ケーブルで接続します。
- Network Display を利用する場合
V-CUBE Box 画面上に表示されている IP アドレス、認証キーを転送する PC 側の Network Display の接続先、認証キーに入力します。



Network Display に接続先、認証キーを入力して、接続ボタンを押します。



Network Display と V-CUBE Box が接続されます。



OFF と表示されている場合は、画面の転送はされていません。マウスカーソルをアプリ上に置くとメニューが開くので、ON ボタンを押します。画面が転送され、V-CUBE Box 上に表示されます。複数のメンバーで転送する画面を切り替えたい場合は、それぞれの PC 上で Network Display を V-CUBE Box に接続して、ON ボタンを押すだけです。前に表示していたメンバーは自動的に OFF になり、新たに ON にしたメンバーの画面が表示されます。



画面を転送する PC 側の操作

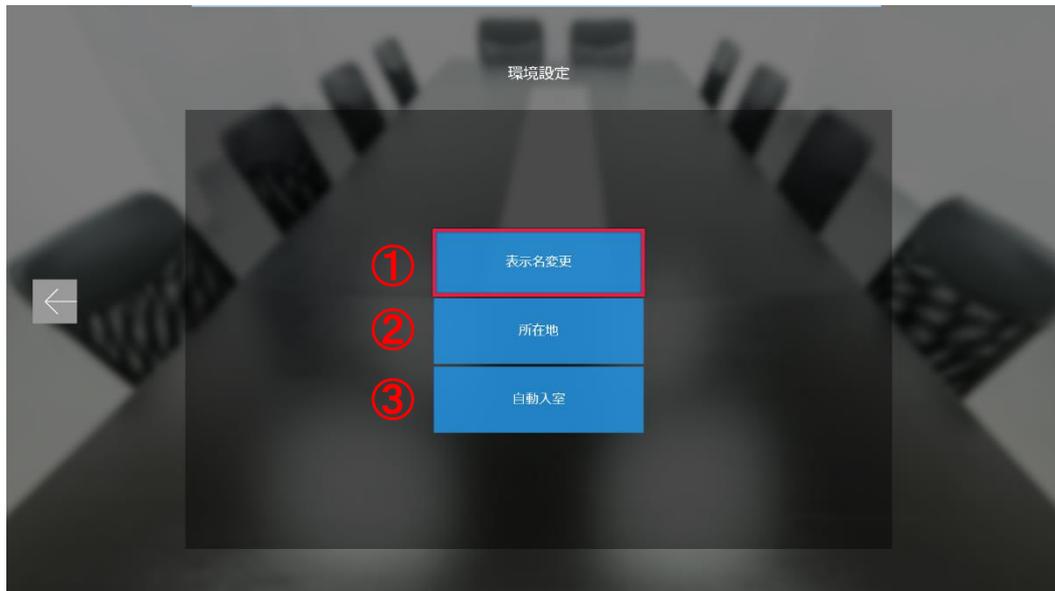


PC からの転送画面を表示している V-CUBE Box

V-CUBE Box 画面上の IP アドレス、認証キーはメニューボタンを押すことで非表示になります。
画面転送を終了させる場合は、メニューボタンで表示される「終了」ボタンを押します。

8.4 環境設定

V-CUBE Box 利用環境の設定変更が可能です。



No.	項目	操作内容
1	表示名変更	拠点の名称を変更します
2	所在地	端末が置かれる所在地を設定します (基本的には自動設定にします)
3	自動入室	招待された時に自動的に入室する設定をします

8.4.1 表示名変更

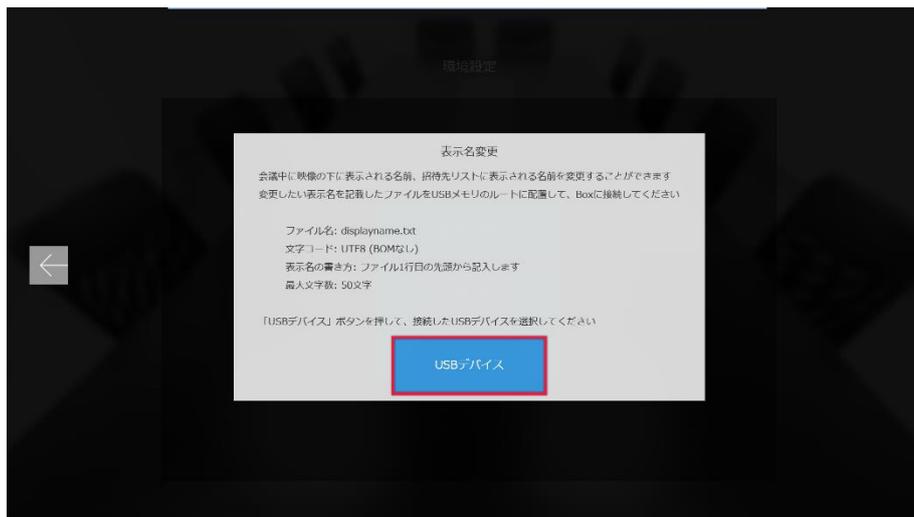
会議中のカメラ映像の下、参加者一覧、招待先一覧に表示される名称を変更することができます。表示名を変更するにはあらかじめ変更したい名前を記載したテキストファイルを USB メモリのルートにコピーしておきます。

名前を記載するファイルは以下のようにしてください。

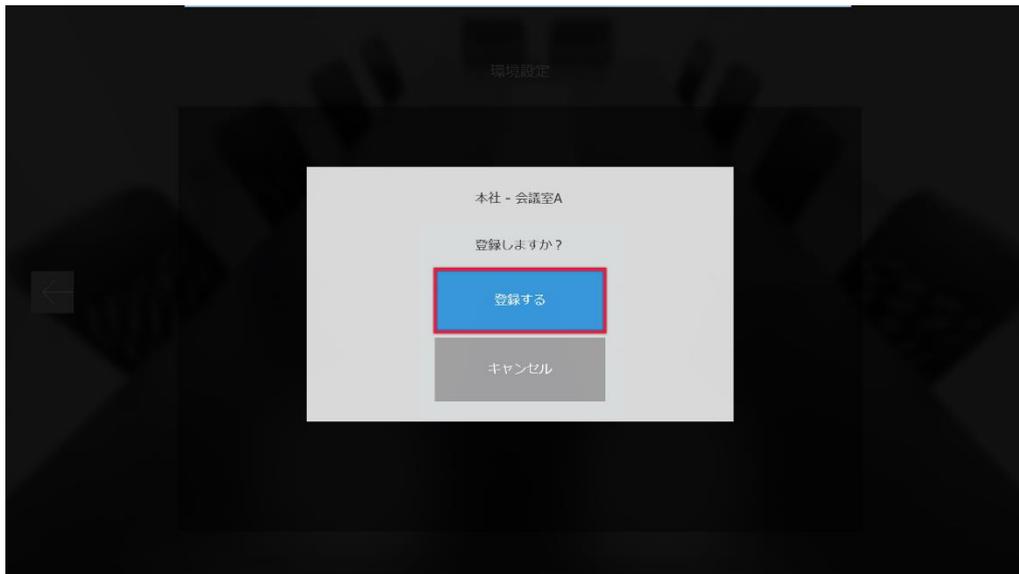
ファイル名	displayname.txt
文字コード	UTF8 (BOM 無し)
表示名の書き方	ファイル 1 行目の先頭から記入します
最大文字数	50 文字 ※ 50 文字を超えて記載しても 50 文字以降は登録されません

ファイルの準備ができたなら V-CUBE Box の USB ポートに接続します。
リモコンを操作して、メニューにある「表示名変更」を選択し、決定を押します。

「USB デバイス」を選択し決定を押します。さらに接続した USB メモリを選択して決定を押します。

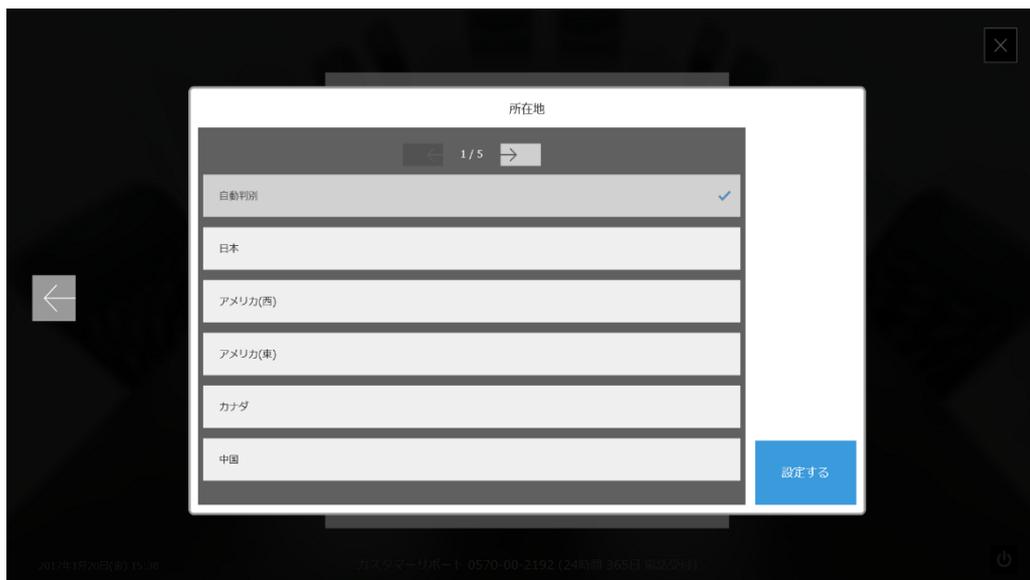


USB メモリから変更したい名前を読み取り画面上に表示します。内容を確認して問題がなければ、「登録する」ボタンを押して登録します。



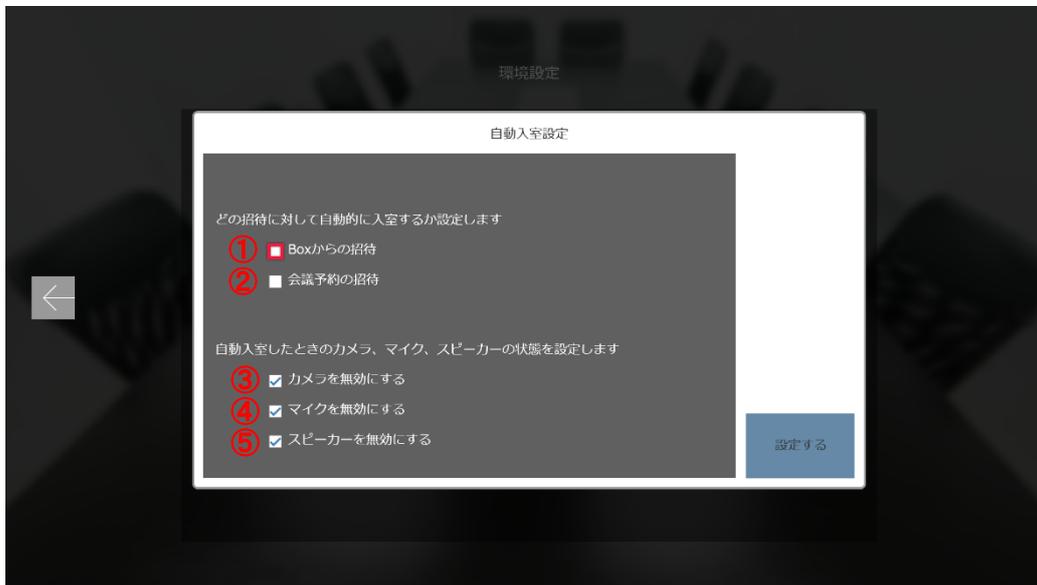
8.4.2 所在地

リモコンを操作して、メニューにある「所在地」を選択し、決定を押します。
該当する所在地を選択して「設定する」を押します。



8.4.3 自動入室設定

リモコンを操作して、メニューにある「自動入室」を選択し、決定を押します。
 他の V-CUBE Box からの招待やウェブ画面の予約会議の招待があったときに自動的に入室する設定をします。
 自動入室する招待の種別、入室したときのデバイスの挙動を設定することができます。

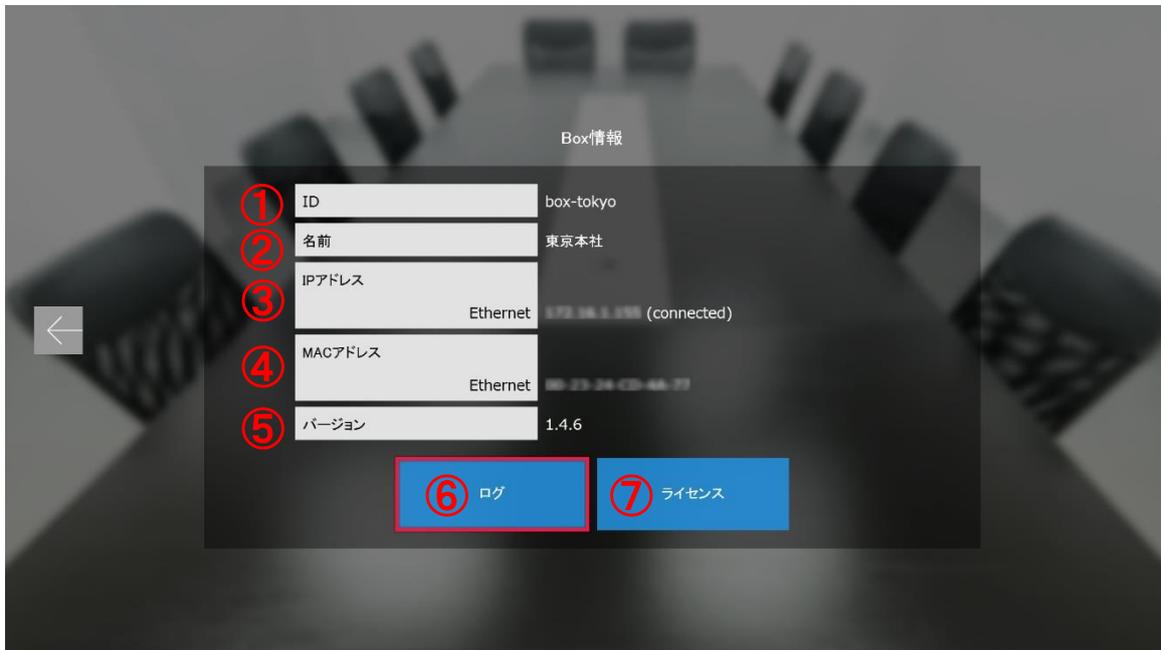


No.	項目	操作内容
1	V-CUBE Box からの招待	他の V-CUBE Box からの招待があったときに自動的に入室します
2	会議予約の招待	ウェブ画面から予約会議で招待されたとき、開催時刻になったら自動的に入室します ※1
3	カメラを無効にする	自動入室時にカメラを無効にします
4	マイクを無効にする	自動入室時にマイクを無効にします
5	スピーカーを無効にする	自動入室時にスピーカーを無効にします

- ※1 ・自動入室はホーム画面にいるときに実行されます
 (会議中に予約時刻になった場合は、退出後ホーム画面に戻ったときに自動入室します)
- ・ホーム画面上の予約確認は5分間隔で実行されるため、自動入室するまで最大5分遅れます
 - ・入室時のカメラおよびマイクのオン/オフ状態は会議室設定がされた場合、会議室設定が優先されます

8.5 Box 情報

リモコンを操作して、メニューにある「Box 情報」を選択し、決定を押します。



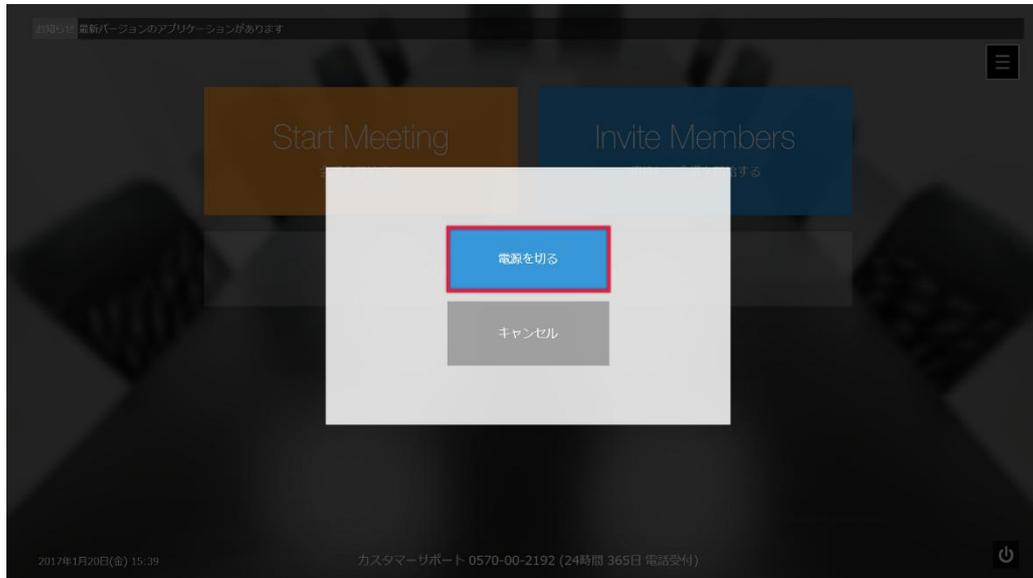
No.	項目	操作内容
1	ID	ログイン ID です
2	名前	使用している V-CUBE Box のユーザー名です
3	IP アドレス	V-CUBE Box のネットワークインターフェースに割り振られている IP アドレスです。かっこ内は接続状態を表示しています。 ・接続: connected ・切断: disconnected
4	MAC アドレス	V-CUBE Box の MAC アドレスを表示しています
5	バージョン	インストールされている V-CUBE Box アプリケーションのバージョンです
6	ログ	USB 記憶デバイスまたはサーバーへ V-CUBE Box のログを送信します → ログ出力について
7	ライセンス	V-CUBE Box で利用しているソフトウェアのライセンス情報が表示されます

リモコンのキャンセルボタンを押すとホーム画面に戻ります。

8.6 電源オフ

リモコンを操作して、メニューにある「電源オフ」を選択し、決定を押します。

「電源を切る」を選択して、リモコンの決定を押すと V-CUBE Box の電源が切れます。



8.7 ログアウト

リモコンを操作して、メニューにある「ログアウト」を選択し決定を押すと、V-CUBE Box からログアウトして、ログイン画面に戻ります。

※ V-CUBE One の契約をして、任意の V-CUBE ID にて V-CUBE Box を利用する場合以外にはログアウトはしないでください

9 V-CUBE Box 管理

V-CUBE ミーティング 5 の WEB サイトから端末状況の確認や各種設定を指定することができます。

※ この機能を利用するには V-CUBE Box アプリケーションのバージョンを 1.5.0 以上にする必要があります

ミーティング 5 の管理者アカウントで WEB サイトにログインして、管理者ページに入ります。

管理

アドレス帳管理

参加者用アドレス帳へ一括登録ができます。

[GO](#)

テレビ会議端末アドレス帳管理

テレビ会議端末アドレス帳への登録ができます。

[GO](#)

V-CUBE Box 管理※

V-CUBE Box 端末の設定を変更することができます。

※V-CUBE Box の契約が必要です。

[GO](#)

V-CUBE Box 管理の Go ボタンを押すと、管理画面が表示されます。


V-CUBE ミーティング 5 管理者ページ
[操作方法・トラブルに関するお問い合わせはサポートへ](#)

ホーム 記録 設定 **管理** その他
ユーザーページへ

V-CUBE Box 管理

ご利用の V-CUBE Box 端末を一覧で確認することができます。また、管理対象にすることで端末設定を変更することができます。

共通設定

登録済みの全端末を同じ設定にすることができます。

[共通設定を変更する](#)

<p>アカウント設定 変更できる</p> <p>ネットワーク設定 変更できる TCP接続のみを使う</p> <p>プロキシ設定 変更できる</p> <p>アップデート設定 変更できる Boxのアップデート通知設定あり 基本ソフトウェアのアップデート自動確認設定あり 安定版</p>	<p>画面・帯域設定 送信画面：設定しない 上り速度：設定しない 下り速度：設定しない 表示拠点数：設定しない Screen Share 画面共有の解像度：設定しない</p> <p>ログ設定 接続情報</p>	
--	--	--

V-CUBE Box 端末の一覧

管理対象からははずす

絞り込み

選択	名前	V-CUBE ID	IPアドレス	MACアドレス	Ver.	最終ログイン日時	管理
<input type="button" value="全て選択"/>	<input type="button" value="選択解除"/>	<input type="button" value="選択した端末を"/> <input checked="" type="checkbox"/> 管理対象からははずす					

[ページトップへ](#)

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. Ver.5.7.3.11
個人設定

9.1 V-CUBE Box 端末の一覧

ご利用の V-CUBE Box 端末が一覧表示されます。一度もログインしていない場合は何も表示されません。ログインすると表示されるようになり、またログイン毎に最新の情報に更新されます。

V-CUBE Box 端末の一覧

選択した端末を 管理対象からはずす ⑩ 絞り込み

① 選択	② 名前	③ V-CUBE ID	④ IPアドレス	⑤ MACアドレス	⑥ Ver.	⑦ 最終ログイン日時	⑧ 管理
<input type="checkbox"/>	東京本社	box-tokyo			1.5.0	2017-07-25 16:54:39	登録済み
<input type="checkbox"/>	大阪支社	box-osaka			1.5.0	2017-07-25 16:51:34	<input checked="" type="button" value="管理する"/>

選択した端末を 管理対象からはずす

No.	項目	内容
1	選択	管理対象からはずすときに選択します (「管理」については後述します)
2	名前	ログインに使用したアカウントの表示名です
3	V-CUBE ID	ログインに使用したアカウント (V-CUBE ID) です
4	IP アドレス	ログイン時に端末に設定されていた IP アドレスです
5	MAC アドレス	端末の MAC アドレスです (有線 LAN)
6	Ver.	V-CUBE Box アプリケーションのバージョン番号です
7	最終ログイン日時	最新のログイン日時です
8	管理	<ul style="list-style-type: none"> ・「管理する」ボタンを押すと、その端末は管理対象となり(「登録済み」と表示されます)、端末の設定を管理画面で指定した内容にすることができます ・はじめて登録されたときは「管理する」ボタンが表示されていて管理対象になっていません ※ 設定内容については 共通設定 を参照ください
9	管理対象からはずす	<ul style="list-style-type: none"> ・選択した端末を管理対象からはずします (端末を廃棄、または別の契約で使用する場合に管理対象からはずすようにすることを想定しています) ・管理対象からはずした端末は一覧から非表示になります ・管理対象からはずした端末で再度ログインすると一覧に表示されるようになります (はずす前に管理対象にしても管理対象になっていない状態に戻ります)
10	絞り込み	管理対象となっている「登録済み」と管理対象外の「未登録」の状態での絞り込みができます

※ 表示されている端末情報は V-CUBE Box 管理画面を開いた時点の情報です。最新化したい場合は WEB ページを再読み込みしてください

※ 端末を管理対象にすると管理画面で指定した設定内容に強制的に変わってしまうため、端末側で設定を管理している場合はご注意ください

9.2 共通設定

管理対象にした端末に対して設定したい内容を指定します。共通設定は管理対象の全ての端末に適用されます。管理ページで設定した内容は端末がログインしている間に取得され、その端末の次回起動時に適用されます。

管理ページを開いたときは、現在設定されている共通設定が表示されます。

共通設定

登録済みの全端末を同じ設定にすることができます。 → 共通設定を変更する

アカウント設定	変更できる	画質・帯域設定	送信画質：設定しない 上り速度：設定しない 下り速度：設定しない 表示拠点数：設定しない Screen Share 画面共有の解像度：設定しない
ネットワーク設定	変更できる TCP接続のみを使う	ログ設定	接続情報
プロキシ設定	変更できる		
アップデート設定	変更できる Boxのアップデート通知設定あり 基本ソフトウェアのアップデート自動確認設定あり 安定版		

「共通設定を変更する」ボタンを押すことで共有設定の内容を変更することができます。

V-CUBE Box 端末の共通設定

※この設定は端末がログインした後、定期的に取得されます。設定内容の反映は端末の再起動後になります。
 ※登録済みのすべての端末に適用されます。
 ※画質・帯域設定、ログ設定はV-CUBE Box 2.0.0 以上で有効です。

アカウント設定 ?	<input type="radio"/> 変更できない <input checked="" type="radio"/> 変更できる
ネットワーク設定 ?	<input type="radio"/> 変更できない <input checked="" type="radio"/> 変更できる <input checked="" type="checkbox"/> TCP接続のみを使う
プロキシ設定 ?	<input type="radio"/> 変更できない <input checked="" type="radio"/> 変更できる
アップデート設定	<input type="radio"/> 変更できない <input checked="" type="radio"/> 変更できる <input checked="" type="checkbox"/> Box のアップデートがあった場合に通知します <input type="checkbox"/> 自動的にアップデートします <input checked="" type="checkbox"/> 基本ソフトウェアのアップデートを自動的に確認します <input checked="" type="radio"/> 安定版 <input type="radio"/> 機能更新版
画質・帯域設定	送信画質： <input type="text" value="設定しない"/> 上り速度： <input type="text" value="設定しない"/> 下り速度： <input type="text" value="設定しない"/> 表示拠点数： <input type="text" value="設定しない"/> Screen Share 画面共有の解像度： <input type="text" value="設定しない"/>
ログ設定	<input checked="" type="checkbox"/> 接続情報 <input type="checkbox"/> 詳細なログ <input type="checkbox"/> 詳細なログ取得を常におこなう

戻る

変更する

No.	項目	内容
1	アカウント設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択肢: 変更できない, 変更できる <p>端末側でアカウント (ID, パスワード) の変更操作ができるかどうかを設定することができます</p> <p>既定値: 変更できる</p>
2	ネットワーク設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択肢: 変更できない, 変更できる <p>端末側でネットワーク設定 (IP アドレス, DNS 等) の変更操作ができるかどうかを設定することができます</p> <p>既定値: 変更できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <input checked="" type="checkbox"/> TCP 接続のみを使う <p>会議の映像・音声に TCP のみを使うようにします。チェックを外すと UDP を使います。</p> <p>TCP のみの場合は利用するポートが 443 番のみに限定することができますが、UDP は 15000 番以上のポートを使うこととなりますが、遅延・パケットロス等ネットワークの劣化に対しては UDP の方が有利に働きます。</p> <p>既定値: <input checked="" type="checkbox"/></p>
3	プロキシ設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択肢: 変更できない, 変更できる <p>端末側でプロキシ設定 (サーバアドレス, 認証情報等) の変更操作ができるかどうかを設定することができます</p> <p>既定値: 変更できる</p>
4	アップデート設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択肢: 変更できない, 変更できる <p>端末側でアップデート設定の変更操作ができるかどうかを設定することができます</p> <p>既定値: 変更できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <input checked="" type="checkbox"/> V-CUBE Box のアップデートがあった場合に通知します <p>V-CUBE Box アプリケーションのアップデートをダウンロードするかどうかを設定できます。チェックをはずすとダウンロードしなくなります。</p> <p>既定値: <input checked="" type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <input type="checkbox"/> 自動的にアップデートします <p>V-CUBE Box アプリケーションのアップデートを自動で適用するかどうかを設定できます。チェックが入っていない状態では、再起動してアップデート適用を促すダイアログで操作しないとアップデートされません。チェックを入れるとアップデートの準備はバックグラウンドでおこなわれ、次回起動時は新バージョンで起動します。</p> <p>既定値: <input type="checkbox"/></p>

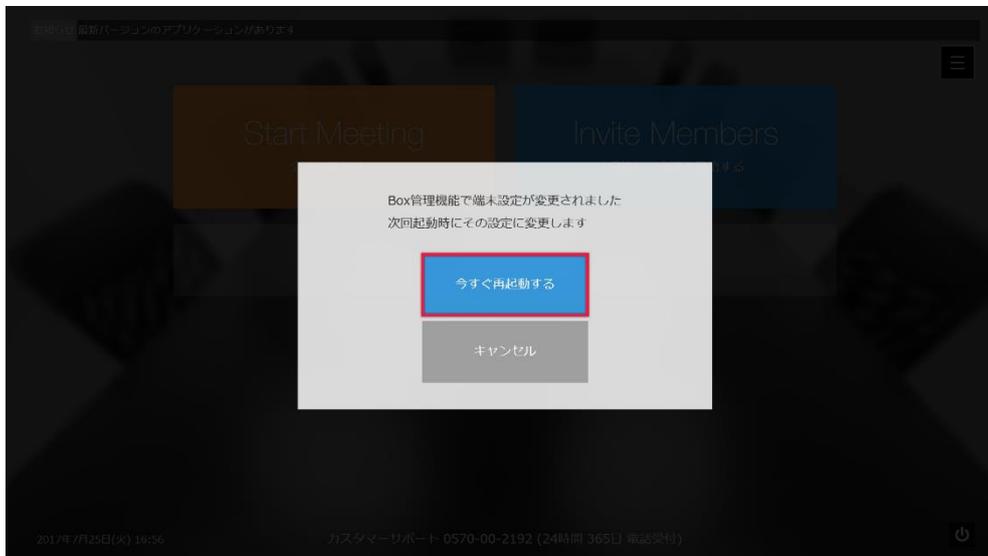
		<ul style="list-style-type: none"> ・ <input checked="" type="checkbox"/>基本ソフトウェアのアップデートを自動的に確認します <p>基本ソフトウェアのアップデートをするかどうかを設定できます。基本ソフトウェアのアップデートは V-CUBE Box メニューから電源オフするときに適用されますが、電源オフ時または次回起動時のアップデート適用に時間がかかる場合がありますので、重要な会議が予定されている場合はアップデートしない設定にすることができます。</p> <p>既定値: <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※ セキュリティ観点から、アップデートしない設定は一時的な対応とすることを推奨します</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択肢: 安定版, 機能更新版 ・ 安定版: バージョン 1.x 主に不具合修正や軽微な画面調整のアップデートを提供します。 ・ 機能更新版: バージョン 2.x 利便性や映像・音声品質向上を目的とした機能追加をおこないます。 <p>既定値: 安定版</p>
5	画質・帯域設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 送信画質: 1080p, 720p(30fps), 720p(15fps), 480p, 360p, 低帯域用(CIF) <p>既定値: 設定しない</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上り速度: 制限しない, 6.0Mbps, 5.0Mbps, 4.0Mbps, 3.0Mbps, 2.0Mbps, 1.0Mbps, 768kbps, 512kbps, 256kbps, 128kbps <p>既定値: 設定しない</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 下り速度: 制限しない, 6.0Mbps, 5.0Mbps, 4.0Mbps, 3.0Mbps, 2.0Mbps, 1.0Mbps, 768kbps, 512kbps, 256kbps, 128kbps <p>既定値: 設定しない</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示拠点数 0 ~ 16 <p>既定値: 設定しない</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・ Screen Share 画面共有の解像度: 1920x1080 (Full-HD), 1600x1200 (UXGA), 1366x768 (Full-WXGA), 1280x1024 (SXGA), 1280x800 (WXGA), 1024x768 (XGA) <p>既定値: 設定しない</p>
6	ログ設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ <input checked="" type="checkbox"/>接続情報 <p>既定値: <input checked="" type="checkbox"/></p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・ <input type="checkbox"/>詳細なログ <p>既定値: <input type="checkbox"/></p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・ <input type="checkbox"/>詳細なログ取得を常におこなう <p>既定値: <input type="checkbox"/></p>

※ アップデート関連の設定値はアップデート設定の変更できないに関わらず、管理画面での指定が強制的に端末側に適用されます

※ 画質・帯域設定とログ設定はバージョン2.x以降で有効で、バージョン1.xでは設定しても反映されません

9.3 端末側での設定適用

管理対象にすると、端末がログインしているときに一定の間隔でサーバ側に設定があるかを確認します。設定があった場合は、以下の画面が表示されます。そのまま継続して V-CUBE Box を利用したい場合は、キャンセルしてください。キャンセルした場合でも次回起動時はサーバで指定した設定で起動されます。



10 PC・モバイル から参加するには

V-CUBE One の契約をいただいている場合に、V-CUBE One ユーザーまたは外部招待者が会議に参加することができます。

10.1 ログインして会議参加する

PC、またはモバイルアプリでご利用の V-CUBE ID を使ってログインし、会議室を選択して参加することができます。



10.2 招待 URL から会議参加する

会議予約時にアドレス帳、メンバーリストから登録されているメールアドレスを招待する、または直接メールアドレスを入力して招待メールを送信することができます。この招待メールに記載されている招待 URL から、PC・モバイルで会議に参加することができます。

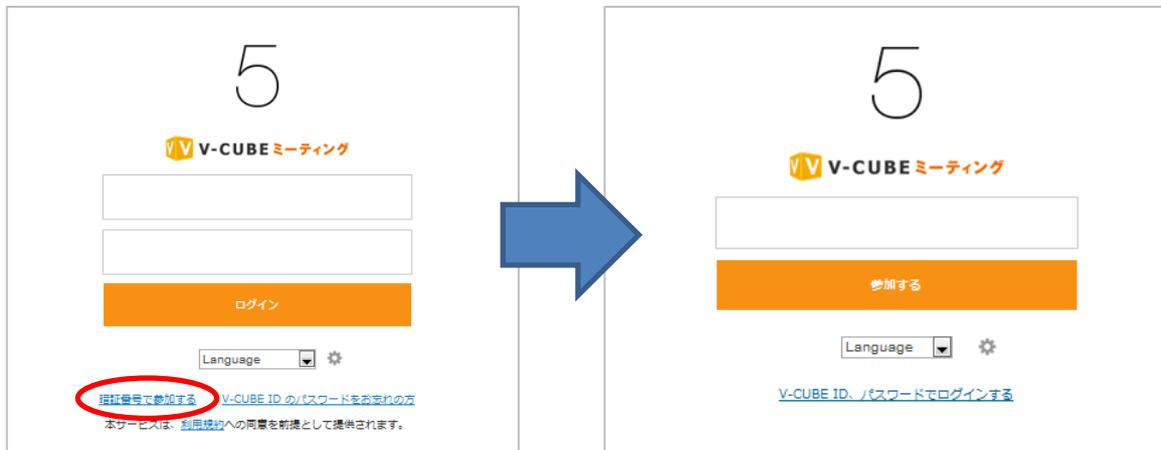
開催日時	2015-10-12 20:30:00 ~ 2015-10-12 21:30:00 (GMT +9)
会議URL	https://mtg5l.vcube.com/r/49034d28dde6506b70019b5b
会議記録パスワード	vcube1234
メッセージ	こちらの予定で会議を行いますので時間になりましたら招待URLから入室ください。

10.3 暗証番号から会議参加する

会議中に「会議情報」メニューから暗証番号を表示することができます。

PC、モバイルでそれぞれログインページの「暗証番号で参加する」メニューから、暗証番号を入力して会議に参加することができます。

PC の場合、ログインボタン下部にある「暗証番号で参加する」をクリックすると、暗証番号入室画面に遷移します。



モバイルの場合、ログインボタン下部にある「暗証番号で参加する」をクリックすると、暗証番号入室画面に遷移します。



11 会議記録を参照するには

11.1 V-CUBE ミーティングの会議記録から閲覧する

会議記録は、PCから閲覧します。閲覧する際には、ウェブ管理者のID・パスワードを用いてV-CUBE ミーティング5のウェブサイトアクセスし、ログインしてください。

<https://mtg5l.vcube.com>



ログイン後、「会議記録」から各種会議記録を参照することができます。

※「会議記録」の詳細は、V-CUBE ミーティング5のマニュアルをご参照ください

12 V-CUBE Box での招待先一覧を変更するには

→7.3.2 招待先を選ぶ で表示される一覧です。

12.1 招待先一覧の変更・追加手順

招待先一覧のリストは、Gate で使用されているユーザーグループ V-CUBE Box のリストとなります。リストの作成・変更・追加を行うには、PC で Gate の管理機能へアクセスし、管理者 ID とパスワードを入力してログインしてください。

Gate 管理者機能 <https://control.gate.vcube.com>



ログイン後、メニューの組織管理から、「+組織登録」ボタンを押します。



リスト名を V-CUBE Box と入力し、ユーザーを選択して、保存を押します。

※ リスト名 V-CUBE Box は半角英数で、V-CUBE Bが大文字、oxが小文字、V-CUBE と Box のスペースは半角です



The screenshot illustrates the process of creating a new organization in the V-CUBE Box system. It is divided into three main sections:

- Organization Registration (組織管理 > 組織登録):**
 - リスト名 (List Name):** A text input field containing "V-CUBE Box".
 - 選択ユーザー (Selected Users):** A list of users with checkboxes. Selected users include "九州工場", "大阪支社", "東京本社", "東北支社", and "研究所".
 - 未選択ユーザー (Unselected Users):** A list of users with checkboxes. The unselected user is "管理者".
 - Buttons:** "すべてのユーザー解除" (Remove all users), "< すべての選択" (Select all), "保存" (Save), and "キャンセル" (Cancel).
- Organization Overview (組織一覧):**
 - Buttons:** "組織を反映" (Reflect organization) and "+ 組織登録" (+ Register organization).
 - Search and Filter:** "表示数 25" (Display count), "省略名 (アプリ内のタブ名表示) Company" (Abbreviated name), and search buttons.
 - Table:** A table with columns for "リスト名" (List name), "操作" (Action), and "反映済み" (Reflected). The row for "V-CUBE Box" shows action buttons (edit, up, down, add, delete) and a "更新" (Update) button.
- Final State:**
 - The "更新" button has changed to "反映済み" (Reflected).

「組織を反映」ボタンを押すと更新から反映済みになり、リストは更新されます。

13 V-CUBE Box のオートアップデートに関して

13.1 オートアップデートの手順

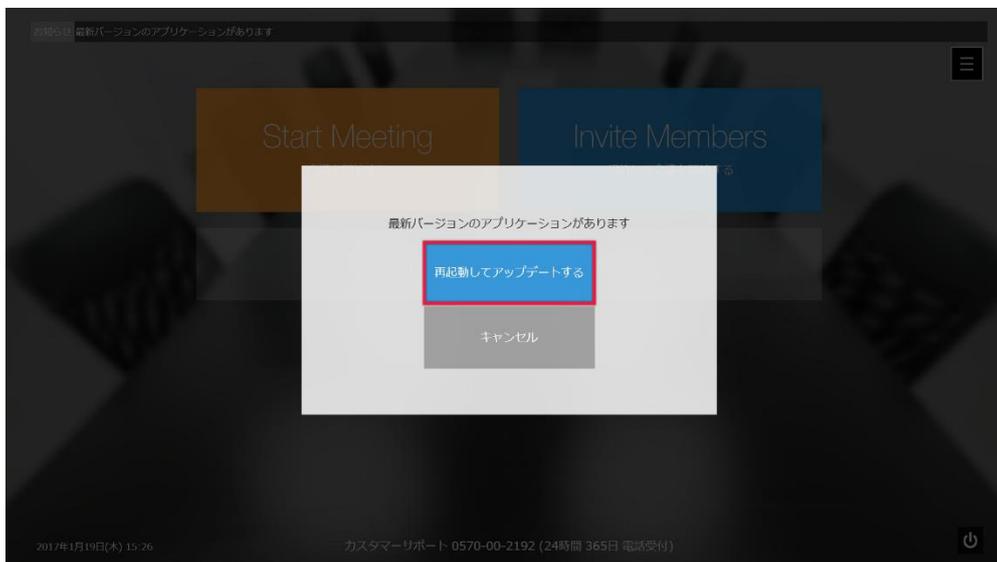
V-CUBE Box のソフトウェアに更新があった場合、自動的に更新版のソフトウェアを受信して、アップデートをする機構があります。

13.1.1 更新ソフトウェアを受信する

V-CUBE Box に電源が入っていてインターネットに接続可能な状態の際には定期的にサーバーへ更新の有無を確認しています。更新があった場合、自動的にダウンロードを行います。

13.1.2 アップデートを行う

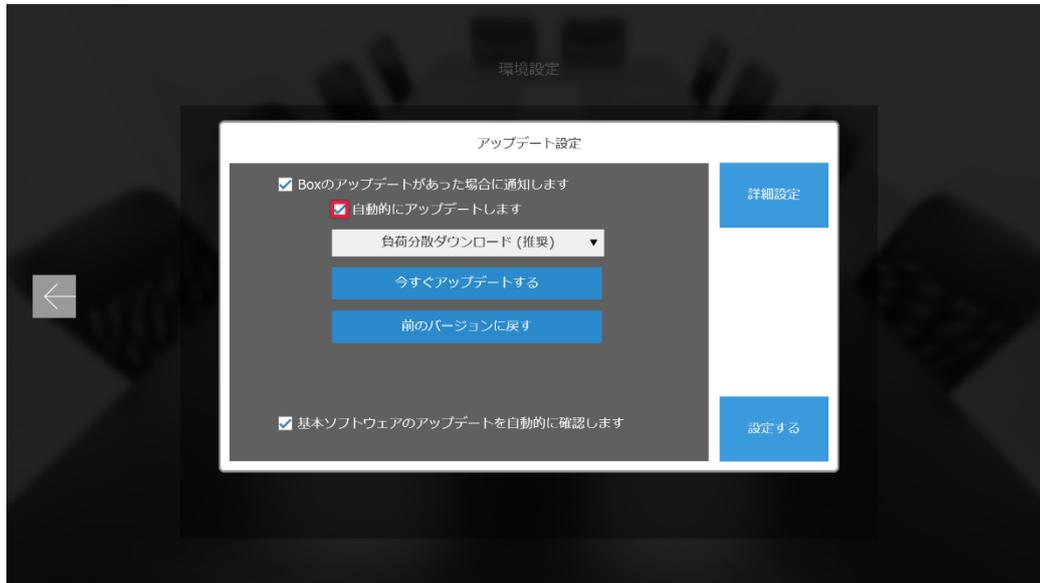
更新版ソフトウェアのダウンロードが終わった状態で、ホーム画面を表示するとアップデートを促すダイアログが表示されます。



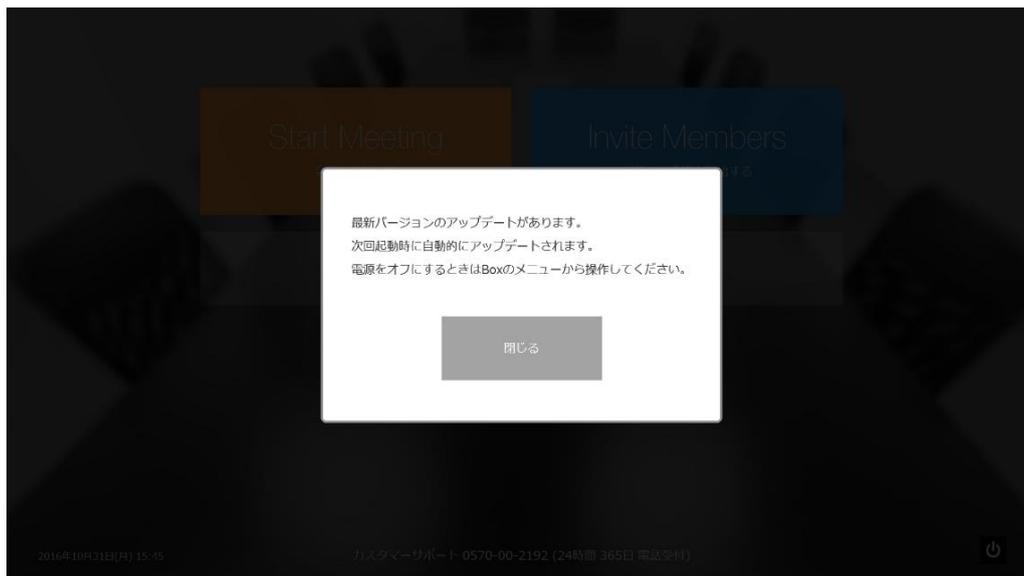
「再起動してアップデートする」を選択すると、V-CUBE Box が自動で再起動して更新版ソフトウェアが適用されます。「キャンセル」を選択すると、ダイアログが閉じ、引き続き利用することができます。

13.1.3 自動的にアップデートする場合

アップデート設定にて「自動的にアップデートする」にチェックを入れて、「設定する」ボタンを押します。
(画面は次版以降の基本ソフトウェアの場合です)



更新版ソフトウェアのアップデートがある場合、ホーム画面でアップデートの告知が表示されます。次回起動時に自動でアップデートされます。



※ バージョン 1.4.0 以降のアップデートでは上記画面は表示されず、ホーム画面のお知らせにアップデートの通知が表示されるようになります

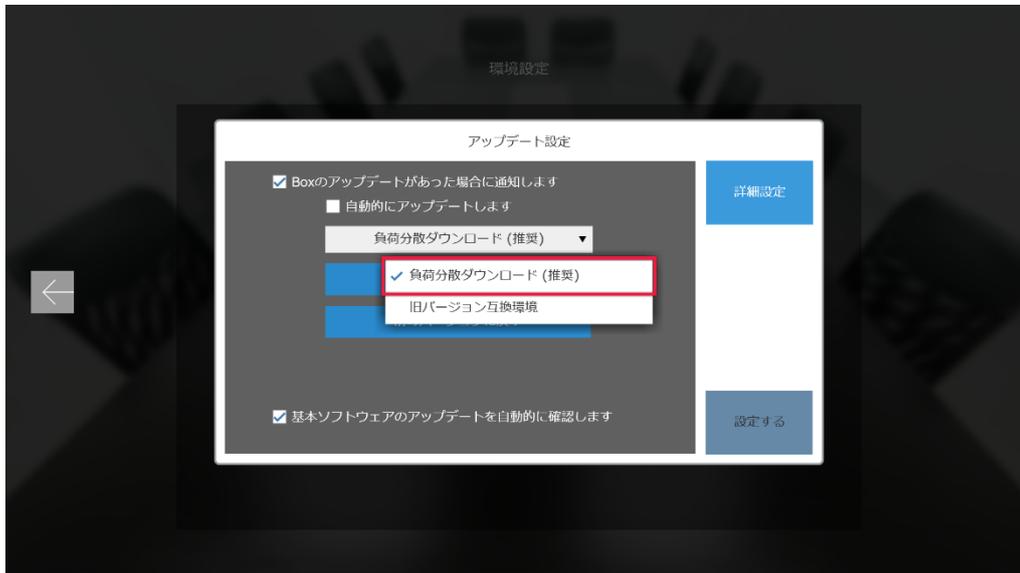
お知らせ 最新バージョンへのアップデート準備ができています。次回起動時にアップデートされます。

13.1.4 アップデートのダウンロードサーバを変更する場合

デフォルトでは「負荷分散ダウンロード（推奨）」が選択されています。ご利用の V-CUBE Box 端末から一番近いサーバからダウンロードします。複数のサーバが用意されているので効率的です。特別な事情がない限りはこの設定から変更しないでください。

「負荷分散ダウンロード（推奨）」でダウンロードできない場合のみ「旧バージョン互換環境」の設定をお試しください。

（画面は次版以降の基本ソフトウェアの場合です）



13.1.5 オートアップデートを停止する場合

V-CUBE Box のソフトウェアに更新があっても更新を行わないように設定することが可能です。オートアップデートを停止するには、V-CUBE Box の環境設定より、「アップデートを設定する」を選択し、「Box のアップデートがあった場合に通知します」のチェックを外します。

※ デフォルトはチェックが入った状態になっております

13.1.6 今すぐアップデートする

「今すぐアップデートする」ボタンを押すと、最新版のアップデートを確認し、より新しいバージョンが提供されている場合はアップデートをダウンロードし、アップデートします。

※ 「今すぐアップデートする」機能はバージョン 1.x にはありません

13.1.7 前のバージョンに戻す

「前のバージョンに戻す」ボタンを押すと、V-CUBE Box 端末に保存されている、以前利用していたバージョンに戻すことができます。

※ 1 回もバージョンアップをしていない場合は前のバージョンが保存されていないので、戻すことができません

13.1.8 詳細設定

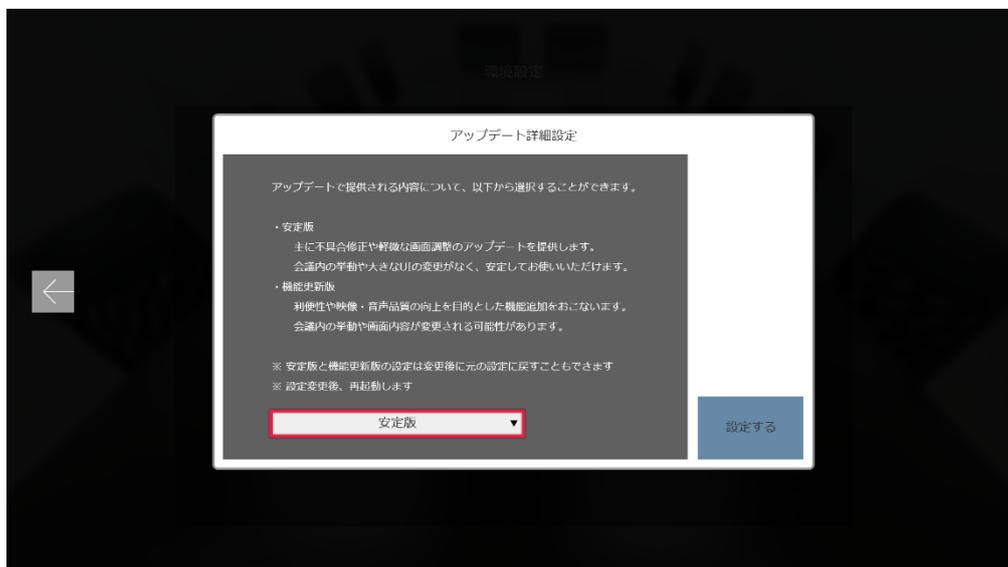
「詳細設定」ボタンを押すとアップデートで配信されるアプリの内容を選択する画面が表示されます。選択肢から「安定版」と「機能更新版」の2つを選択することができます。

- 安定版
 - 主に不具合修正や軽微な画面調整のアップデートを提供します。
 - 会議内の挙動や大きなUIの変更がなく、安定してお使いいただけます。

- 機能更新版
 - 利便性や映像・音声品質の向上を目的とした機能追加をおこないます。
 - 会議内の挙動や画面内容が変更される場合があります。
 - ※ バージョン 2.x 以降にアップデートするには「機能更新版」に設定する必要があります

初期設定は「安定版」になっています。「機能更新版」に切り替えてから再度「安定版」に戻したり、また逆の操作も可能です。

選択肢から選んで、「設定する」ボタンを押すと再起動します。次回起動以降、選択した内容のアップデーモジュールの更新版が配信されていれば、それをダウンロードするようになります。



14 ログ出力に関して

USB 記憶デバイスまたはサーバーへ V-CUBE Box のログを出力することができます。
不具合発生時に、出力したログをサポートへ送っていただく事によりトラブルの解決に役立ちます。

14.1 USB 記憶デバイスへログを出力する

14.1.1 USB 記憶デバイスを V-CUBE Box 端末へ接続する

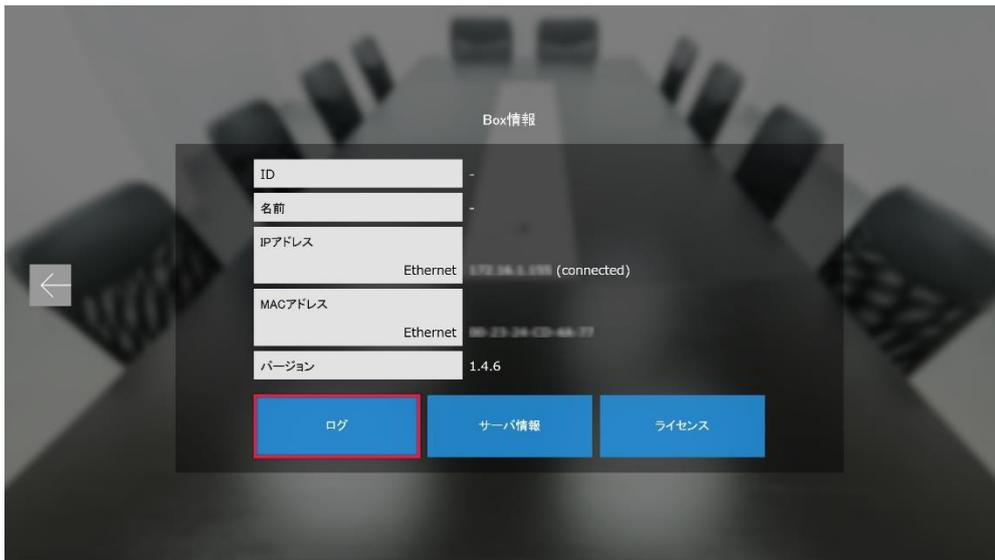
書き込み可能な USB 記憶デバイスを V-CUBE Box 端末へ接続します。
USB 記憶デバイスを初めて接続した時は、認識まで暫く時間がかかります。

14.1.2 メニュー画面の Box 情報からログ出力を行う

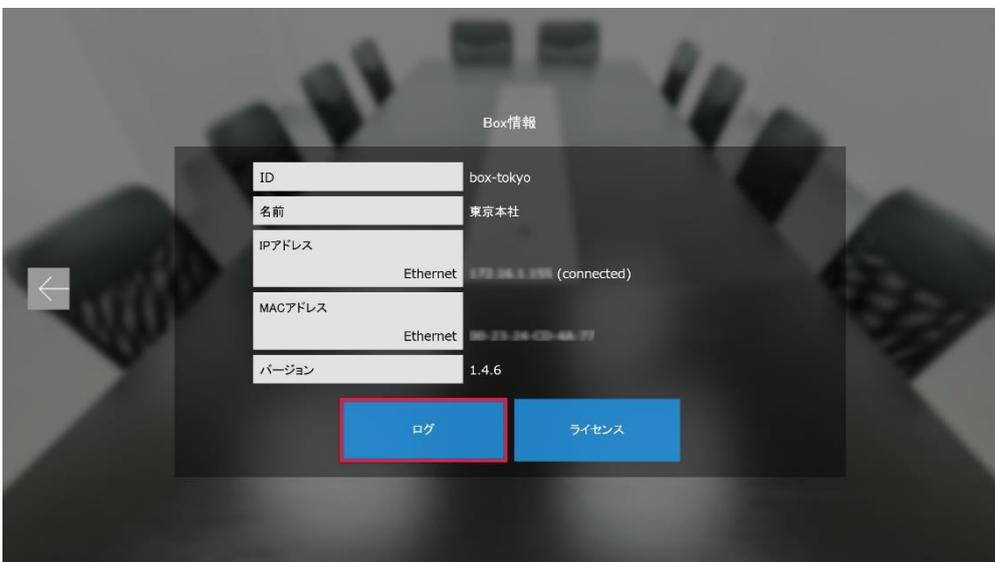
手順1. メニューボタンを押し、Box 情報から「ログ」ボタンを選択して押します。

※ USB 記憶デバイスへのログ出力はログイン前のメニュー画面及びログイン後のメニュー画面どちらからでも可能です
サーバーへのログ出力(アップロード)はログイン後のみ可能です

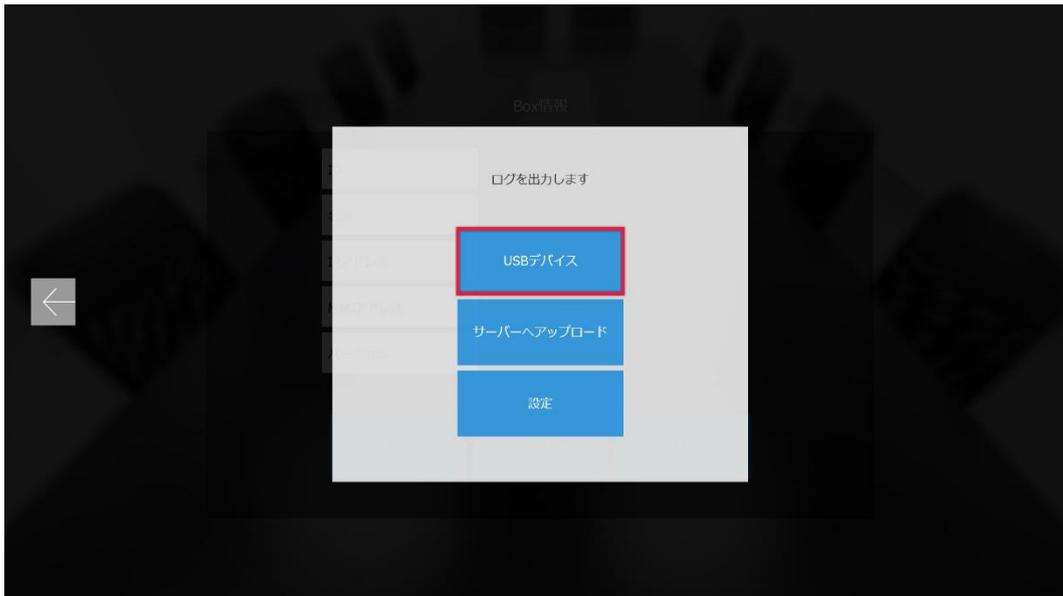
ログイン前の Box 情報



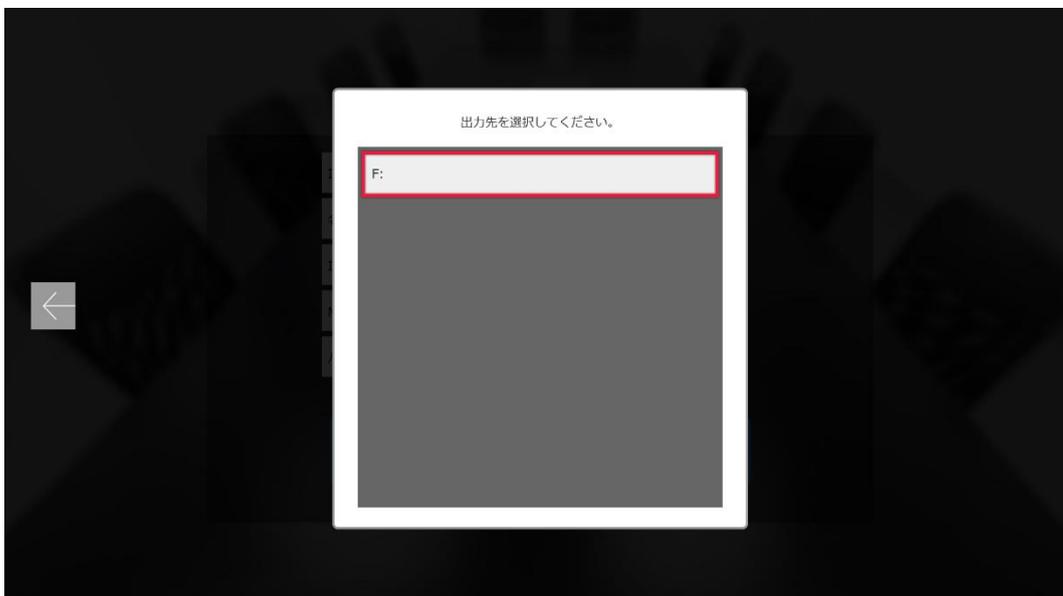
ログイン後の Box 情報



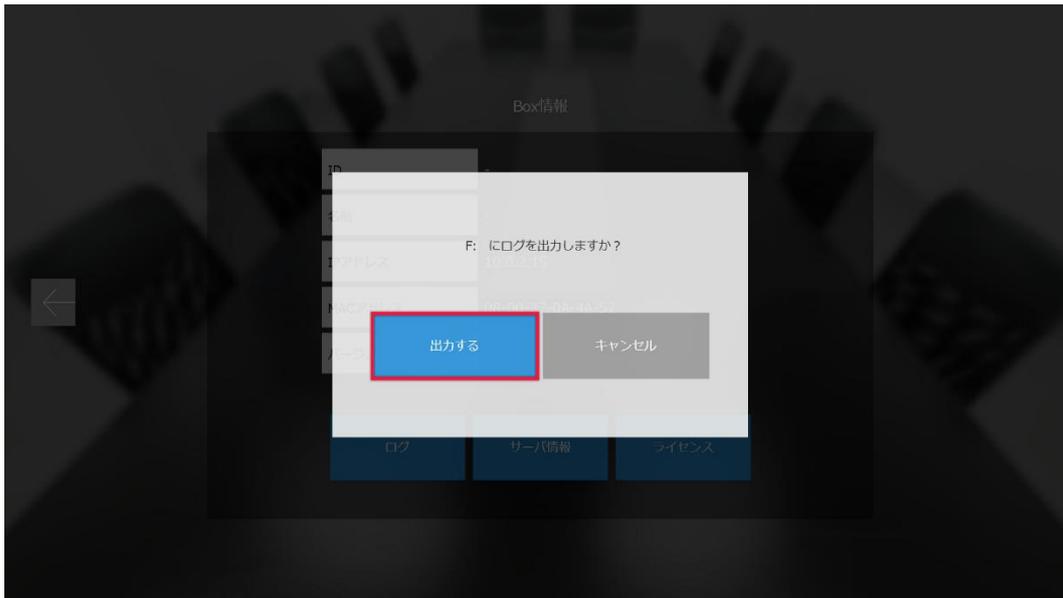
手順2. 「USB デバイス」 ボタンを選択して押します。



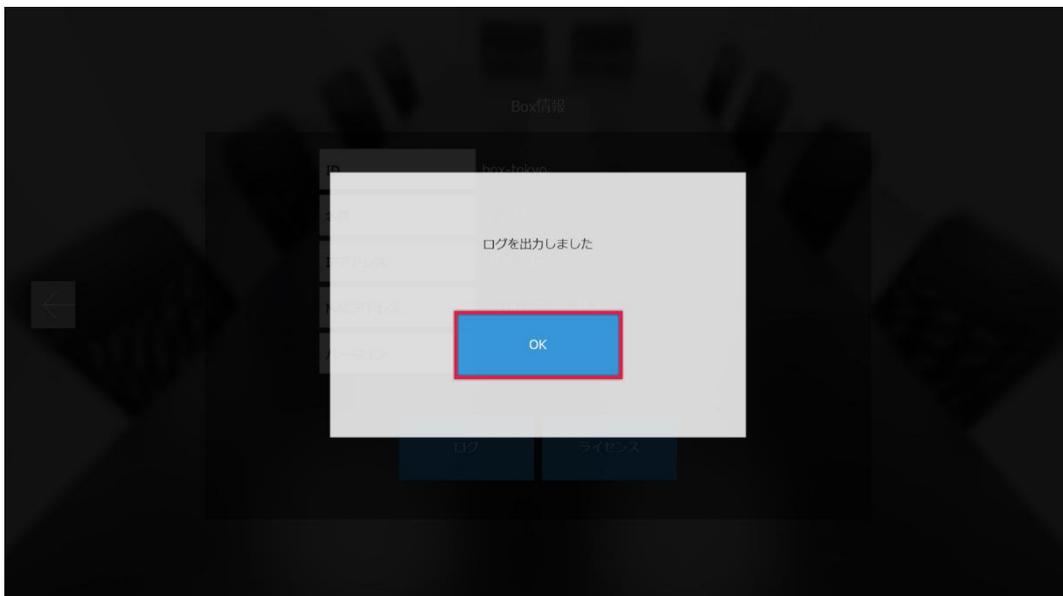
手順3. 出力先を選択します。



手順4. ログ出力の確認画面が表示されますので、「出力する」を選択して押します。



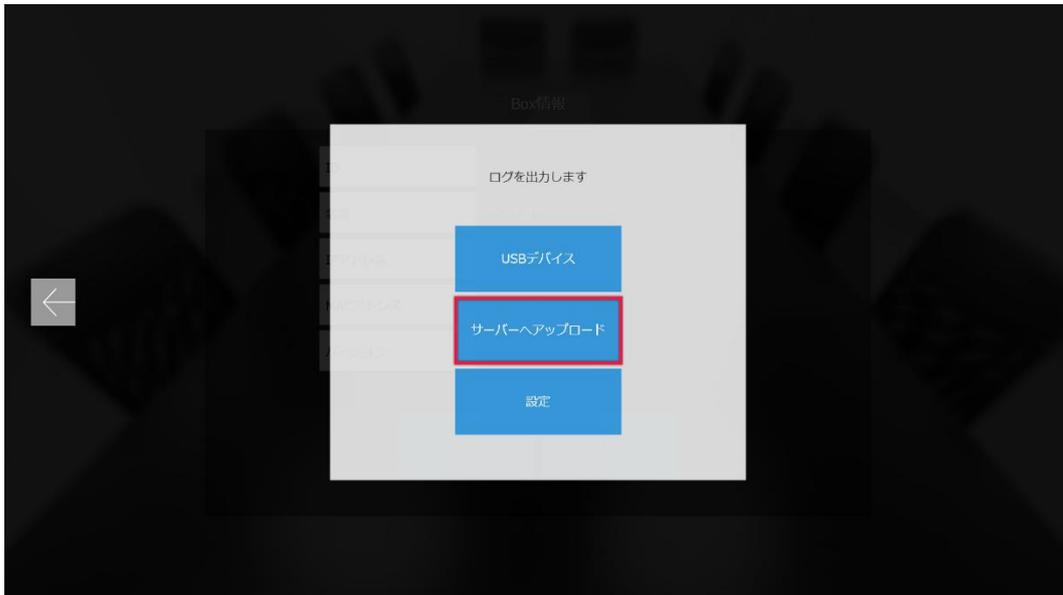
手順5. ログ出力に成功すると下記の画面が表示されます。



USB 記憶デバイスには zip 形式で圧縮されたログファイルが生成されます。
box-yyyyMMddHHmm.zip という表記形式の名称のファイルになります。
(例 : 2016 年 8 月 30 日 18 時 30 分にログ出力を行った場合は、box-201608301830.zip)

14.2 サーバーへログをアップロードする

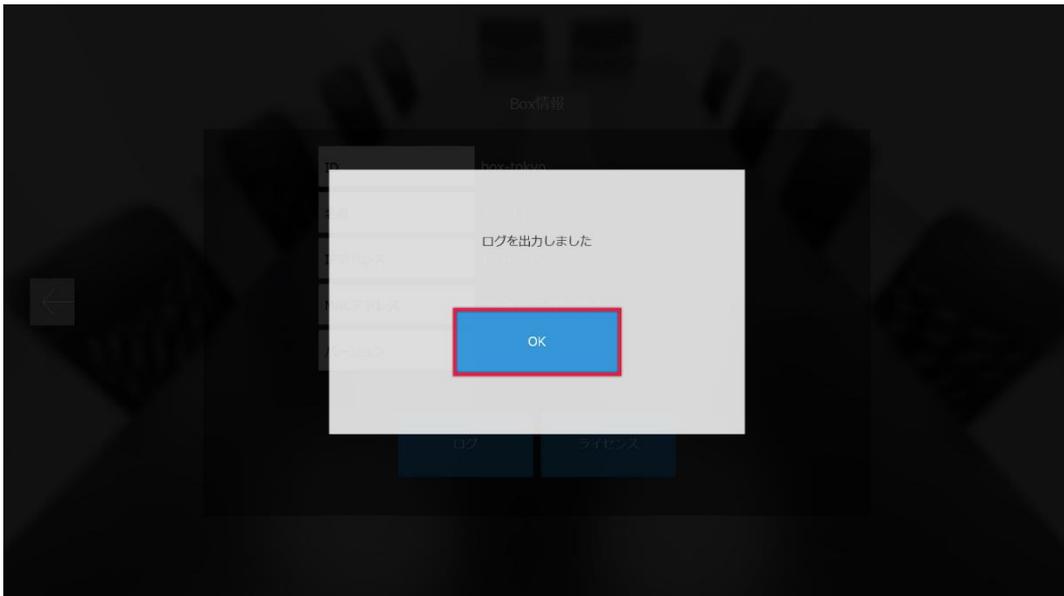
手順1. 「サーバーへアップロード」ボタンを選択して押します。



手順2. ログ出力の確認画面が表示されますので、「出力する」を選択して押します。

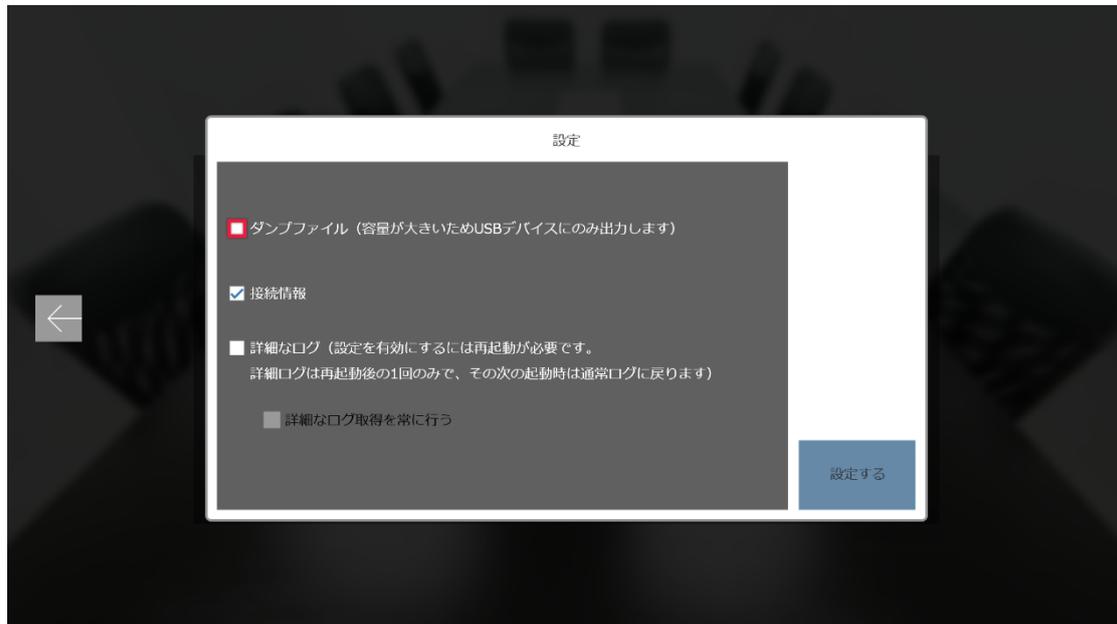


手順3. ログ出力に成功すると下記の画面が表示されます。



14.3 設定

ログ出力についての設定をすることができます。

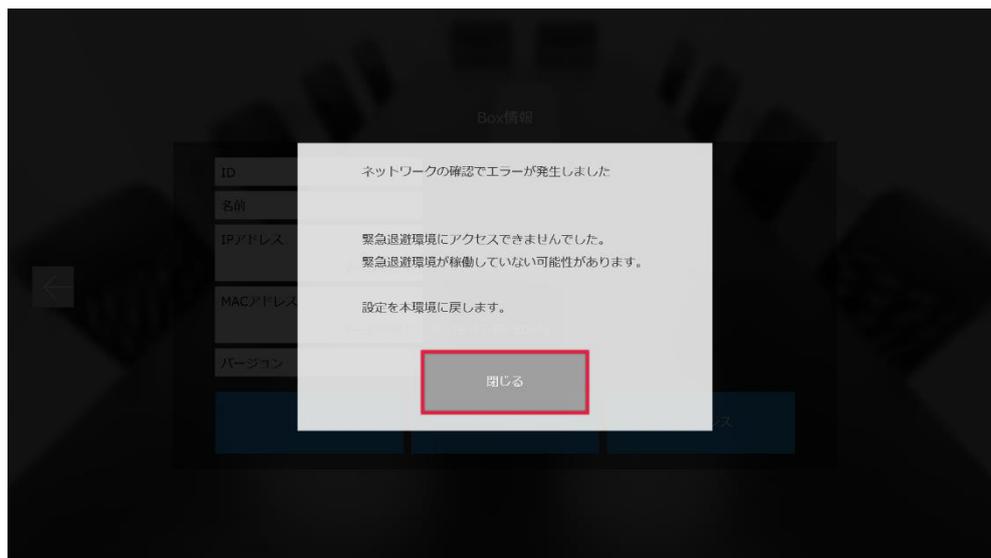


No.	項目	操作内容
1	ダンプファイル	<p>ダンプファイルログの出力有無を変更します。(デフォルトは無効に設定されています)</p> <p>ダンプファイルは容量が大きいため、USB メモリデバイスにのみ出力されます。</p> <p>※ サーバーへアップロード時は、ダンプファイルは出力されません</p>
2	接続情報	<p>会議室内のメニューから参照できる接続情報(送受信のネットワーク帯域等)をファイルに出力します。(デフォルトで有効に設定されています)</p>
3	詳細なログ	<p>障害が発生した際の情報収集の場合に設定します。(デフォルトは無効に設定されています)</p> <p>この設定にチェックを入れて「変更する」ボタンを押下すると、再起動を促されますので、再起動してください。</p> <p>再起動後に出力されるログは詳細情報が含まれたものになります。詳細ログが有効なのはその起動から終了までになります。詳細ログ設定で起動された後に電源を切った場合、その次の起動の際はログレベルは標準に戻ります。</p>
4	詳細なログ取得を常に行う	<p>この設定を有効にすると「詳細なログ」の設定が起動毎にリセットされず、常に有効になります。</p>

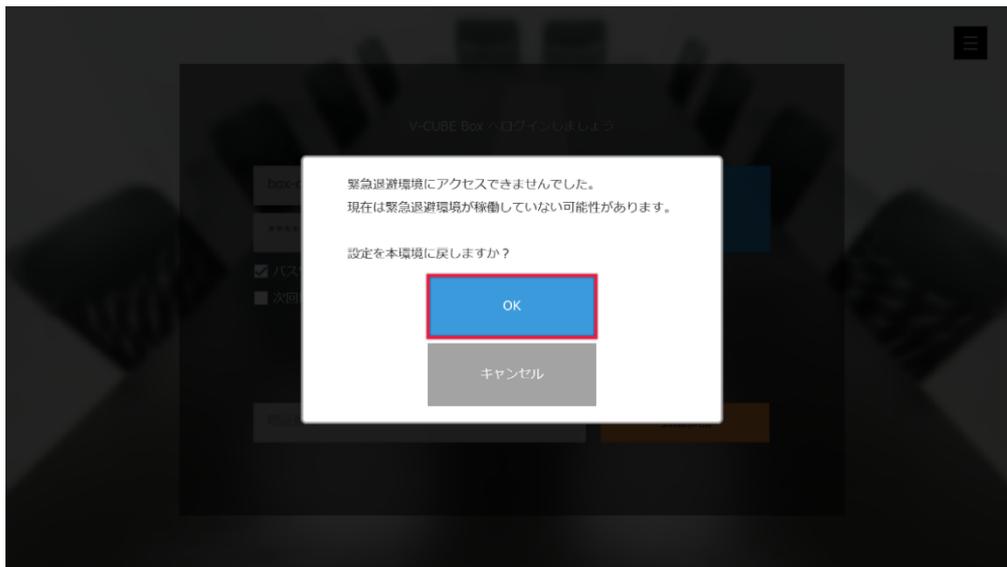
15 サーバ情報

ログイン前の Box 情報メニューから接続先サーバを変更できます。

※ **サーバ障害時、緊急退避環境** に接続する場合に設定変更する必要があります
(通常時は緊急退避環境が起動していないため、変更しようとしたときにエラーとなり本環境に戻ります)

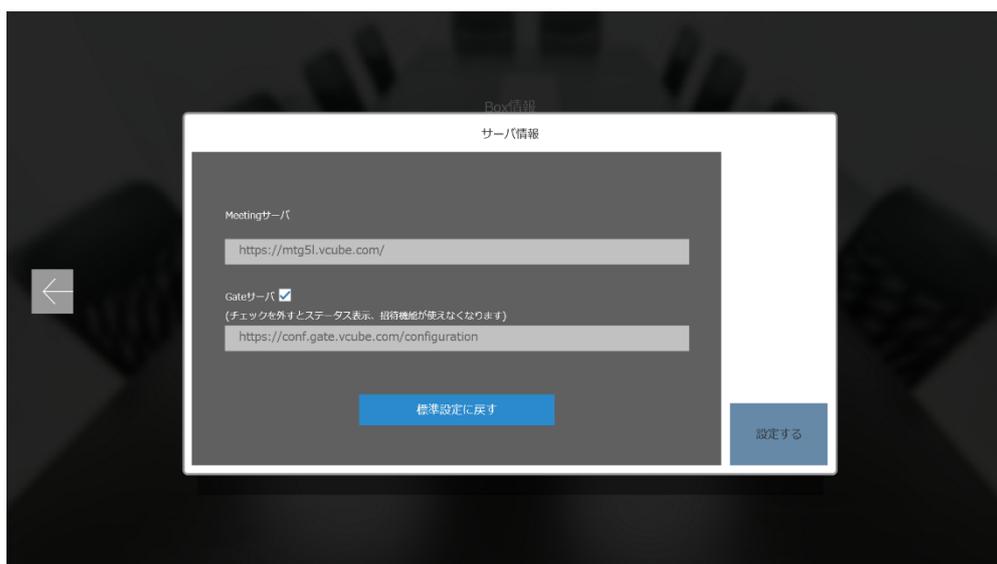


障害が復旧した場合は設定を本環境にもどす必要があります。緊急退避環境が終了しても緊急退避環境の設定のままになっていた場合はエラーとなり、本環境に戻す画面が表示されます。



※ 本環境と緊急退避環境で接続先サーバが異なる V-CUBE Box 同士は同じ会議に入室することや V-CUBE Box 間招待ができません（招待する側は成功したように見えますが、別サーバでの招待になるため、相手側に通知が来ません）

社内ポリシー等で V-CUBE Gate を利用できない場合、V-CUBE Gate の機能を利用しないで V-CUBE Box を使用可能にする設定があります。設定方法は詳細設定の「Gate サーバ」のチェックを外します。この設定にすると Box 同士の招待機能が使用できなくなる制限があります。



16 緊急退避環境について

弊社ではサービスの安定稼働に尽力しておりますが、システム障害等不測の事態に陥った場合に備え、緊急退避環境を用意しています。ここでは緊急退避環境について説明します。

16.1 緊急退避環境とは

V-CUBE ミーティング5およびV-CUBE Boxに障害が発生している場合に一時的にご利用いただくための環境で、最低限会議が行えることを担保することを目的としています。

緊急退避環境 URL : <https://dr-mtg5l.vcube.com/>

本環境 (<https://mtg5l.vcube.com/>)にて障害が確認され利用できない場合に、弊社から緊急退避環境ご利用のお願いをアナウンスいたします。本環境が正常に稼働している場合、緊急退避環境にはアクセスできません。

※ 本環境での障害復旧時など状況によりましては、本環境をご利用いただける場合であっても緊急退避環境が同時稼働している場合があります。この時、緊急退避環境に設定した端末と本環境に設定した端末は、同名の会議室に入室しても、それぞれ別の環境で会議が開催されているため、出会うことができません

※ 緊急退避環境には、前日までの本環境のアカウント、会議室情報が同期されています

16.2 緊急退避環境の制限事項について

緊急退避環境には、下記の制限事項があります。

※ 以下の表はV-CUBE ミーティング5全体について書かれています。V-CUBE Boxに存在しない機能についても言及されています

ご利用いただけます	ご利用いただけません
<ul style="list-style-type: none"> ✓ Windows ✓ Mac ✓ iOS ✓ Android ✓ Box 	<ul style="list-style-type: none"> ✗ ブラウザで入室 ✗ テレビ会議端末

機能・オプションの制限

✓ ご利用いただけます

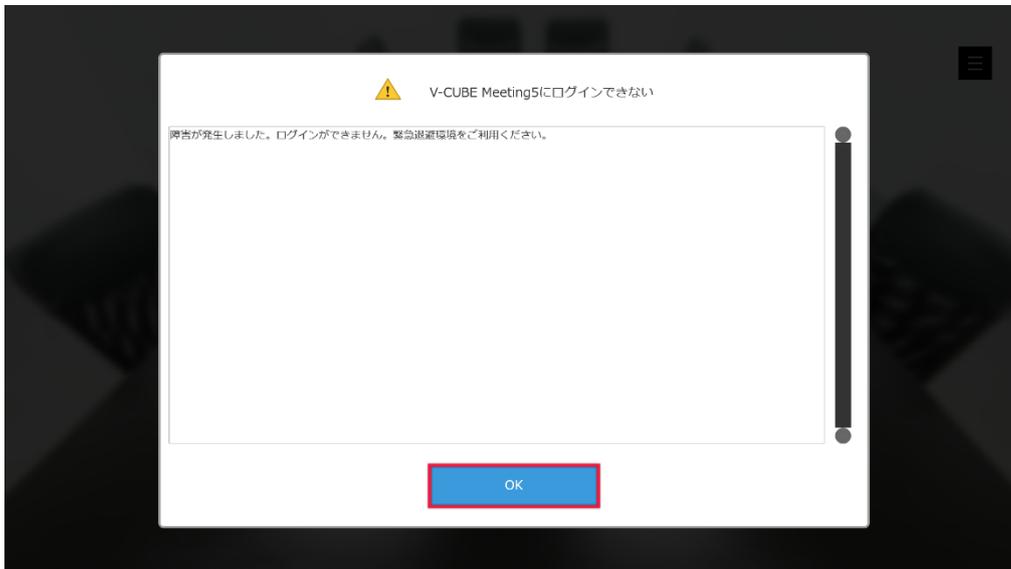
会議アプリ	画面共有 / チャット
-------	-------------

✗ ご利用いただけません

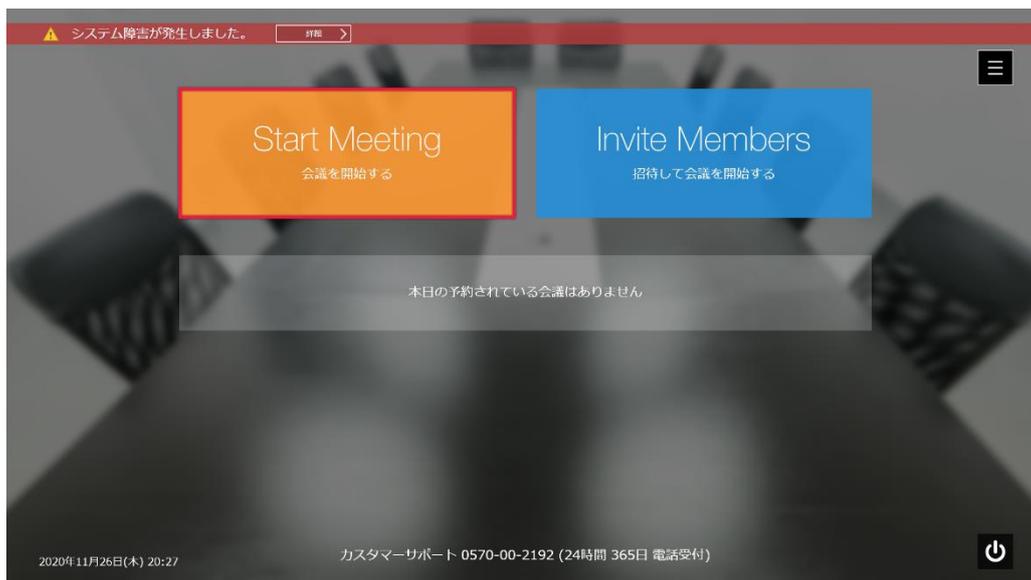
会議アプリ	録画 / アンケート / 音声認識・翻訳 / ホワイトボード (会議室外の資料共有も含む) / 多拠点モード
Webサイト	会議予約 / 会議記録の閲覧 / ストレージ機能 / アンケート設定 / 管理者機能

16.3 障害時の通知と緊急退避環境への切り替え

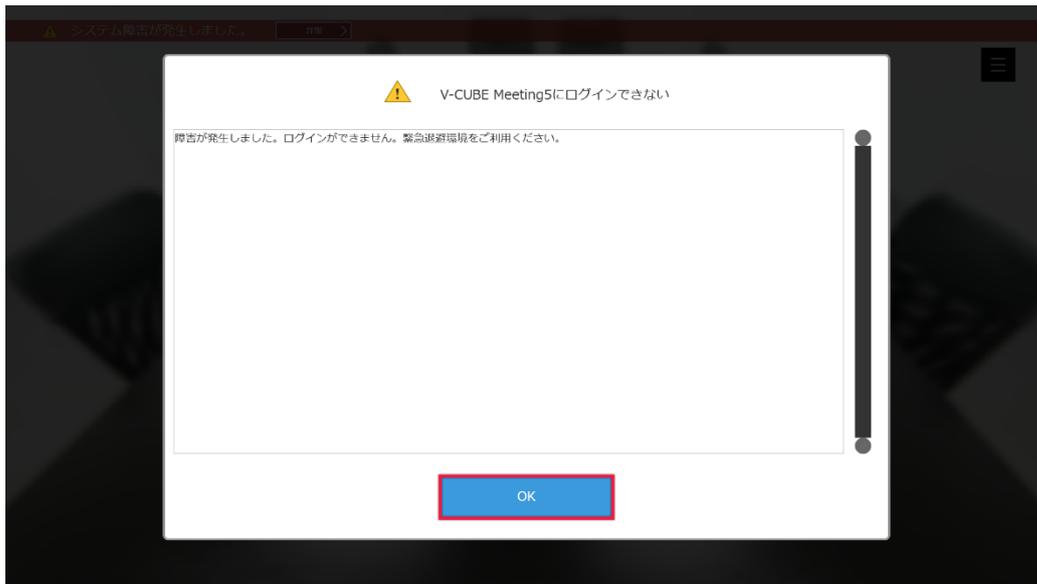
緊急退避環境を利用しなければならない障害が発生した場合、ログイン画面およびホーム画面で障害内容を表示する画面が開きます。OK ボタンを押すと自動的に緊急退避環境に切り替わります。



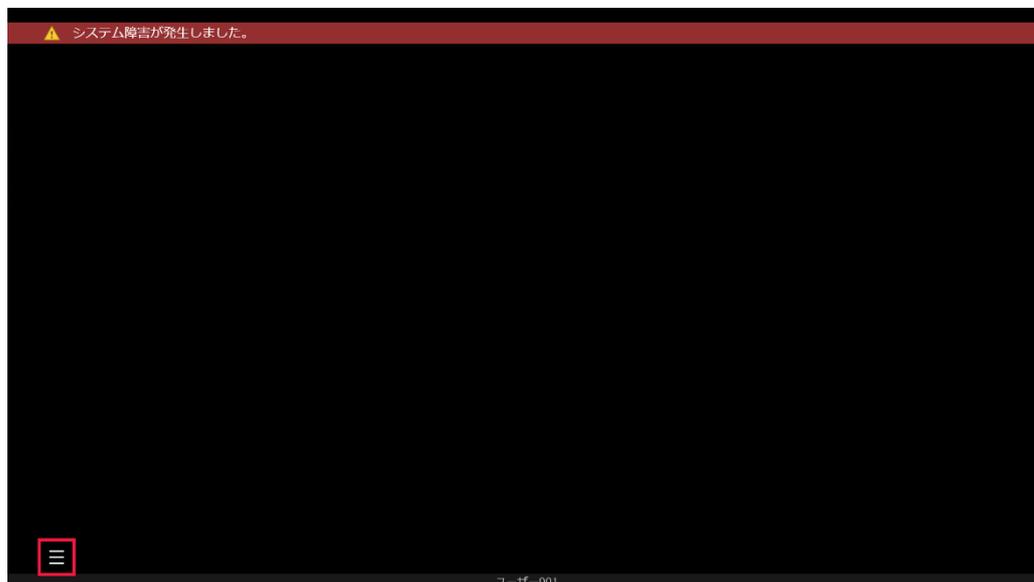
現在のサーバ設定が緊急退避環境の場合、画面上部に赤帯が表示されます。



赤帯にある「詳細」ボタンを押すと現在発生している障害の内容を確認することができます。

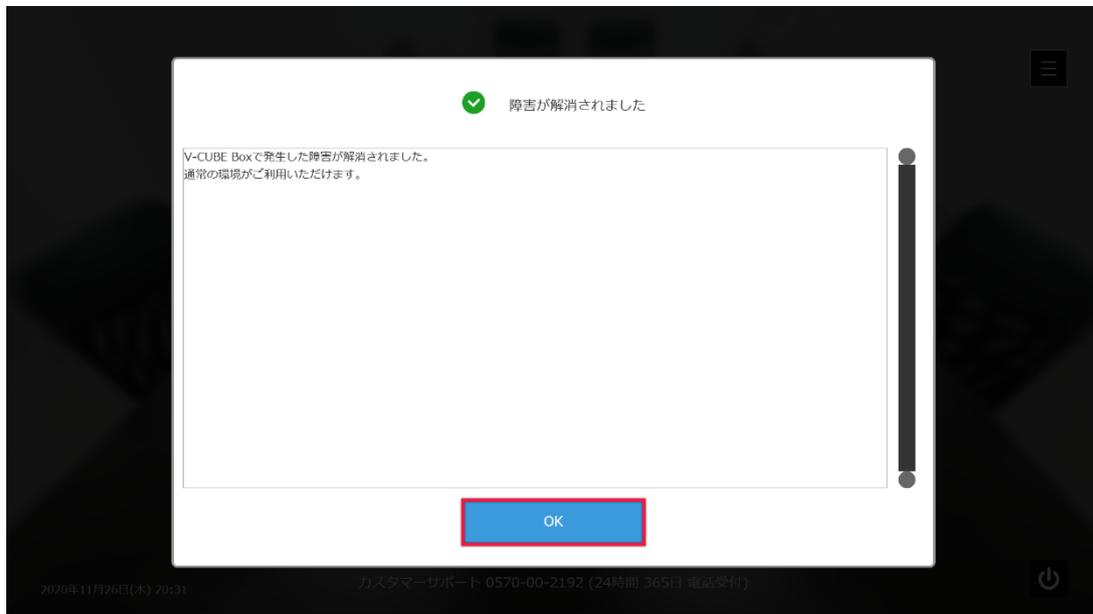


緊急退避環境で会議をおこなっている場合も上部に赤帯が表示されます。



16.4 障害解消通知と本環境への切り替え

障害が解消された場合、障害解消の内容を表示する画面が開きます。OK ボタンを押すと自動的に本環境に切り替わります。



16.5 緊急退避環境の設定を任意におこなう

ログイン画面およびホーム画面の通知以外からでも緊急退避環境に設定することができます。Box 1.9.3 以前のバージョンでは障害および障害解消通知、サーバ設定切替機能が利用できないため、この方法で設定する必要があります。設定画面、操作方法については[サーバ情報](#)を参照ください。

17 制約、注意事項

17.1 V-CUBE Box に表示される各種情報の更新

V-CUBE Box で表示される会議予定、他の V-CUBE Box の状態（オフライン、オンライン、会議中）の更新に時間がかかることがあります。

- 会議予定：最長 10 分
- V-CUBE Box の状態：最長 1 分

18 トラブルシューティング

18.1 V-CUBE Box を起動した際に ID/PW が入力されていない

原因：初期出荷状態は、自動でログインできるように設定されています。なんらかの理由でこれがリセットされ、ログインできなくなっています。

対策：弊社サポートへご連絡ください。

https://mtg-support.vcube.com/hc/ja/requests/new?ticket_form_id=900001103943

※ V-CUBE One 契約をされている場合には、任意の V-CUBE ID を使ってログインをすることができます

18.2 ログインができない

以下をご確認ください。

- LAN ケーブルが接続 されていること
- ネットワーク接続ができていること
- ネットワーク設定が正しく設定されているかご確認ください。[ネットワーク設定](#) を参照ください
- 基本ソフトウェアのネットワーク状態が正しくセットアップされるまで、時間がかかることがあります。しばらく時間をおくと改善される可能性があります
- V-CUBE One の設定で V-CUBE Gate が利用可能な状態になっていること
- V-CUBE Gate の組織管理が「階層」モードになっていること

18.3 他拠点の V-CUBE Box 端末が招待先リストに表示されていない

以下をご確認ください。

- V-CUBE One 契約はしておらず、V-CUBE Box のみのご契約をされている場合
弊社サポートへご連絡ください
- V-CUBE One 契約をされている場合
メンバー招待リストに表示されるのは、V-CUBE Gate の組織グループで“V-CUBE Box”というグループに所属させているメンバーのみとなります。リストに表示させたい V-CUBE Box 用アカウントを組織グループに登録してください。[V-CUBE Box での招待先一覧を変更するには](#)

18.4 映像が表示されない

V-CUBE Box の電源を入れた後にカメラのケーブルが抜けた場合は、しっかり接続されていることを確認してから電源を入れ直してください。

18.5 音声が聞こえない

以下をご確認ください。

- マイク・スピーカーのケーブルが接続されていること
- スピーカーの音量が適切なこと

18.6 自分の声が相手に聞こえない

以下をご確認ください。

- マイク・スピーカーのケーブルが接続されていること
- マイクミュートになっていないこと
(リモコンのマイクミュートボタンで ON/OFF できます)
- マイク・スピーカー機器がミュートになっていないこと
(マイク・スピーカーのミュートボタンで ON/OFF できます)

18.7 映像、音声が共に安定しない、黒枠が出る、映像がフリーズする

V-CUBE Box をご利用されているネットワークの帯域が不足している可能性があります。

以下をお試しください。

- V-CUBE Box メニュー 環境設定>帯域設定>画質・上り速度・下り速度を現在の値より低い数値に下げしてみる。
- V-CUBE ミーティング5のウェブサイト <https://mtg5l.vcube.com> に管理者でログインし、会議室設定で帯域を制限する。

18.8 Windows Update からのお願いが表示され操作できない

下記画像の様に Windows Update からのお願いが表示された場合は、V-CUBE Box 端末の電源ボタンを押していただき、一度シャットダウンを行ってください。

※ **電源ボタン長押しによる強制電源オフはシステムが破損する恐れがあります。電源ボタンの操作は1回押す操作でお願いします**

次回の起動からは表示されなくなります。

